

第7次松山市総合計画 指標の基準値設定のための
市民アンケート報告書

令和7年3月

《 目 次 》

I. 調査概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査対象・調査方法	1
3. 調査期間	1
4. 回収率等	1
5. 集計方法	2
6. 集計に当たっての留意事項等	3
7. クロス集計表の網掛けについて.....	3
II. 調査結果.....	4
1. 回答者の属性.....	4
(1) 性別（問 1）	4
(2) 年齢（問 2）	6
(3) 職業（問 3）	8
(4) 居住エリア（問 4）	10
(5) 家族構成（問 5）	12
(6) こどもの有無（問 6）	14
(7) こどもの人数（問 7）	16
(8) こどもの年齢（問 7）	18
(9) 松山市での居住経験（問 8）	20
2. こども・教育について	23
(1) 「子育てしてよかった」と思うか（問 9）	23
(2) 「子育てしてよかった」と思わない理由（問 10）	26
3. 福祉について.....	28
(1) 「地域や社会とのつながり」を感じるか（問 11）	28
(2) 「地域や社会とのつながり」を感じない（感じにくい）理由（問 12）	30
(3) 生きがいを感じる活動や社会活動等への参加状況（問 13）	32
(4) 参加している活動（問 14）	34
(5) 「民生委員・児童委員制度」の認知度（問 15）	36
4. 健康・医療について	38
(1) 松山市の「医療体制が充実している」と思うか（問 16）	38
(2) 松山市の「医療体制が充実している」と思わない理由（問 17）	41
(3) 生活習慣病予防を意識した生活改善への取組状況（問 18）	44
(4) 1 週間のうち朝食を食べる日数（問 19）	46
(5) 平均的な 1 日の歩数（問 20）	49
5. 地域への愛着・誇りについて	51
(1) 居住地域に「愛着や誇り」を感じているか（問 21）	51
(2) 「愛着や誇り」を感じない（感じにくい）理由（問 22）	54

(3) 居住地域での地域活動が盛んだと思うか（問 23）	56
(4) 地域活動への参加状況（問 24）	58
(5) 参加している活動の種類（問 25）	60
(6) 生活の中での文化芸術活動の実施状況（問 26）	62
6. 都市の魅力について	64
(1) 「松山市の魅力を友人や知人に紹介したい」と思うか（問 27）	64
(2) 「松山市の魅力を友人や知人に紹介したい」と思わない理由（問 28）	66
(3) 松山市を文化的なまちだと思うか（問 29）	68
7. 経済・産業について	70
(1) 現在の職場環境が「働きやすい」と思うか（問 30）	70
(2) 「働きやすい」と思わない理由（問 31）	73
8. 交通について	76
(1) 松山市は自分に合った移動手段で気軽に目的地へ「移動しやすい（出かけやすい）」と思 うか（問 32）	76
(2) 「移動しやすい」と思わない理由（問 33）	79
(3) 松山市が公共交通の便利なまちだと思うか（問 34）	82
9. 都市について	85
(1) 松山市は「住みやすい」まちか（問 35）	85
(2) どうなれば松山市が住みやすくなるか（問 36）	91
(3) 今後も松山市に住み続けたいか（問 37）	93
10. 環境について	99
(1) 「環境にやさしい行動をしている」と思うか（問 38）	99
(2) 「環境にやさしい行動をしている」と思わない理由（問 39）	101
11. 安全・安心について	103
(1) 「日頃から災害に備えている」と思うか（問 40）	103
(2) 「日頃から災害に備えている」と思う理由（問 41）	106
(3) 「日頃から災害に備えている」と思わない理由（問 42）	109
12. デジタル化について	112
(1) 「デジタル化で生活が便利になった」と思うか（問 43）	112
(2) 「デジタル化で生活が便利になった」と思わない理由（問 44）	114

I. 調査概要

1. 調査の目的

「第7次松山市総合計画」の策定にあたり、まちづくりに対する市民の意識を把握するとともに、前期基本計画において政策ごとに設定する「市民の実感指標」の基準値（現状値）等を把握する。

2. 調査対象・調査方法

18歳以上の市民から男女計2,000人を無作為抽出し、郵送で紙の調査票を配布した。

回収方法は、紙の調査票による郵送回答、またはインターネットによる回答のいずれかとした。

3. 調査期間

令和6（2024）年8月26日（月）～9月16日（月・祝）

4. 回収率等

発送件数：2,000件

回収数：1,053件

回収率：52.7%

5. 集計方法

項目	内容																		
性別集計 (共通)	・ 男性、女性、回答しないごとに集計。																		
年齢別集計 (共通)	・ 20 歳代以下 (18～29 歳)、30 歳代 (30～39 歳)、40 歳代 (40～49 歳)、50 歳代 (50～59 歳)、60 歳代 (60～69 歳)、70 歳以上の 6 区分で集計。																		
地域別集計 (市民)	・ 41 居住地を、公民館ブロックの 8 エリアに集約。																		
	<table><tr><th>エリア</th><th>公民館ブロック別の地域</th></tr><tr><td>東部エリア</td><td>1. 湯山 2. 日浦 3. 五明 4. 伊台</td></tr><tr><td>南部エリア</td><td>5. 久米 6. 小野 7. 石井 8. 浮穴 9. 荏原 10. 坂本</td></tr><tr><td>中心部東エリア</td><td>11. 八坂 12. 素鷲 13. 道後 14. 東雲 15. 番町 16. 桑原</td></tr><tr><td>中心部西エリア</td><td>17. 新玉 18. 雄郡 19. 清水 20. 味酒</td></tr><tr><td>南西エリア</td><td>21. 生石 22. 余土 23. 垣生 24. 味生</td></tr><tr><td>西部エリア・島しょ部</td><td>25. 三津浜 26. 宮前 27. 高浜 28. 泊 29. 由良 30. 中島</td></tr><tr><td>北部エリア</td><td>31. 和気 32. 潮見 33. 堀江 34. 久枝</td></tr><tr><td>北条エリア</td><td>35. 浅海 36. 立岩 37. 難波 38. 正岡 39. 北条 40. 河野 41. 粟井</td></tr></table>	エリア	公民館ブロック別の地域	東部エリア	1. 湯山 2. 日浦 3. 五明 4. 伊台	南部エリア	5. 久米 6. 小野 7. 石井 8. 浮穴 9. 荏原 10. 坂本	中心部東エリア	11. 八坂 12. 素鷲 13. 道後 14. 東雲 15. 番町 16. 桑原	中心部西エリア	17. 新玉 18. 雄郡 19. 清水 20. 味酒	南西エリア	21. 生石 22. 余土 23. 垣生 24. 味生	西部エリア・島しょ部	25. 三津浜 26. 宮前 27. 高浜 28. 泊 29. 由良 30. 中島	北部エリア	31. 和気 32. 潮見 33. 堀江 34. 久枝	北条エリア	35. 浅海 36. 立岩 37. 難波 38. 正岡 39. 北条 40. 河野 41. 粟井
	エリア	公民館ブロック別の地域																	
	東部エリア	1. 湯山 2. 日浦 3. 五明 4. 伊台																	
	南部エリア	5. 久米 6. 小野 7. 石井 8. 浮穴 9. 荏原 10. 坂本																	
	中心部東エリア	11. 八坂 12. 素鷲 13. 道後 14. 東雲 15. 番町 16. 桑原																	
	中心部西エリア	17. 新玉 18. 雄郡 19. 清水 20. 味酒																	
	南西エリア	21. 生石 22. 余土 23. 垣生 24. 味生																	
	西部エリア・島しょ部	25. 三津浜 26. 宮前 27. 高浜 28. 泊 29. 由良 30. 中島																	
	北部エリア	31. 和気 32. 潮見 33. 堀江 34. 久枝																	
北条エリア	35. 浅海 36. 立岩 37. 難波 38. 正岡 39. 北条 40. 河野 41. 粟井																		

6. 集計に当たっての留意事項等

- ・複数の選択肢を選択する回答においては、総数が回答数と合致しない。また、明らかに矛盾を含む回答については、「無回答」としてデータの処理を行っている。
- ・図表の構成比（％）は、小数点第2位以下を四捨五入している。そのため、個々の構成比の合計が100%にならないことがある。

7. クロス集計表の網掛けについて

クロス集計表では、「全体」における割合との比較により、以下のとおり網掛けを行っている。

- ・「全体」よりも10ポイント以上高い：**白抜字**
- ・「全体」よりも5ポイント以上高い：**灰色塗りつぶし**
- ・「全体」よりも5ポイント以上低い：斜体字に下線
- ・「全体」よりも10ポイント以上低い：太字に下線

なお、クロス集計を実施した際に、「全体」のサンプル数が僅少になる場合（50以下を目安とする）は、参考値として取り扱い、コメントを省略している。また、クロス集計の結果、全体との差異がみられない箇所についても、コメントを省略している。

II. 調査結果

1. 回答者の属性

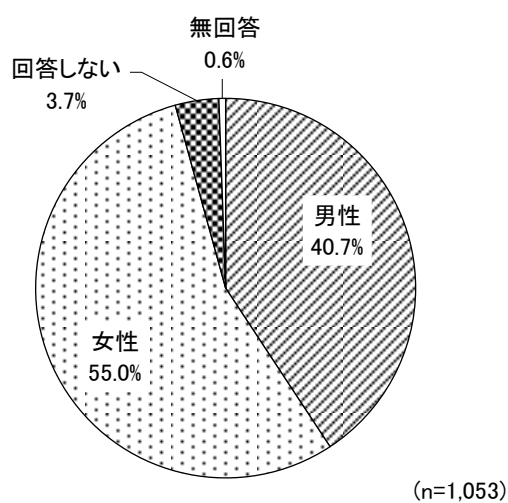
(1) 性別（問1）

性別は、「男性」が40.7%、「女性」が55.0%、「回答しない」が3.7%である。

年齢別では、「30歳代」で「女性」の割合が全体よりも高く、「70歳以上」で「男性」の割合が全体よりも高い。

居住経験別では、「松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた（Uターン）」で「男性」の割合が全体よりも高い。

図表 II-1 性別



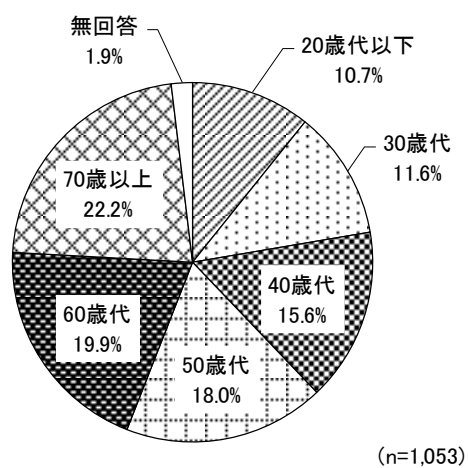
(上段:実数、下段:%)

		合 計	男 性	女 性	回 答 し な い	無 回 答
全体		1,053	429	579	39	6
		100.0	40.7	55.0	3.7	0.6
年 齢 別	20歳代以下	113	49	60	4	0
		100.0	43.4	53.1	3.5	0.0
	30歳代	122	42	74	4	2
		100.0	34.4	60.7	3.3	1.6
	40歳代	164	61	96	7	0
		100.0	37.2	58.5	4.3	0.0
	50歳代	190	72	102	14	2
		100.0	37.9	53.7	7.4	1.1
	60歳代	210	90	112	7	1
		100.0	42.9	53.3	3.3	0.5
	70歳以上	234	111	121	2	0
		100.0	47.4	51.7	0.9	0.0
居 住 地 域 (8 エ リ ア)	東部エリア	28	12	16	0	0
		100.0	42.9	57.1	0.0	0.0
	南部エリア	261	100	149	10	2
		100.0	38.3	57.1	3.8	0.8
	中心部東エリア	191	74	108	9	0
		100.0	38.7	56.5	4.7	0.0
	中心部西エリア	197	83	109	3	2
		100.0	42.1	55.3	1.5	1.0
	南西エリア	162	68	80	13	1
		100.0	42.0	49.4	8.0	0.6
	西部エリア・島しょ部	64	32	30	1	1
		100.0	50.0	46.9	1.6	1.6
	北部エリア	99	37	59	3	0
		100.0	37.4	59.6	3.0	0.0
	北条エリア	49	23	26	0	0
		100.0	46.9	53.1	0.0	0.0
居 住 経 験	生まれてからずっと松山市に 居住している	377	139	220	16	2
		100.0	36.9	58.4	4.2	0.5
	松山市出身で、市外へ転出した 後、戻ってきた(Uターン)	202	103	92	7	0
		100.0	51.0	45.5	3.5	0.0
	松山市外の出身で、 転入してきた	452	183	250	15	4
		100.0	40.5	55.3	3.3	0.9
	その他	21	3	17	1	0
		100.0	14.3	81.0	4.8	0.0

(2) 年齢（問2）

年齢は、「70 歳以上」（22.2%）の割合が最も高く、次に「60 歳代」（19.9%）、「50 歳代」（18.0%）が続く。

図表 II-2 年齢



(上段:実数、下段:%)

		合 計	2 0 歳 代 以 下	3 0 歳 代	4 0 歳 代	5 0 歳 代	6 0 歳 代	7 0 歳 以 上	無 回 答
全体		1,053	113	122	164	190	210	234	20
		100.0	10.7	11.6	15.6	18.0	19.9	22.2	1.9
性 別	男性	429	49	42	61	72	90	108	4
		100.0	11.4	9.8	14.2	16.8	21.0	25.2	0.9
	女性	579	60	74	96	102	112	120	14
		100.0	10.4	12.8	16.6	17.6	19.3	20.7	2.4
	回答しない	39	4	4	7	14	7	2	1
		100.0	10.3	10.3	17.9	35.9	17.9	5.1	2.6
居 住 地 域 (8 エ リ ア)	東部エリア	28	4	2	3	10	5	3	1
		100.0	14.3	7.1	10.7	35.7	17.9	10.7	3.6
	南部エリア	261	28	32	39	43	51	65	2
		100.0	10.7	12.3	14.9	16.5	19.5	24.9	0.8
	中心部東エリア	191	15	20	36	35	41	39	4
		100.0	7.9	10.5	18.8	18.3	21.5	20.4	2.1
	中心部西エリア	197	26	23	28	33	40	42	5
		100.0	13.2	11.7	14.2	16.8	20.3	21.3	2.5
	南西エリア	162	17	19	29	30	32	31	4
		100.0	10.5	11.7	17.9	18.5	19.8	19.1	2.5
	西部エリア・島しょ部	64	10	6	9	8	14	16	1
		100.0	15.6	9.4	14.1	12.5	21.9	25.0	1.6
居 住 経 験	北部エリア	99	8	15	13	22	20	21	0
		100.0	8.1	15.2	13.1	22.2	20.2	21.2	0.0
	北条エリア	49	5	5	7	9	6	13	2
		100.0	10.2	10.2	14.3	18.4	12.2	26.5	4.1
	生まれてからずっと松山市に 居住している	377	58	48	53	71	65	71	9
		100.0	15.4	12.7	14.1	18.8	17.2	18.8	2.4
	松山市出身で、市外へ転出した 後、戻ってきた(Uターン)	202	23	29	36	47	32	33	2
		100.0	11.4	14.4	17.8	23.3	15.8	16.3	1.0
	松山市外の出身で、 転入してきた	452	32	45	70	69	104	121	9
		100.0	7.1	10.0	15.5	15.3	23.0	26.8	2.0
	その他	21	0	0	5	3	9	4	0
		100.0	0.0	0.0	23.8	14.3	42.9	19.0	0.0

(3) 職業（問3）

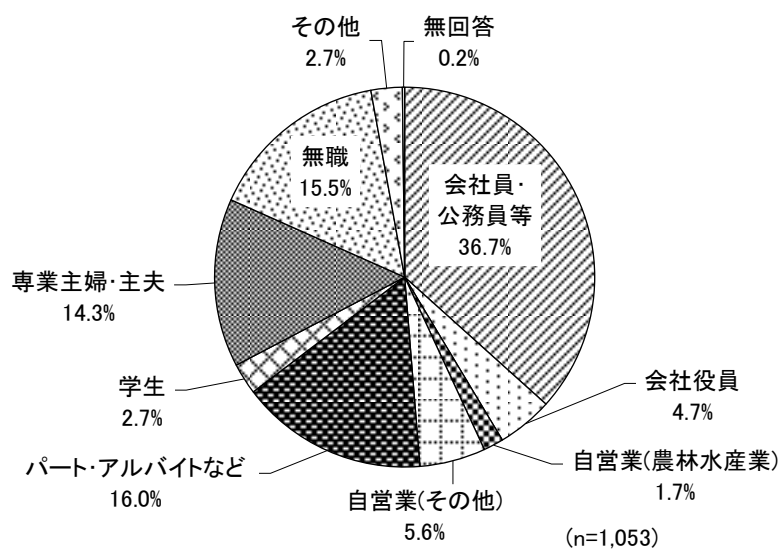
職業は、「会社員・公務員等」（36.7％）の割合が最も高く、次に「パート・アルバイトなど」（16.0％）、「無職」（15.5％）が続く。

性別にみると、「男性」では「会社員・公務員等」と「無職」の割合が全体よりも高く、「女性」では「専業主婦・主夫」と「パート・アルバイトなど」の割合が全体よりも高い。

年齢別では、「70歳以上」で「専業主婦・主夫」と「無職」の割合が全体よりも高い。

居住地域別では、「松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた（Uターン）」で「会社員・公務員等」の割合が全体よりも高い。

図表 II-3 職業



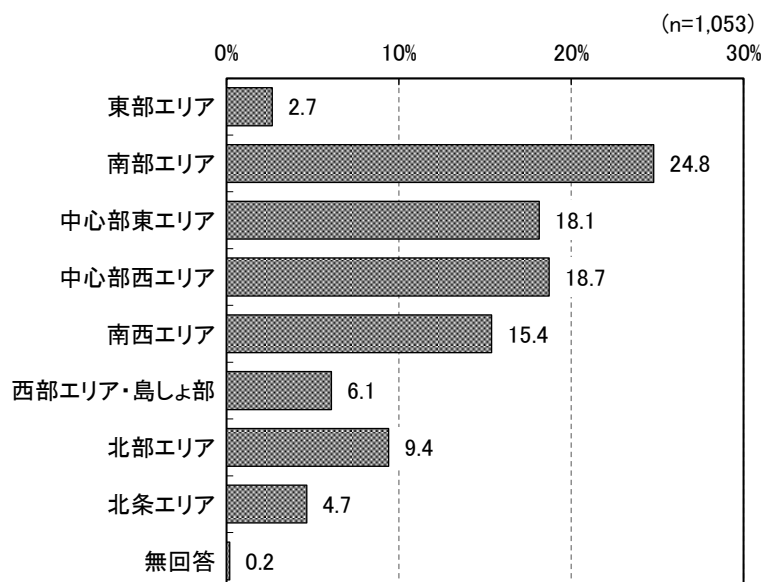
(上段:実数、下段:%)

		合計	会社員・公務員等	会社役員	自営業 (農林水産業)	自営業 (その他)	パート・アルバイト	学生	専業主婦・主夫	無職	その他	無回答
全体		1,053	386	50	18	59	168	28	151	163	28	2
		100.0	36.7	4.7	1.7	5.6	16.0	2.7	14.3	15.5	2.7	0.2
性別	男性	429	208	29	10	36	30	10	1	96	7	2
		100.0	48.5	6.8	2.3	8.4	7.0	2.3	0.2	22.4	1.6	0.5
	女性	579	159	19	7	19	130	16	148	62	19	0
		100.0	27.5	3.3	1.2	3.3	22.5	2.8	25.6	10.7	3.3	0.0
年齢別	回答しない	39	17	2	1	4	6	2	1	4	2	0
		100.0	43.6	5.1	2.6	10.3	15.4	5.1	2.6	10.3	5.1	0.0
	20歳代以下	113	61	5	0	3	8	26	1	7	2	0
		100.0	54.0	4.4	0.0	2.7	7.1	23.0	0.9	6.2	1.8	0.0
年齢別	30歳代	122	77	4	1	1	20	0	12	4	3	0
		100.0	63.1	3.3	0.8	0.8	16.4	0.0	9.8	3.3	2.5	0.0
	40歳代	164	94	6	0	10	37	0	10	5	2	0
		100.0	57.3	3.7	0.0	6.1	22.6	0.0	6.1	3.0	1.2	0.0
年齢別	50歳代	190	87	11	2	13	38	0	21	10	8	0
		100.0	45.8	5.8	1.1	6.8	20.0	0.0	11.1	5.3	4.2	0.0
	60歳代	210	54	12	6	18	35	0	43	34	6	2
		100.0	25.7	5.7	2.9	8.6	16.7	0.0	20.5	16.2	2.9	1.0
年齢別	70歳以上	234	10	11	9	14	22	0	63	98	7	0
		100.0	4.3	4.7	3.8	6.0	9.4	0.0	26.9	41.9	3.0	0.0
居住地域(8エリア)	東部エリア	28	13	3	0	1	5	1	3	2	0	0
		100.0	46.4	10.7	0.0	3.6	17.9	3.6	10.7	7.1	0.0	0.0
	南部エリア	261	93	12	4	7	45	10	39	44	7	0
		100.0	35.6	4.6	1.5	2.7	17.2	3.8	14.9	16.9	2.7	0.0
	中心部東エリア	191	67	8	1	14	32	3	32	28	5	1
		100.0	35.1	4.2	0.5	7.3	16.8	1.6	16.8	14.7	2.6	0.5
	中心部西エリア	197	81	9	2	12	20	5	27	35	5	1
		100.0	41.1	4.6	1.0	6.1	10.2	2.5	13.7	17.8	2.5	0.5
	南西エリア	162	68	9	0	12	27	3	21	18	4	0
		100.0	42.0	5.6	0.0	7.4	16.7	1.9	13.0	11.1	2.5	0.0
居住地域(8エリア)	西部エリア・島しょ部	64	20	1	3	6	11	2	8	13	0	0
		100.0	31.3	1.6	4.7	9.4	17.2	3.1	12.5	20.3	0.0	0.0
	北部エリア	99	31	6	5	4	19	1	14	13	6	0
		100.0	31.3	6.1	5.1	4.0	19.2	1.0	14.1	13.1	6.1	0.0
	北条エリア	49	13	2	3	3	7	3	7	10	1	0
		100.0	26.5	4.1	6.1	6.1	14.3	6.1	14.3	20.4	2.0	0.0
居住経験	生まれてからずっと松山市に居住している	377	129	24	9	19	64	20	47	54	10	1
		100.0	34.2	6.4	2.4	5.0	17.0	5.3	12.5	14.3	2.7	0.3
	松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた(Uターン)	202	90	13	2	13	21	2	19	39	3	0
		100.0	44.6	6.4	1.0	6.4	10.4	1.0	9.4	19.3	1.5	0.0
	松山市外の出身で、転入してきた	452	162	13	7	27	80	6	77	66	13	1
居住経験		100.0	35.8	2.9	1.5	6.0	17.7	1.3	17.0	14.6	2.9	0.2
	その他	21	5	0	0	0	3	0	8	3	2	0
居住経験		100.0	23.8	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	38.1	14.3	9.5	0.0

(4) 居住エリア（問４）

居住エリアは、「南部エリア」(24.8%)の割合が最も高く、次に「中心部西エリア」(18.7%)、「中心部東エリア」(18.1%)が続く。

図表 II-4 居住エリア



(上段:実数、下段:%)

		合計	東部エリア	南部エリア	中心部東エリア	中心部西エリア	南西エリア	島西部エリア・しょ部	北部エリア	北条エリア	無回答
全体		1,053	28	261	191	197	162	64	99	49	2
		100.0	2.7	24.8	18.1	18.7	15.4	6.1	9.4	4.7	0.2
性別	男性	429	12	100	74	83	68	32	37	23	0
		100.0	2.8	23.3	17.2	19.3	15.9	7.5	8.6	5.4	0.0
	女性	579	16	149	108	109	80	30	59	26	2
		100.0	2.8	25.7	18.7	18.8	13.8	5.2	10.2	4.5	0.3
	回答しない	39	0	10	9	3	13	1	3	0	0
		100.0	0.0	25.6	23.1	7.7	33.3	2.6	7.7	0.0	0.0
年齢別	20歳代以下	113	4	28	15	26	17	10	8	5	0
		100.0	3.5	24.8	13.3	23.0	15.0	8.8	7.1	4.4	0.0
	30歳代	122	2	32	20	23	19	6	15	5	0
		100.0	1.6	26.2	16.4	18.9	15.6	4.9	12.3	4.1	0.0
	40歳代	164	3	39	36	28	29	9	13	7	0
		100.0	1.8	23.8	22.0	17.1	17.7	5.5	7.9	4.3	0.0
	50歳代	190	10	43	35	33	30	8	22	9	0
		100.0	5.3	22.6	18.4	17.4	15.8	4.2	11.6	4.7	0.0
	60歳代	210	5	51	41	40	32	14	20	6	1
		100.0	2.4	24.3	19.5	19.0	15.2	6.7	9.5	2.9	0.5
	70歳以上	234	3	66	40	42	31	16	21	15	0
		100.0	1.3	28.2	17.1	17.9	13.2	6.8	9.0	6.4	0.0
居住経験	生まれてからずっと松山市に居住している	377	8	94	56	58	58	33	42	27	1
		100.0	2.1	24.9	14.9	15.4	15.4	8.8	11.1	7.2	0.3
	松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた(Uターン)	202	5	51	37	35	35	15	16	7	1
		100.0	2.5	25.2	18.3	17.3	17.3	7.4	7.9	3.5	0.5
	松山市外の出身で、転入してきた	452	14	113	91	99	67	15	39	14	0
		100.0	3.1	25.0	20.1	21.9	14.8	3.3	8.6	3.1	0.0
	その他	21	1	3	7	5	2	1	2	0	0
		100.0	4.8	14.3	33.3	23.8	9.5	4.8	9.5	0.0	0.0

(5) 家族構成（問5）

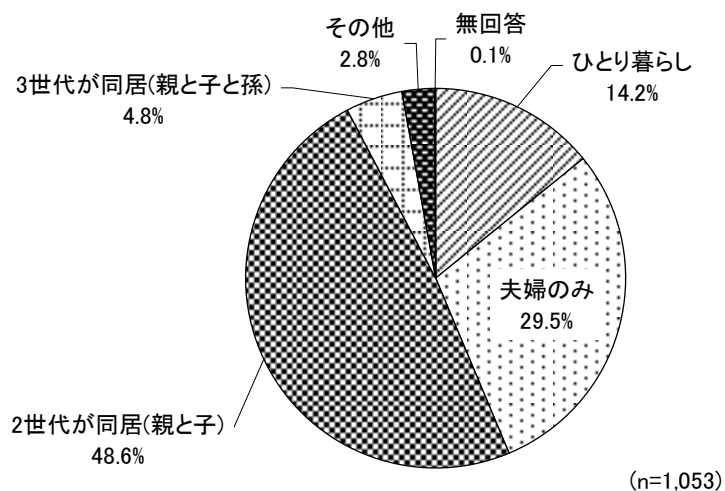
家族構成は、「2世代が同居（親と子）」（48.6％）の割合が最も高く、次に「夫婦のみ」（29.5％）、「ひとり暮らし」（14.2％）が続く。

年齢別では、「20歳代以下」で「ひとり暮らし」の割合が全体よりも高く、「20歳代以下」から「50歳代」では「2世代が同居（親と子）」の割合が全体よりも高い。また、「60歳代」と「70歳以上」では「夫婦のみ」の割合が全体よりも高い。

居住地域別では、「中心部西エリア」で「ひとり暮らし」の割合が全体よりも高く、「南部エリア」や「南西エリア」で「2世代が同居（親と子）」の割合が全体よりも高い。

居住経験別では、「生まれてからずっと松山市に居住している」と「松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた（Uターン）」で「2世代が同居（親と子）」の割合が全体よりも高く、「松山市外出身で、転入してきた」で「夫婦のみ」の割合が全体よりも高い。

図表 II-5 家族構成



(上段:実数、下段:%)

		合計	ひとり暮らし	夫婦のみ	2世代が同居 (親と子)	3世代が同居 (親と子と孫)	その他	無回答
全体		1,053	149	311	512	51	29	1
		100.0	14.2	29.5	48.6	4.8	2.8	0.1
性別	男性	429	60	134	209	16	10	0
		100.0	14.0	31.2	48.7	3.7	2.3	0.0
	女性	579	80	166	281	33	18	1
		100.0	13.8	28.7	48.5	5.7	3.1	0.2
	回答しない	39	7	9	20	2	1	0
		100.0	17.9	23.1	51.3	5.1	2.6	0.0
年齢別	20歳代以下	113	22	5	78	7	1	0
		100.0	19.5	4.4	69.0	6.2	0.9	0.0
	30歳代	122	21	19	73	7	2	0
		100.0	17.2	15.6	59.8	5.7	1.6	0.0
	40歳代	164	16	17	119	8	4	0
		100.0	9.8	10.4	72.6	4.9	2.4	0.0
	50歳代	190	24	51	102	5	7	1
		100.0	12.6	26.8	53.7	2.6	3.7	0.5
	60歳代	210	25	96	69	16	4	0
		100.0	11.9	45.7	32.9	7.6	1.9	0.0
	70歳以上	234	37	114	65	7	11	0
		100.0	15.8	48.7	27.8	3.0	4.7	0.0
居住地域(8エリア)	東部エリア	28	3	10	13	2	0	0
		100.0	10.7	35.7	46.4	7.1	0.0	0.0
	南部エリア	261	20	82	140	9	9	1
		100.0	7.7	31.4	53.6	3.4	3.4	0.4
	中心部東エリア	191	33	52	91	10	5	0
		100.0	17.3	27.2	47.6	5.2	2.6	0.0
	中心部西エリア	197	43	61	80	7	6	0
		100.0	21.8	31.0	40.6	3.6	3.0	0.0
	南西エリア	162	22	42	89	7	2	0
		100.0	13.6	25.9	54.9	4.3	1.2	0.0
	西部エリア・島しょ部	64	12	19	25	5	3	0
		100.0	18.8	29.7	39.1	7.8	4.7	0.0
居住経験	生まれてからずっと松山市に居住している	99	11	30	47	8	3	0
		100.0	11.1	30.3	47.5	8.1	3.0	0.0
	北条エリア	49	5	14	26	3	1	0
		100.0	10.2	28.6	53.1	6.1	2.0	0.0
	生まれてからずっと松山市に居住している	377	48	91	204	24	10	0
		100.0	12.7	24.1	54.1	6.4	2.7	0.0
	松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた(Uターン)	202	27	54	111	7	2	1
		100.0	13.4	26.7	55.0	3.5	1.0	0.5
	松山市外の出身で、転入してきた	452	72	157	191	18	14	0
		100.0	15.9	34.7	42.3	4.0	3.1	0.0
	その他	21	2	9	6	2	2	0
		100.0	9.5	42.9	28.6	9.5	9.5	0.0

(6) こどもの有無（問6）

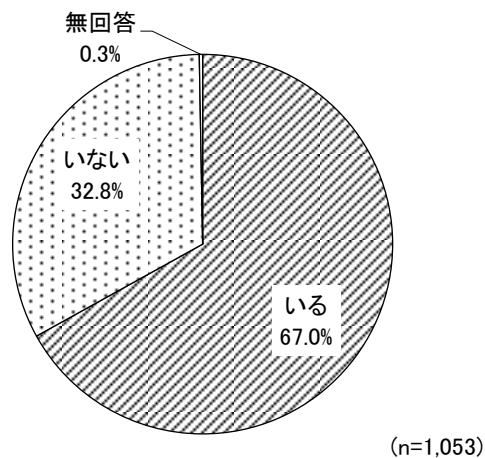
こども（同居していない場合も含む）が「いる」回答者は 67.0%、「いない」回答者は 32.8%である。

年齢別では、「20 歳代以下」と「30 歳代」で「いない」の割合が全体よりも高く、「60 歳代」と「70 歳以上」で「いる」の割合が全体よりも高い。

居住地域別では、「南部エリア」で「いる」の割合が全体よりも高く、「中心部西エリア」で「いない」の割合が全体よりも高い。

居住経験別では、「生まれてからずっと松山市に居住している」と「松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた（Uターン）」で「いない」の割合が全体よりも高く、「松山市外の出身で、転入してきた」で「いる」の割合が全体よりも高い。

図表 II-6 こどもの有無



		(上段:実数、下段:%)			
		合 計	い る	い な い	無 回 答
全体		1,053	705	345	3
		100.0	67.0	32.8	0.3
性 別	男性	429	278	151	0
		100.0	64.8	35.2	0.0
	女性	579	401	175	3
		100.0	69.3	30.2	0.5
	回答しない	39	23	16	0
		100.0	59.0	41.0	0.0
年 齢 別	20歳代以下	113	15	97	1
		100.0	13.3	85.8	0.9
	30歳代	122	61	61	0
		100.0	50.0	50.0	0.0
	40歳代	164	121	42	1
		100.0	73.8	25.6	0.6
	50歳代	190	123	66	1
		100.0	64.7	34.7	0.5
	60歳代	210	165	45	0
		100.0	78.6	21.4	0.0
	70歳以上	234	209	25	0
		100.0	89.3	10.7	0.0
居 住 地 域 (8 エ リ ア)	東部エリア	28	15	13	0
		100.0	53.6	46.4	0.0
	南部エリア	261	192	69	0
		100.0	73.6	26.4	0.0
	中心部東エリア	191	130	60	1
		100.0	68.1	31.4	0.5
	中心部西エリア	197	114	83	0
		100.0	57.9	42.1	0.0
	南西エリア	162	109	53	0
		100.0	67.3	32.7	0.0
	西部エリア・島しょ部	64	40	23	1
		100.0	62.5	35.9	1.6
北部エリア	99	65	33	1	
	100.0	65.7	33.3	1.0	
北条エリア	49	39	10	0	
	100.0	79.6	20.4	0.0	
居 住 経 験	生まれてからずっと松山市に 居住している	377	229	146	2
		100.0	60.7	38.7	0.5
	松山市出身で、市外へ転出した 後、戻ってきた(Uターン)	202	121	81	0
		100.0	59.9	40.1	0.0
	松山市外の出身で、 転入してきた	452	339	112	1
		100.0	75.0	24.8	0.2
	その他	21	15	6	0
	100.0	71.4	28.6	0.0	

＜問6でこどもが「いる」とした回答者のみ＞

(7) こどもの人数（問7）

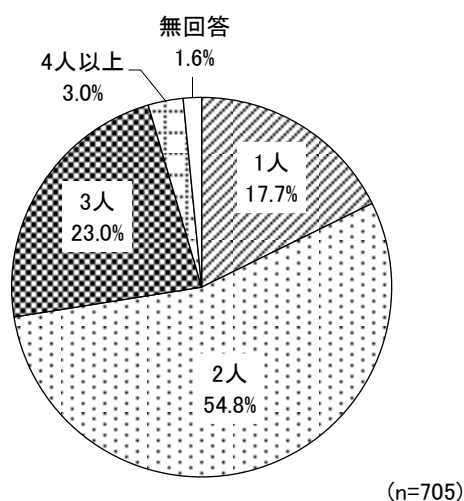
こどもがいる回答者のこどもの人数は、「2人」(54.8%)の割合が最も高く、次に「3人」(23.0%)、「1人」(17.7%)が続く。

年齢別では、「30歳代」「40歳代」で「1人」の割合が全体よりも高く、「50歳代」で「2人」の割合が全体よりも高い。

居住地域別では、「中心部西エリア」で「1人」の割合が全体よりも高く、「南西エリア」で「2人」の割合が全体よりも高い。

居住経験別では、「松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた(Uターン)」で「1人」の割合が全体よりも高い。

図表 II-7 こどもの人数



(注)問7(こどもの年齢別こども数)の回答人数を合算。

(上段:実数、下段:%)

		合 計	1 人	2 人	3 人	4 人 以 上	無 回 答
全体		705	125	386	162	21	11
		100.0	17.7	54.8	23.0	3.0	1.6
性 別	男性	278	44	155	65	8	6
		100.0	15.8	55.8	23.4	2.9	2.2
	女性	401	75	213	95	13	5
		100.0	18.7	53.1	23.7	3.2	1.2
	回答しない	23	5	16	2	0	0
		100.0	21.7	69.6	8.7	0.0	0.0
年 齢 別	20歳代以下	15	11	2	2	0	0
		100.0	73.3	13.3	13.3	0.0	0.0
	30歳代	61	18	31	9	3	0
		100.0	29.5	50.8	14.8	4.9	0.0
	40歳代	121	35	59	24	3	0
		100.0	28.9	48.8	19.8	2.5	0.0
	50歳代	123	19	75	26	2	1
		100.0	15.4	61.0	21.1	1.6	0.8
	60歳代	165	19	94	45	5	2
		100.0	11.5	57.0	27.3	3.0	1.2
	70歳以上	209	20	122	51	8	8
		100.0	9.6	58.4	24.4	3.8	3.8
居 住 地 域 (8 エ リ ア)	東部エリア	15	3	8	3	1	0
		100.0	20.0	53.3	20.0	6.7	0.0
	南部エリア	192	26	103	51	9	3
		100.0	13.5	53.6	26.6	4.7	1.6
	中心部東エリア	130	25	70	32	1	2
		100.0	19.2	53.8	24.6	0.8	1.5
	中心部西エリア	114	28	54	30	1	1
		100.0	24.6	47.4	26.3	0.9	0.9
	南西エリア	109	18	67	19	4	1
		100.0	16.5	61.5	17.4	3.7	0.9
居 住 経 験	西部エリア・島しょ部	40	4	27	8	0	1
		100.0	10.0	67.5	20.0	0.0	2.5
	北部エリア	65	15	35	12	2	1
		100.0	23.1	53.8	18.5	3.1	1.5
	北条エリア	39	6	22	6	3	2
		100.0	15.4	56.4	15.4	7.7	5.1
	生まれてからずっと松山市に 居住している	229	38	127	48	12	4
		100.0	16.6	55.5	21.0	5.2	1.7
居 住 経 験	松山市出身で、市外へ転出した 後、戻ってきた(Uターン)	121	29	63	24	3	2
		100.0	24.0	52.1	19.8	2.5	1.7
	松山市外の出身で、 転入してきた	339	56	186	86	6	5
		100.0	16.5	54.9	25.4	1.8	1.5
居 住 経 験	その他	15	2	9	4	0	0
		100.0	13.3	60.0	26.7	0.0	0.0

<問6でこどもが「いる」とした回答者のみ>

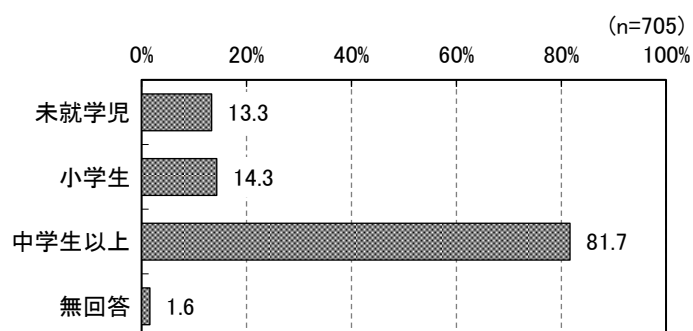
(8) こどもの年齢（問7）

こどもがいる回答者のこどもの年齢は、「中学生以上」（81.7％）の割合が最も高く、次に「小学生」（14.3％）、「未就学児」（13.3％）が続く。

年齢別では、「30 歳代」「40 歳代」で「未就学児」並びに「小学生」の割合が全体よりも高く、「50 歳代」「60 歳代」「70 歳以上」で「中学生以上」の割合が全体よりも高い。

居住経験別では、「松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた（Uターン）」で「小学生」の割合が全体よりも高い。

図表 II-8 こどもの属性（複数回答）



(注) 問7では「未就学児」「小学生」「中学生」別のこどもの人数を尋ねており、1人以上の回答があったものの件数を数えた。

(上段:実数、下段:%)

		合 計	未 就 学 児	小 学 生	中 学 生 以 上	無 回 答
全 体		705	94	101	576	11
		100.0	13.3	14.3	81.7	1.6
性 別	男性	278	36	39	231	6
		100.0	12.9	14.0	83.1	2.2
	女性	401	55	57	325	5
		100.0	13.7	14.2	81.0	1.2
	回答しない	23	2	5	18	0
		100.0	8.7	21.7	78.3	0.0
年 齢 別	20歳代以下	15	13	0	2	0
		100.0	86.7	0.0	13.3	0.0
	30歳代	61	50	24	8	0
		100.0	82.0	39.3	13.1	0.0
	40歳代	121	24	63	77	0
		100.0	19.8	52.1	63.6	0.0
	50歳代	123	0	9	120	1
		100.0	0.0	7.3	97.6	0.8
	60歳代	165	2	2	162	2
		100.0	1.2	1.2	98.2	1.2
	70歳以上	209	5	3	196	8
		100.0	2.4	1.4	93.8	3.8
居 住 地 域 (8 エ リ ア)	東部エリア	15	1	6	12	0
		100.0	6.7	40.0	80.0	0.0
	南部エリア	192	26	27	156	3
		100.0	13.5	14.1	81.3	1.6
	中心部東エリア	130	14	23	106	2
		100.0	10.8	17.7	81.5	1.5
	中心部西エリア	114	13	9	98	1
		100.0	11.4	7.9	86.0	0.9
	南西エリア	109	17	15	88	1
		100.0	15.6	13.8	80.7	0.9
	西部エリア・島しょ部	40	4	6	34	1
		100.0	10.0	15.0	85.0	2.5
居 住 経 験	生まれてからずっと松山市に 居住している	65	10	7	54	1
		100.0	15.4	10.8	83.1	1.5
	松山市出身で、市外へ転出した 後、戻ってきた(Uターン)	39	9	8	27	2
		100.0	23.1	20.5	69.2	5.1
	松山市外の出身で、 転入してきた	229	34	29	192	4
		100.0	14.8	12.7	83.8	1.7
	松山市出身で、市外へ転出した 後、戻ってきた(Uターン)	121	17	25	93	2
		100.0	14.0	20.7	76.9	1.7
居 住 経 験	松山市外の出身で、 転入してきた	339	42	46	276	5
		100.0	12.4	13.6	81.4	1.5
	その他	15	1	1	14	0
		100.0	6.7	6.7	93.3	0.0

(9) 松山市での居住経験（問8）

松山市での居住経験は、「松山市外の出身で、転入してきた」（42.9%）の割合が最も高く、次に「生まれてからずっと松山市に居住している」（35.8%）、「松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた（Uターン）」（19.2%）が続く。

年齢別では、「20歳代以下」で「生まれてからずっと松山市に居住している」の割合が全体よりも高く、「50歳代」で「松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた（Uターン）」、「60歳代」「70歳以上」で「松山市外の出身で、転入してきた」の割合が全体よりも高い。

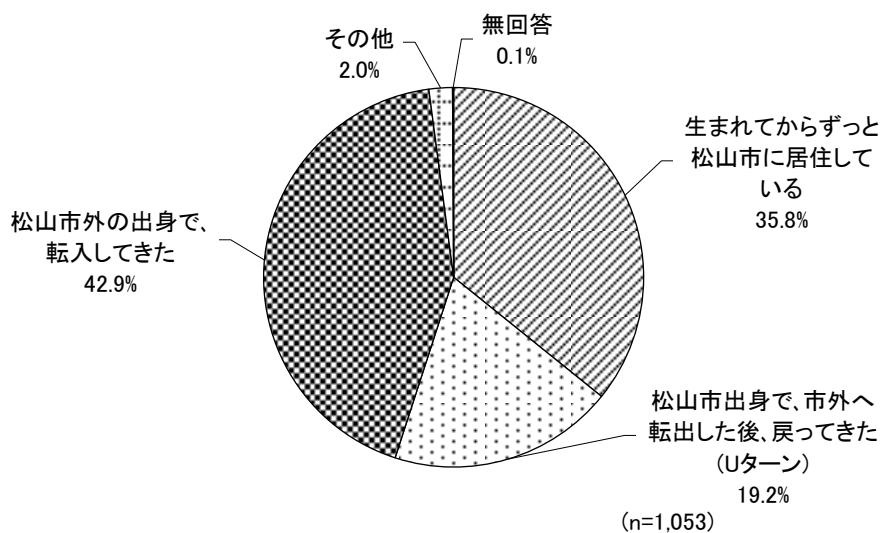
居住地域別では、「中心部西エリア」で「松山市外の出身で、転入してきた」の割合が全体よりも高い。「西部エリア・島しょ部」や「北部エリア」、「北条エリア」では、「生まれてからずっと松山市に居住している」の割合が全体よりも高い。

こどもの有無別では、こどもが「いる」回答者では「松山市外の出身で、転入してきた」の割合が全体よりも高く、「いない」回答者では「生まれてからずっと松山市に居住している」の割合が全体よりも高い。

こどもの人数別では、「2人」と「3人」で「松山市外の出身で、転入してきた」の割合が全体よりも高い。

こどもの年齢別では、「小学生」で、「松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた（Uターン）」の割合が全体よりも高い。

図表 II-9 松山市での居住経験



(上段:実数、下段:%)

		合計	松山市に 生まれて 住んでいる	松山市出身で、 転出した後、戻ってきた (ウターン)	松山市外の出身で、 転入してきた	その他	無回答
全体		1,053	377	202	452	21	1
		100.0	35.8	19.2	42.9	2.0	0.1
性別	男性	429	139	103	183	3	1
		100.0	32.4	24.0	42.7	0.7	0.2
	女性	579	220	92	250	17	0
		100.0	38.0	15.9	43.2	2.9	0.0
	回答しない	39	16	7	15	1	0
		100.0	41.0	17.9	38.5	2.6	0.0
年齢別	20歳代以下	113	58	23	32	0	0
		100.0	51.3	20.4	28.3	0.0	0.0
	30歳代	122	48	29	45	0	0
		100.0	39.3	23.8	36.9	0.0	0.0
	40歳代	164	53	36	70	5	0
		100.0	32.3	22.0	42.7	3.0	0.0
	50歳代	190	71	47	69	3	0
		100.0	37.4	24.7	36.3	1.6	0.0
	60歳代	210	65	32	104	9	0
		100.0	31.0	15.2	49.5	4.3	0.0
居住地域 (8エリア)	70歳以上	234	73	33	123	4	1
		100.0	31.2	14.1	52.6	1.7	0.4
	東部エリア	28	8	5	14	1	0
		100.0	28.6	17.9	50.0	3.6	0.0
	南部エリア	261	94	51	113	3	0
		100.0	36.0	19.5	43.3	1.1	0.0
	中心部東エリア	191	56	37	91	7	0
		100.0	29.3	19.4	47.6	3.7	0.0
	中心部西エリア	197	58	35	99	5	0
		100.0	29.4	17.8	50.3	2.5	0.0
	南西エリア	162	58	35	67	2	0
		100.0	35.8	21.6	41.4	1.2	0.0
	西部エリア・島しょ部	64	33	15	15	1	0
		100.0	51.6	23.4	23.4	1.6	0.0
	北部エリア	99	42	16	39	2	0
		100.0	42.4	16.2	39.4	2.0	0.0
	北条エリア	49	27	7	14	0	1
		100.0	55.1	14.3	28.6	0.0	2.0

(上段:実数、下段:%)

		合計	松山市に 生まれてから 居住している	松山市出身で、 市外へ 転出した後、戻 ってきた (Ｕター ン)	松山市外の 出身で、 転入してき た	そ の 他	無 回 答
全体		1,053	377	202	452	21	1
		100.0	35.8	19.2	42.9	2.0	0.1
の有 無	いる	705	229	121	339	15	1
		100.0	32.5	17.2	48.1	2.1	0.1
	いない	345	146	81	112	6	0
		100.0	42.3	23.5	32.5	1.7	0.0
人数 別	1人	125	38	29	56	2	0
		100.0	30.4	23.2	44.8	1.6	0.0
	2人	386	127	63	186	9	1
		100.0	32.9	16.3	48.2	2.3	0.3
	3人	162	48	24	86	4	0
		100.0	29.6	14.8	53.1	2.5	0.0
	4人以上	21	12	3	6	0	0
		100.0	57.1	14.3	28.6	0.0	0.0
年齢 別	未就学児	94	34	17	42	1	0
		100.0	36.2	18.1	44.7	1.1	0.0
	小学生	101	29	25	46	1	0
		100.0	28.7	24.8	45.5	1.0	0.0
	中学生以上	576	192	93	276	14	1
		100.0	33.3	16.1	47.9	2.4	0.2

2. こども・教育について

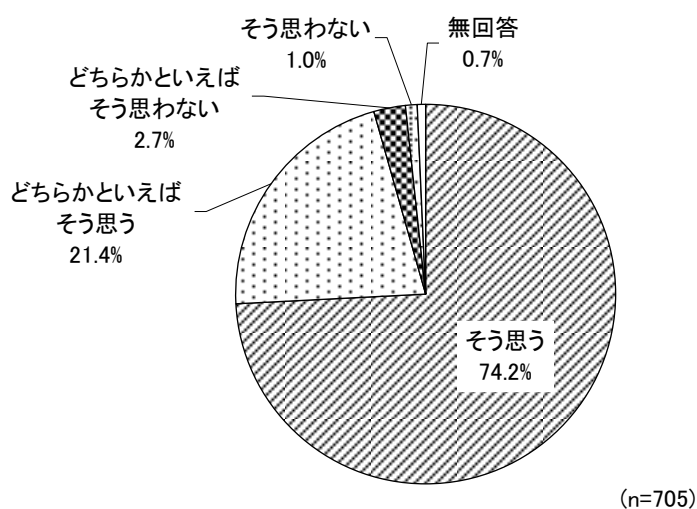
<問6でこどもが「いる」とした回答者のみ>

(1) 「子育てしてよかった」と思うか（問9）

「子育てしてよかった」と思うかという問いに対し、「そう思う」とした回答者の割合は74.2%と最も高く、次に「どちらかといえばそう思う」（21.4%）が続く。

『子育てしてよかったと思う』回答者の割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、95.6%である。

図表 II-10 「子育てしてよかった」と思うか



(上段：実数、下段：%)

		合計	そう 思う	そう 思う かとい え	そう 思う かとい え	そう 思わ ない	無 回 答
全体		705	523	151	19	7	5
		100.0	74.2	21.4	2.7	1.0	0.7
性別	男性	278	194	69	10	3	2
		100.0	69.8	24.8	3.6	1.1	0.7
	女性	401	315	71	9	3	3
		100.0	78.6	17.7	2.2	0.7	0.7
	回答しない	23	12	10	0	1	0
		100.0	52.2	43.5	0.0	4.3	0.0
年齢別	20歳代以下	15	10	4	0	1	0
		100.0	66.7	26.7	0.0	6.7	0.0
	30歳代	61	43	15	2	1	0
		100.0	70.5	24.6	3.3	1.6	0.0
	40歳代	121	94	23	3	1	0
		100.0	77.7	19.0	2.5	0.8	0.0
	50歳代	123	88	30	5	0	0
		100.0	71.5	24.4	4.1	0.0	0.0
	60歳代	165	121	36	4	3	1
		100.0	73.3	21.8	2.4	1.8	0.6
居住地域（8エリア）	70歳以上	209	157	43	4	1	4
		100.0	75.1	20.6	1.9	0.5	1.9
	東部エリア	15	10	3	2	0	0
		100.0	66.7	20.0	13.3	0.0	0.0
	南部エリア	192	142	44	5	1	0
		100.0	74.0	22.9	2.6	0.5	0.0
	中心部東エリア	130	93	32	2	1	2
		100.0	71.5	24.6	1.5	0.8	1.5
	中心部西エリア	114	90	19	1	3	1
		100.0	78.9	16.7	0.9	2.6	0.9
居住経験	南西エリア	109	82	18	6	1	2
		100.0	75.2	16.5	5.5	0.9	1.8
	西部エリア・島しょ部	40	26	13	1	0	0
		100.0	65.0	32.5	2.5	0.0	0.0
	北部エリア	65	51	13	1	0	0
		100.0	78.5	20.0	1.5	0.0	0.0
	北条エリア	39	29	8	1	1	0
		100.0	74.4	20.5	2.6	2.6	0.0
	生まれてからずっと松山市に 居住している	229	173	47	6	1	2
		100.0	75.5	20.5	2.6	0.4	0.9
居住経験	松山市出身で、市外へ転出した 後、戻ってきた(Uターン)	121	89	24	6	0	2
		100.0	73.6	19.8	5.0	0.0	1.7
	松山市外の出身で、 転入してきた	339	249	76	7	6	1
		100.0	73.5	22.4	2.1	1.8	0.3
	その他	15	11	4	0	0	0
		100.0	73.3	26.7	0.0	0.0	0.0

(上段：実数、下段：%)

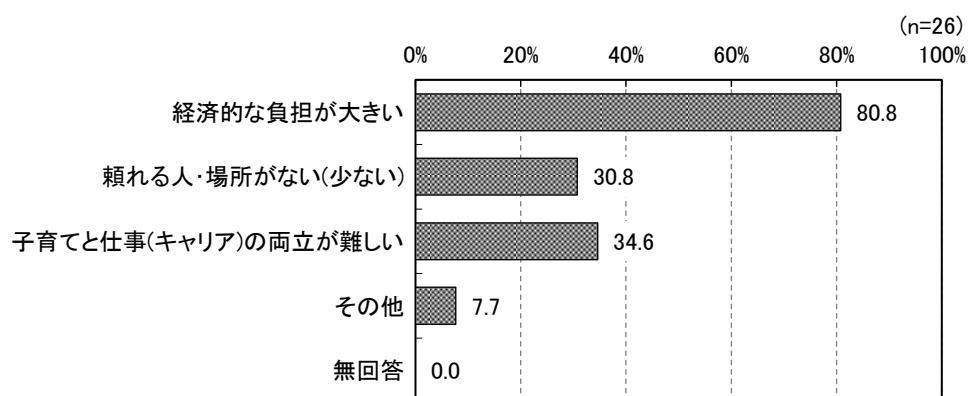
		合計	そう 思う	そう どちら かとい えば	そう どちら かわか ない とい えば	そう 思わ ない	無 回 答
全体		705	523	151	19	7	5
		100.0	74.2	21.4	2.7	1.0	0.7
人数別 こどもの	1人	125	90	27	4	2	2
		100.0	72.0	21.6	3.2	1.6	1.6
	2人	386	285	86	8	5	2
		100.0	73.8	22.3	2.1	1.3	0.5
	3人	162	127	29	5	0	1
		100.0	78.4	17.9	3.1	0.0	0.6
	4人以上	21	15	5	1	0	0
		100.0	71.4	23.8	4.8	0.0	0.0
年齢別 こどもの	未就学児	94	70	19	3	2	0
		100.0	74.5	20.2	3.2	2.1	0.0
	小学生	101	72	26	3	0	0
		100.0	71.3	25.7	3.0	0.0	0.0
	中学生以上	576	429	121	16	5	5
		100.0	74.5	21.0	2.8	0.9	0.9

＜問9で「どちらかといえばそう思わない」又は「そう思わない」とした回答者のみ＞

(2) 「子育てしてよかった」と思わない理由（問10）

「子育てしてよかった」と思わない理由は、「経済的な負担が大きい」（80.8％）の割合が最も高く、次に「子育てと仕事(キャリア)の両立が難しい」（34.6％）、「頼れる人・場所がない(少ない)」（30.8％）が続く。

図表 II-11 「子育てしてよかった」と思わない理由（複数回答）



(上段:実数、下段:%)

		合計	経済的 な負担が 大きい	頼れる人・場所 がない（少ない）	子育てと仕事 （キヤリア）の 両立が難しい	その他	無回答
全体		26 100.0	21 80.8	8 30.8	9 34.6	2 7.7	0 0.0
性別	男性	13 100.0	9 69.2	2 15.4	4 30.8	1 7.7	0 0.0
	女性	12 100.0	11 91.7	6 50.0	5 41.7	1 8.3	0 0.0
	回答しない	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
年齢別	20歳代以下	1 100.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
	30歳代	3 100.0	1 33.3	2 66.7	1 33.3	1 33.3	0 0.0
	40歳代	4 100.0	4 100.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0
	50歳代	5 100.0	4 80.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0
	60歳代	7 100.0	6 85.7	2 28.6	1 14.3	1 14.3	0 0.0
	70歳以上	5 100.0	4 80.0	1 20.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0
	東部エリア	2 100.0	2 100.0	1 50.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
	南部エリア	6 100.0	6 100.0	2 33.3	1 16.7	0 0.0	0 0.0
居住地 域（8 エリア）	中心部東エリア	3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	中心部西エリア	4 100.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0
	南西エリア	7 100.0	7 100.0	1 14.3	2 28.6	0 0.0	0 0.0
	西部エリア・島しょ部	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
	北部エリア	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	北条エリア	2 100.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
	生まれてからずっと松山市に 居住している	7 100.0	6 85.7	1 14.3	2 28.6	0 0.0	0 0.0
	松山市出身で、市外へ転出した 後、戻ってきた（Uターン）	6 100.0	6 100.0	2 33.3	4 66.7	0 0.0	0 0.0
居住 経験	松山市外の出身で、 転入してきた	13 100.0	9 69.2	5 38.5	3 23.1	2 15.4	0 0.0
	その他	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -

3. 福祉について

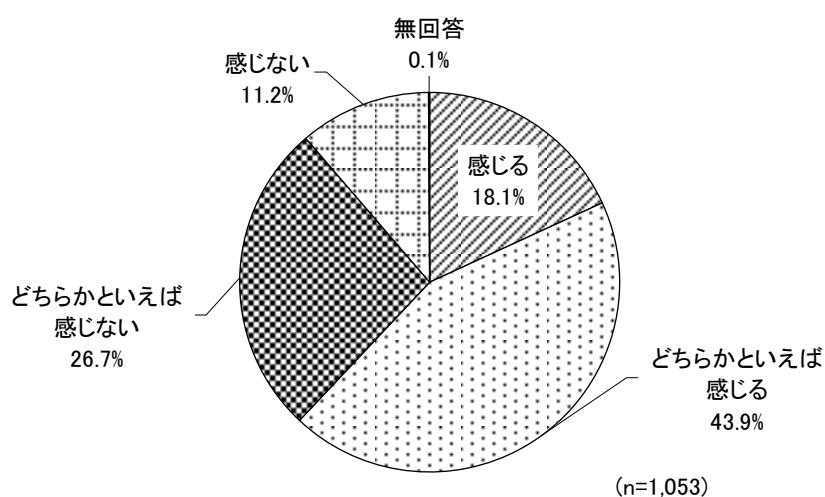
(1) 「地域や社会とのつながり」を感じるか（問 11）

「地域や社会とのつながり」を感じているかという問いに対し、「感じる」とした回答者の割合は 18.1%、「どちらかといえば感じる」は 43.9%であり、『地域や社会とのつながりを感じる』回答者の割合（「感じる」と「どちらかといえば感じる」の合計）は、62.0%である。

年齢別では、「20 歳代以下」で「どちらかといえば感じない」、「20 歳代以下」と「30 歳代」で「感じない」の割合が全体よりも高く、「70 歳以上」で「感じる」の割合が全体よりも高い。「64 歳以下」と「65 歳以上」に区分した場合は、「65 歳以上」で「感じる」の割合が全体よりも高い。

居住地域別では、「西部エリア・島しょ部」で「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合が全体よりも高く、「北部エリア」で「どちらかといえば感じない」の割合が全体よりもやや高い。

図表 II-12 「地域や社会とのつながり」を感じているか



(上段:実数、下段:%)

		合計	感じる	感じどちらかといえば	感じどちらかといえ	感じない	無回答
全体		1,053	191	462	281	118	1
		100.0	18.1	43.9	26.7	11.2	0.1
性別	男性	429	78	180	117	53	1
		100.0	18.2	42.0	27.3	12.4	0.2
	女性	579	110	264	152	53	0
		100.0	19.0	45.6	26.3	9.2	0.0
	回答しない	39	3	14	11	11	0
		100.0	7.7	35.9	28.2	28.2	0.0
年齢別	20歳代以下	113	9	40	44	19	1
		100.0	8.0	35.4	38.9	16.8	0.9
	30歳代	122	13	50	38	21	0
		100.0	10.7	41.0	31.1	17.2	0.0
	40歳代	164	24	76	45	19	0
		100.0	14.6	46.3	27.4	11.6	0.0
	50歳代	190	31	81	51	27	0
		100.0	16.3	42.6	26.8	14.2	0.0
	60歳代	210	41	98	53	18	0
		100.0	19.5	46.7	25.2	8.6	0.0
	70歳以上	234	69	106	46	13	0
		100.0	29.5	45.3	19.7	5.6	0.0
居住地域（8エリア）	64歳以下	693	99	297	203	93	1
		100.0	14.3	42.9	29.3	13.4	0.1
	65歳以上	340	88	154	74	24	0
		100.0	25.9	45.3	21.8	7.1	0.0
	東部エリア	28	5	14	5	4	0
		100.0	17.9	50.0	17.9	14.3	0.0
	南部エリア	261	51	118	61	31	0
		100.0	19.5	45.2	23.4	11.9	0.0
	中心部東エリア	191	29	83	59	20	0
		100.0	15.2	43.5	30.9	10.5	0.0
	中心部西エリア	197	30	83	55	28	1
		100.0	15.2	42.1	27.9	14.2	0.5
居住経験	南西エリア	162	23	71	47	21	0
		100.0	14.2	43.8	29.0	13.0	0.0
	西部エリア・島しょ部	64	15	33	9	7	0
		100.0	23.4	51.6	14.1	10.9	0.0
	北部エリア	99	18	41	35	5	0
		100.0	18.2	41.4	35.4	5.7	0.0
	北条エリア	49	20	18	9	2	0
		100.0	40.8	36.7	18.4	4.7	0.0
	生まれてからずっと松山市に居住している	377	71	172	93	41	0
		100.0	18.8	45.6	24.7	10.9	0.0
居住経験	松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた(Uターン)	202	36	84	61	20	1
		100.0	17.8	41.6	30.2	9.9	0.5
	松山市外の出身で、転入してきた	452	81	199	122	50	0
		100.0	17.9	44.0	27.0	11.1	0.0
居住経験	その他	21	3	6	5	7	0
		100.0	14.3	28.6	23.8	33.3	0.0

＜問 11 で「どちらかといえば感じない」又は「感じない」とした回答者のみ＞

(2) 「地域や社会とのつながり」を感じない（感じにくい）理由（問 12）

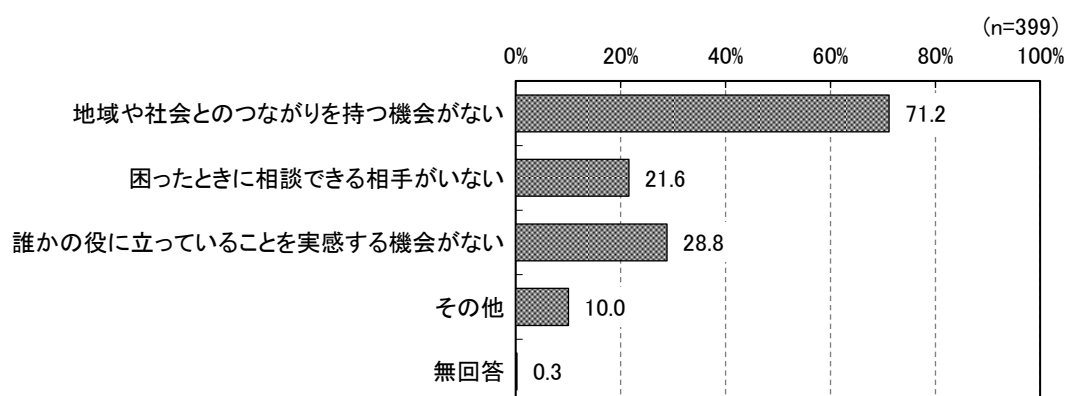
地域や社会とのつながりを感じない（感じにくい）理由としては、「地域や社会とのつながりを持つ機会がない」（71.2%）の割合が最も高く、次に「誰かの役に立っていることを実感する機会がない」（28.8%）、「困ったときに相談できる相手がいない」（21.6%）が続く。

年齢別では、「20 歳代以下」と「30 歳代」で「地域や社会とのつながりを持つ機会がない」の割合が全体よりも高く、「70 歳以上」で「困ったときに相談できる相手がいない」の割合が全体よりも高い。「64 歳以下」と「65 歳以上」に区分した場合は、「65 歳以上」で「誰かの役に立っていることを実感する機会がない」の割合が全体よりも高い。

居住地域別では、「中心部東エリア」で「困ったときに相談できる相手がいない」の割合が全体よりも高い。

居住経験別では、「松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた（Uターン）」で「地域や社会とのつながりを持つ機会がない」の割合が全体よりも高い。

図表 II-13 「地域や社会とのつながり」を感じない（感じにくい）理由（複数回答）



(上段:実数、下段:%)

		合計	機会が ない	地域や 社会と つ	い ない	で ける	困 った	す る	誰 かの 役	そ 他	無 回 答
全体		399	284	86	115	40	1				
		100.0	71.2	21.6	28.8	10.0	0.3				
性別	男性	170	120	37	52	15	1				
		100.0	70.6	21.8	30.6	8.8	0.6				
	女性	205	154	43	55	19	0				
		100.0	75.1	21.0	26.8	9.3	0.0				
回答しない		22	9	6	8	5	0				
		100.0	40.9	27.3	36.4	22.7	0.0				
年齢別	20歳代以下	63	53	9	18	5	0				
		100.0	84.1	14.3	28.6	7.9	0.0				
	30歳代	59	48	10	13	4	0				
		100.0	81.4	16.9	22.0	6.8	0.0				
	40歳代	64	47	16	16	8	0				
		100.0	73.4	25.0	25.0	12.5	0.0				
	50歳代	78	48	19	25	8	1				
		100.0	61.5	24.4	32.1	10.3	1.3				
	60歳代	71	48	15	22	8	0				
		100.0	67.6	21.1	31.0	11.3	0.0				
	70歳以上	59	37	16	19	7	0				
		100.0	62.7	27.1	32.2	11.9	0.0				
居住地域（8エリア）	64歳以下	296	218	62	78	30	1				
		100.0	73.6	20.9	26.4	10.1	0.3				
	65歳以上	98	63	23	35	10	0				
		100.0	64.3	23.5	35.7	10.2	0.0				
	東部エリア	9	7	2	1	0	1				
		100.0	77.8	22.2	11.1	0.0	11.1				
	南部エリア	92	63	21	30	6	0				
		100.0	68.5	22.8	32.6	6.5	0.0				
	中心部東エリア	79	56	21	23	6	0				
		100.0	70.9	26.6	29.1	7.6	0.0				
居住地域（8エリア）	中心部西エリア	83	63	16	21	10	0				
		100.0	75.9	19.3	25.3	12.0	0.0				
	南西エリア	68	51	17	19	7	0				
		100.0	75.0	25.0	27.9	10.3	0.0				
	西部エリア・島しょ部	16	10	1	3	4	0				
		100.0	62.5	6.3	18.8	25.0	0.0				
	北部エリア	40	27	3	13	6	0				
		100.0	67.5	7.5	32.5	15.0	0.0				
	北条エリア	11	6	5	5	1	0				
		100.0	54.5	45.5	45.5	9.1	0.0				
居住経験	生まれてからずっと松山市に 居住している	134	93	26	44	16	0				
		100.0	69.4	19.4	32.8	11.9	0.0				
	松山市出身で、市外へ転出した 後、戻ってきた(Uターン)	81	66	21	24	6	0				
		100.0	81.5	25.9	29.6	7.4	0.0				
	松山市外の出身で、 転入してきた	172	116	36	45	14	1				
		100.0	67.4	20.9	26.2	8.1	0.6				
その他		12	9	3	2	4	0				
		100.0	75.0	25.0	16.7	33.3	0.0				

(3) 生きがいを感じる活動や社会活動等への参加状況（問 13）

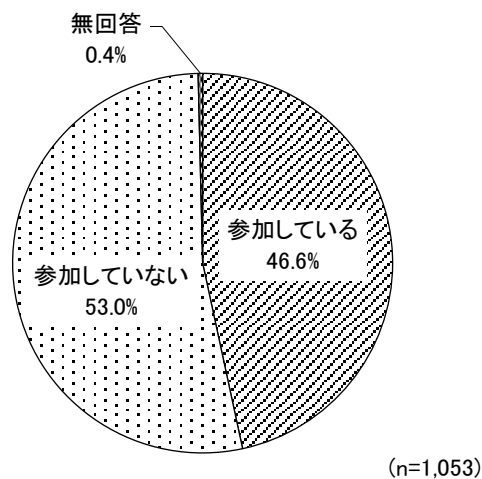
生きがいを感じる活動や社会活動等^(※)への参加状況の全体結果は、「参加している」が 46.6%、「参加していない」が 53.0%である。「65 歳以上」の高齢者では「参加している」が 40.6%、「参加していない」が 58.2%である。

年齢別では、「30 歳代」と「40 歳代」で「参加している」の割合が全体よりも高く、「60 歳代」で「参加していない」の割合が全体よりも高い。「64 歳以下」と「65 歳以上」に区分した場合は、「65 歳以上」で「参加していない」の割合が全体よりも高い。

居住地域別では、「南部エリア」で「参加している」の割合が全体よりも高い。

居住経験別では、「松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた（Uターン）」で「参加している」の割合が全体よりも高い。

図表 II-14 生きがいを感じる活動や社会活動等への参加状況



(※) 社会活動等: 仕事、趣味の活動、ボランティアなど。

(上段:実数、下段:%)

		合計	参加している	参加していない	無回答
全体		1,053	491	558	4
		100.0	46.6	53.0	0.4
性別	男性	429	205	223	1
		100.0	47.8	52.0	0.2
	女性	579	274	303	2
		100.0	47.3	52.3	0.3
	回答しない	39	11	27	1
		100.0	28.2	69.2	2.6
年齢別	20歳代以下	113	50	63	0
		100.0	44.2	55.8	0.0
	30歳代	122	64	58	0
		100.0	52.5	47.5	0.0
	40歳代	164	90	74	0
		100.0	54.9	45.1	0.0
	50歳代	190	94	96	0
		100.0	49.5	50.5	0.0
	60歳代	210	84	125	1
		100.0	40.0	59.5	0.5
	70歳以上	234	97	134	3
		100.0	41.5	57.3	1.3
居住地域（8エリア）	東部エリア	28	15	13	0
		100.0	53.6	46.4	0.0
	南部エリア	261	135	125	1
		100.0	51.7	47.9	0.4
	中心部東エリア	191	83	106	2
		100.0	43.5	55.5	1.0
	中心部西エリア	197	86	111	0
		100.0	43.7	56.3	0.0
	南西エリア	162	69	92	1
		100.0	42.6	56.8	0.6
	西部エリア・島しょ部	64	28	36	0
		100.0	43.8	56.3	0.0
居住経験	北部エリア	99	49	50	0
		100.0	49.5	50.5	0.0
	北条エリア	49	26	23	0
		100.0	53.1	46.9	0.0
	生まれてからずっと松山市に居住している	377	174	201	2
		100.0	46.2	53.3	0.5
	松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた(Uターン)	202	107	95	0
		100.0	53.0	47.0	0.0
居住経験	松山市外の出身で、転入してきた	452	200	250	2
		100.0	44.2	55.3	0.4
	その他	21	9	12	0
		100.0	42.9	57.1	0.0

＜問 13 で「参加している」とした回答者のみ＞

(4) 参加している活動（問 14）

社会活動に参加している回答者が参加している活動は、「仕事」（59.3％）の割合が最も高く、次に「趣味の活動」（43.2％）、「ボランティア」（17.9％）が続く。

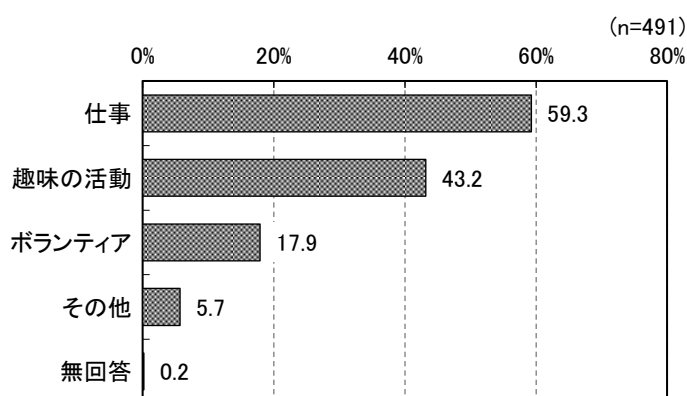
性別では、「男性」で「仕事」の割合が全体よりも低い。

年齢別では、「30 歳代」「40 歳代」「50 歳代」で「仕事」の割合が全体よりも高く、「70 歳以上」で「趣味の活動」「ボランティア」「その他」の割合が全体よりも高い。「64 歳以下」と「65 歳以上」で区分した場合は、「64 歳以下」で「仕事」、「65 歳以上」で「趣味の活動」「ボランティア」「その他」の割合が全体よりも高い。

居住地域別では、「中心部東エリア」で「仕事」の割合が全体よりも高く、「中心部西エリア」と「南西エリア」で「趣味の活動」の割合が全体よりも高い。

居住経験別では、「松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた（Uターン）」で「ボランティア」の割合が全体よりも高い。

図表 II-15 参加している活動（複数回答）



(上段:実数、下段:%)

		合計	仕事	趣味の活動	ボランティア	その他	無回答	
全体		491 100.0	291 59.3	212 43.2	88 17.9	28 5.7	1 0.2	
性別	男性	205 100.0	110 53.7	87 42.4	45 22.0	14 6.8	1 0.5	
	女性	274 100.0	171 62.4	120 43.8	43 15.7	14 5.1	0 0.0	
	回答しない	11 100.0	9 81.8	4 36.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
年齢別	20歳代以下	50 100.0	30 60.0	20 40.0	9 18.0	2 4.0	0 0.0	
	30歳代	64 100.0	42 65.6	29 45.3	6 9.4	2 3.1	0 0.0	
	40歳代	90 100.0	72 80.0	32 35.6	8 8.9	1 1.1	0 0.0	
	50歳代	94 100.0	72 76.6	33 35.1	15 16.0	2 2.1	0 0.0	
	60歳代	84 100.0	44 52.4	39 46.4	16 19.0	8 9.5	0 0.0	
	70歳以上	97 100.0	25 25.8	53 54.6	32 33.0	12 12.4	1 1.0	
	64歳以下	341 100.0	240 70.4	132 38.7	49 14.4	8 2.3	0 0.0	
	65歳以上	138 100.0	45 32.6	74 53.6	37 26.8	19 13.8	1 0.7	
	居住地域（8エリア）	東部エリア	15 100.0	10 66.7	7 46.7	2 13.3	2 13.3	0 0.0
		南部エリア	135 100.0	78 57.8	59 43.7	23 17.0	7 5.2	1 0.7
中心部東エリア		83 100.0	54 65.1	25 30.1	12 14.5	3 3.6	0 0.0	
中心部西エリア		86 100.0	49 57.0	43 50.0	11 12.8	6 7.0	0 0.0	
南西エリア		69 100.0	40 58.0	34 49.3	15 21.7	4 5.8	0 0.0	
西部エリア・島しょ部		28 100.0	13 46.4	12 42.9	7 25.0	2 7.1	0 0.0	
北部エリア		49 100.0	33 67.3	21 42.9	12 24.5	1 2.0	0 0.0	
北条エリア		26 100.0	14 53.8	11 42.3	6 23.1	3 11.5	0 0.0	
居住経験	生まれてからずっと松山市に居住している	174 100.0	102 58.6	67 38.5	28 16.1	13 7.5	1 0.6	
	松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた(Uターン)	107 100.0	60 56.1	50 46.7	32 29.9	4 3.7	0 0.0	
	松山市外の出身で、転入してきた	200 100.0	125 62.5	89 44.5	27 13.5	11 5.5	0 0.0	
	その他	9 100.0	4 44.4	5 55.6	1 11.1	0 0.0	0 0.0	

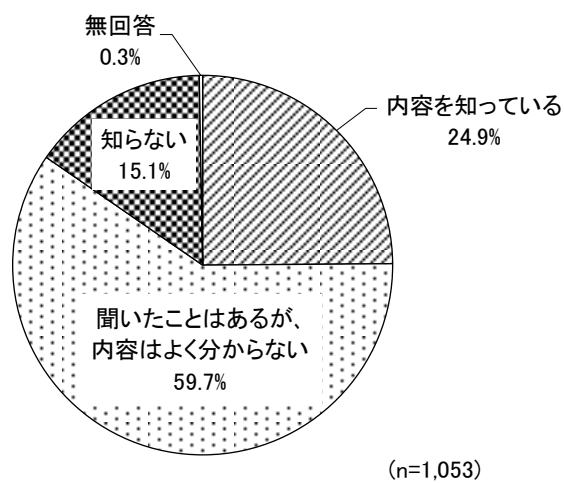
(5) 「民生委員・児童委員制度」の認知度（問 15）

「民生委員・児童委員制度」の認知度は、「聞いたことはあるが、内容はよく分からない」（59.7%）の割合が最も高く、次に「内容を知っている」（24.9%）、「知らない」（15.1%）が続く。

年齢別では、「20 歳代以下」と「30 歳代」で「知らない」、「50 歳代」と「60 歳代」で「聞いたことはあるが、内容はよく分からない」、「70 歳以上」で「内容を知っている」の割合が全体よりも高い。

居住地域別では、「西部エリア・島しょ部」で「内容を知っている」、「南西エリア」と「北部エリア」で「聞いたことはあるが、内容はよく分からない」の割合が全体よりも高い。

図表 II-16 「民生委員・児童委員制度」の認知度



(上段:実数、下段:%)

		合計	内容を 知っている	が聞 いたこ とは よく 分る	知 ら ない	無 回 答
全体		1,053	262	629	159	3
		100.0	24.9	59.7	15.1	0.3
性別	男性	429	111	245	72	1
		100.0	25.9	57.1	16.8	0.2
	女性	579	143	357	77	2
		100.0	24.7	61.7	13.3	0.3
回答しない		39	7	23	9	0
		100.0	17.9	59.0	23.1	0.0
年齢別	20歳代以下	113	9	40	64	0
		100.0	8.0	35.4	56.6	0.0
	30歳代	122	20	70	32	0
		100.0	16.4	57.4	26.2	0.0
	40歳代	164	36	98	29	1
		100.0	22.0	59.8	17.7	0.6
	50歳代	190	51	124	15	0
		100.0	26.8	65.3	7.9	0.0
	60歳代	210	55	149	6	0
		100.0	26.2	71.0	2.9	0.0
居住地域（8エリア）	東部エリア	28	10	17	1	0
		100.0	35.7	60.7	3.6	0.0
	南部エリア	261	65	152	44	0
		100.0	24.9	58.2	16.9	0.0
	中心部東エリア	191	53	113	24	1
		100.0	27.7	59.2	12.6	0.5
	中心部西エリア	197	46	117	34	0
		100.0	23.4	59.4	17.3	0.0
	南西エリア	162	29	107	25	1
		100.0	17.9	66.0	15.4	0.6
居住経験	西部エリア・島しょ部	64	23	30	11	0
		100.0	35.9	46.9	17.2	0.0
	北部エリア	99	17	70	12	0
		100.0	17.2	70.7	12.1	0.0
	北条エリア	49	17	23	8	1
		100.0	34.7	46.9	16.3	2.0
居住経	生まれてからずっと松山市に 居住している	377	85	220	69	3
		100.0	22.5	58.4	18.3	0.8
	松山市出身で、市外へ転出した 後、戻ってきた(Uターン)	202	54	109	39	0
		100.0	26.7	54.0	19.3	0.0
	松山市外の出身で、 転入してきた	452	115	288	49	0
験		100.0	25.4	63.7	10.8	0.0
	その他	21	7	12	2	0
		100.0	33.3	57.1	9.5	0.0

4. 健康・医療について

(1) 松山市の「医療体制が充実している」と思うか（問 16）

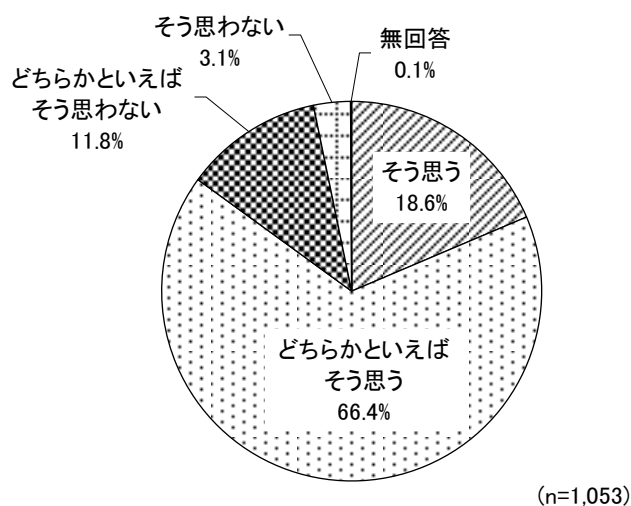
松山市の「医療体制が充実している」と思うかについては、「どちらかといえばそう思う」（66.4%）の割合が最も高く、次に「そう思う」（18.6%）、「どちらかといえばそう思わない」（11.8%）が続く。『医療体制が充実していると思う』回答者の割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、85.0%である。

年齢別では、「20 歳代以下」で「どちらかといえばそう思わない」の割合が全体よりも高く、「70 歳以上」で「そう思う」の割合が全体よりも高い。

こどもの人数別では、「2 人」で「どちらかといえばそう思う」の割合が全体よりも高い。

こどもの年齢別では、「小学生」で「どちらかといえばそう思わない」の割合が全体よりも高い。

図表 II-17 松山市の「医療体制が充実している」と思うか



(上段:実数、下段:%)

		合計	そう 思う	そう 思う か とい え ば	ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	無 回 答
全体		1,053	196	699	124	33	1
		100.0	18.6	66.4	11.8	3.1	0.1
性別	男性	429	86	272	58	13	0
		100.0	20.0	63.4	13.5	3.0	0.0
	女性	579	106	397	57	18	1
		100.0	18.3	68.6	9.8	3.1	0.2
	回答しない	39	4	25	8	2	0
		100.0	10.3	64.1	20.5	5.1	0.0
年齢別	20歳代以下	113	23	63	23	3	1
		100.0	20.4	55.8	20.4	2.7	0.9
	30歳代	122	19	84	14	5	0
		100.0	15.6	68.9	11.5	4.1	0.0
	40歳代	164	27	108	23	6	0
		100.0	16.5	65.9	14.0	3.7	0.0
	50歳代	190	25	135	23	7	0
		100.0	13.2	71.1	12.1	3.7	0.0
	60歳代	210	32	147	24	7	0
		100.0	15.2	70.0	11.4	3.3	0.0
	70歳以上	234	65	153	12	4	0
		100.0	27.8	65.4	5.1	1.7	0.0
居住地域（8エリア）	東部エリア	28	3	20	5	0	0
		100.0	10.7	71.4	17.9	0.0	0.0
	南部エリア	261	48	177	28	8	0
		100.0	18.4	67.8	10.7	3.1	0.0
	中心部東エリア	191	31	129	20	11	0
		100.0	16.2	67.5	10.5	5.8	0.0
	中心部西エリア	197	40	133	22	2	0
		100.0	20.3	67.5	11.2	1.0	0.0
	南西エリア	162	35	105	18	4	0
		100.0	21.6	64.8	11.1	2.5	0.0
居住経験	西部エリア・島しょ部	64	11	42	6	4	1
		100.0	17.2	65.6	9.4	6.3	1.6
	北部エリア	99	18	63	15	3	0
		100.0	18.2	63.6	15.2	3.0	0.0
	北条エリア	49	10	30	8	1	0
		100.0	20.4	61.2	16.3	2.0	0.0
	生まれてからずっと松山市に 居住している	377	69	247	48	12	1
		100.0	18.3	65.5	12.7	3.2	0.3
居住経験	松山市出身で、市外へ転出した 後、戻ってきた(Uターン)	202	41	126	29	6	0
		100.0	20.3	62.4	14.4	3.0	0.0
	松山市外の出身で、 転入してきた	452	81	312	44	15	0
		100.0	17.9	69.0	9.7	3.3	0.0
その他		21	4	14	3	0	0
		100.0	19.0	66.7	14.3	0.0	0.0

(上段:実数、下段:%)

		合計	そう 思う	そう どちら かとい えば	そう どちら かわない えば	そう 思わない	無 回 答
全体		1,053	196	699	124	33	1
		100.0	18.6	66.4	11.8	3.1	0.1
人数別 こどもの	1人	125	26	82	13	4	0
		100.0	20.8	65.6	10.4	3.2	0.0
	2人	386	67	278	30	11	0
		100.0	17.4	72.0	7.8	2.8	0.0
	3人	162	34	104	21	3	0
		100.0	21.0	64.2	13.0	1.9	0.0
	4人以上	21	6	13	1	1	0
		100.0	28.6	61.9	4.8	4.8	0.0
年齢別 こどもの	未就学児	94	20	63	9	2	0
		100.0	21.3	67.0	9.6	2.1	0.0
	小学生	101	17	63	18	3	0
		100.0	16.8	62.4	17.8	3.0	0.0
	中学生以上	576	111	398	51	16	0
		100.0	19.3	69.1	8.9	2.8	0.0

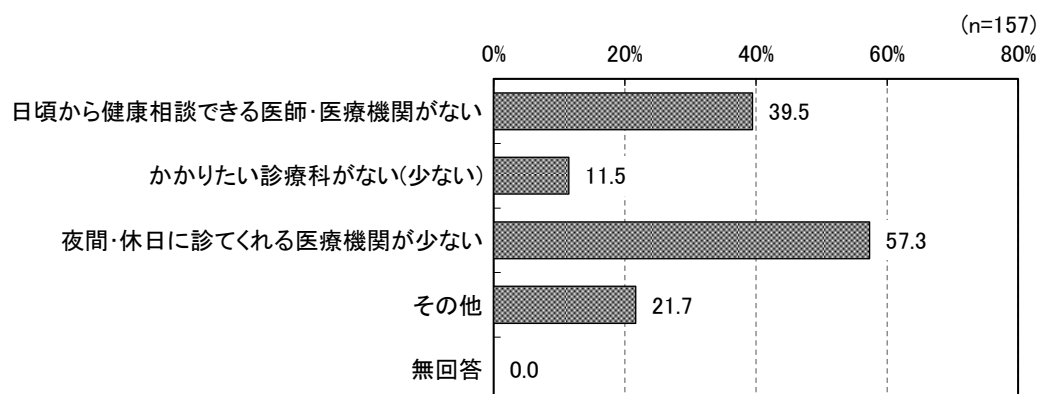
＜問 16 で「どちらかといえばそう思わない」又は「そう思わない」とした回答者のみ＞

(2) 松山市の「医療体制が充実している」と思わない理由（問 17）

松山市の「医療体制が充実している」と思わない理由は、「夜間・休日に診てくれる医療機関が少ない」（57.3％）の割合が最も高く、次に「日頃から健康相談できる医師・医療機関がない」（39.5％）、「かかりたい診療科がない（少ない）」（11.5％）が続く。

性別では、「男性」で「日頃から健康相談できる医師、医療機関がない」の割合が全体よりも高い。

図表 II-18 松山市の「医療体制が充実している」と思わない理由（複数回答）



(上段:実数、下段:%)

		合計	機 関 が な い	で 可 能 な 医 生 ・ 健 康 医 療	日 頃 か ら 健 診 ・ 相 談	が な か り た い 診 療	少 な い ・ 医 療 機 関 に 関 が て	そ の 他	無 回 答
全体		157	62	18	90	34	0		
		100.0	39.5	11.5	57.3	21.7	0.0		
性別	男性	71	32	8	40	14	0		
		100.0	45.1	11.3	56.3	19.7	0.0		
	女性	75	25	10	42	19	0		
		100.0	33.3	13.3	56.0	25.3	0.0		
回答しない		10	5	0	7	1	0		
		100.0	50.0	0.0	70.0	10.0	0.0		
年齢別	20歳代以下	26	10	4	12	4	0		
		100.0	38.5	15.4	46.2	15.4	0.0		
	30歳代	19	7	4	13	6	0		
		100.0	36.8	21.1	68.4	31.6	0.0		
	40歳代	29	8	4	18	7	0		
		100.0	27.6	13.8	62.1	24.1	0.0		
	50歳代	30	14	1	19	7	0		
		100.0	46.7	3.3	63.3	23.3	0.0		
居住地域（8エリア）	60歳代	31	15	3	13	7	0		
		100.0	48.4	9.7	41.9	22.6	0.0		
	70歳以上	16	7	1	11	2	0		
		100.0	43.8	6.3	68.8	12.5	0.0		
	東部エリア	5	3	0	3	0	0		
		100.0	60.0	0.0	60.0	0.0	0.0		
	南部エリア	36	11	5	25	5	0		
		100.0	30.6	13.9	69.4	13.9	0.0		
居住経験	中心部東エリア	31	14	5	15	8	0		
		100.0	45.2	16.1	48.4	25.8	0.0		
	中心部西エリア	24	12	1	10	6	0		
		100.0	50.0	4.2	41.7	25.0	0.0		
	南西エリア	22	9	2	15	6	0		
		100.0	40.9	9.1	68.2	27.3	0.0		
	西部エリア・島しょ部	10	3	2	5	3	0		
		100.0	30.0	20.0	50.0	30.0	0.0		
居住経験	北部エリア	18	7	0	10	5	0		
		100.0	38.9	0.0	55.6	27.8	0.0		
	北条エリア	9	3	2	6	1	0		
		100.0	33.3	22.2	66.7	11.1	0.0		
	生まれてからずっと松山市に 居住している	60	24	4	33	15	0		
		100.0	40.0	6.7	55.0	25.0	0.0		
居住経験	松山市出身で、市外へ転出した 後、戻ってきた(Uターン)	35	15	4	24	6	0		
		100.0	42.9	11.4	68.6	17.1	0.0		
	松山市外の出身で、 転入してきた	59	22	10	31	12	0		
		100.0	37.3	16.9	52.5	20.3	0.0		
その他		3	1	0	2	1	0		
		100.0	33.3	0.0	66.7	33.3	0.0		

(上段:実数、下段:%)

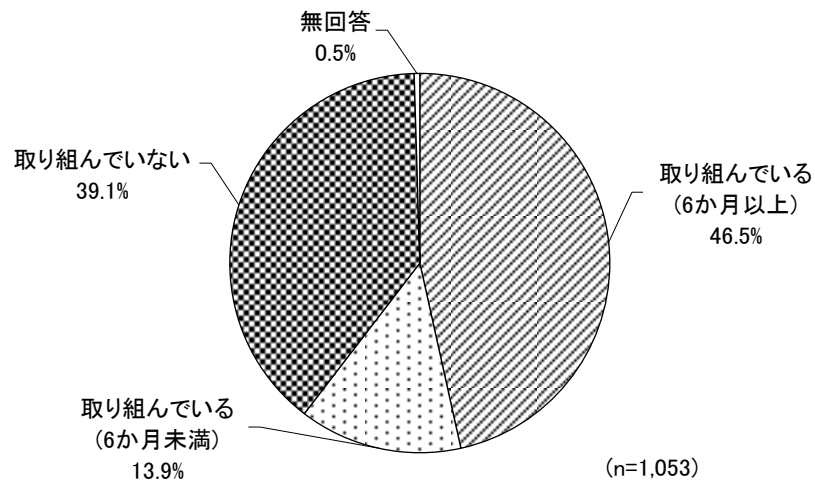
		合 計	機 関 が な い	日 頃 か ら 医 師 ・ 健 康 相 療 談	か な い り た い 少 い 診 療 科	少 な い る 医 療 機 関 が て	夜 間 ・ 休 日 に 診 が て	そ の 他	無 回 答
全体		157	62	18	90	34	0		
		100.0	39.5	11.5	57.3	21.7	0.0		
人数別 こどもの	1人	17	3	6	9	5	0		
		100.0	17.6	35.3	52.9	29.4	0.0		
	2人	41	16	4	25	6	0		
		100.0	39.0	9.8	61.0	14.6	0.0		
	3人	24	9	3	18	5	0		
		100.0	37.5	12.5	75.0	20.8	0.0		
	4人以上	2	0	0	2	0	0		
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0		
年齢別 こどもの	未就学児	11	1	5	9	1	0		
		100.0	9.1	45.5	81.8	9.1	0.0		
	小学生	21	4	5	18	5	0		
		100.0	19.0	23.8	85.7	23.8	0.0		
	中学生以上	67	25	4	41	13	0		
		100.0	37.3	6.0	61.2	19.4	0.0		

(3) 生活習慣病予防を意識した生活改善への取組状況（問 18）

生活習慣病予防を意識した生活改善（運動や食生活など）への取組状況は、「取り組んでいる（6か月以上）」（46.5％）の割合が最も高く、次に「取り組んでいない」（39.1％）、「取り組んでいる（6か月未満）」（13.9％）が続く。

年齢別では、「30 歳代」と「40 歳代」で「取り組んでいない」の割合が全体よりも高い。

図表 II-19 生活習慣病予防を意識した生活改善



(上段:実数、下段:%)

		合 計	取 り 組 ん で い る (6 か 月 以 上)	取 り 組 ん で い る (6 か 月 未 満)	取 り 組 ん で い ない	無 回 答
全体		1,053	490	146	412	5
		100.0	46.5	13.9	39.1	0.5
性 別	男性	429	220	47	158	4
		100.0	51.3	11.0	36.8	0.9
	女性	579	255	90	234	0
		100.0	44.0	15.5	40.4	0.0
回答しない		39	12	9	17	1
		100.0	30.8	23.1	43.6	2.6
年 齢 別	20歳代以下	113	45	19	49	0
		100.0	39.8	16.8	43.4	0.0
	30歳代	122	39	21	62	0
		100.0	32.0	17.2	50.8	0.0
	40歳代	164	51	31	82	0
		100.0	31.1	18.9	50.0	0.0
	50歳代	190	88	32	70	0
		100.0	46.3	16.8	36.8	0.0
	60歳代	210	107	24	77	2
100.0		51.0	11.4	36.7	1.0	
70歳以上	234	148	15	68	3	
	100.0	63.2	6.4	29.1	1.3	
居 住 地 域 (8 エ リ ア)	東部エリア	28	10	7	11	0
		100.0	35.7	25.0	39.3	0.0
	南部エリア	261	122	37	101	1
		100.0	46.7	14.2	38.7	0.4
	中心部東エリア	191	96	19	75	1
		100.0	50.3	9.9	39.3	0.5
	中心部西エリア	197	86	29	81	1
		100.0	43.7	14.7	41.1	0.5
	南西エリア	162	72	19	71	0
		100.0	44.4	11.7	43.8	0.0
	西部エリア・島しょ部	64	33	8	23	0
100.0		51.6	12.5	35.9	0.0	
居 住 経 験	生まれてからずっと松山市に 居住している	377	166	55	154	2
		100.0	44.0	14.6	40.8	0.5
	松山市出身で、市外へ転出した 後、戻ってきた(Uターン)	202	99	24	79	0
		100.0	49.0	11.9	39.1	0.0
居 住 経 験	松山市外の出身で、 転入してきた	452	216	64	169	3
		100.0	47.8	14.2	37.4	0.7
	その他	21	8	3	10	0
		100.0	38.1	14.3	47.6	0.0

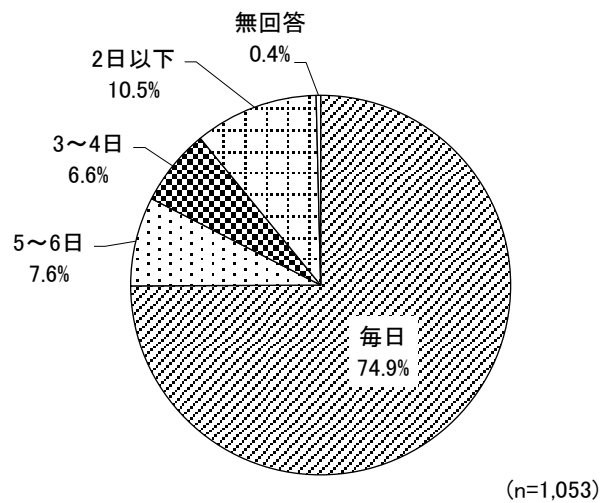
(4) 1週間のうち朝食を食べる日数（問19）

1週間のうち朝食を食べる日数は、「毎日」（74.9％）の割合が最も高く、次に「2日以下」（10.5％）、「5～6日」（7.6％）が続く。

年齢別では、「20歳代以下」「30歳代」「40歳代」で「毎日」の割合が全体よりも低く、「60歳代」と「70歳以上」で「毎日」の割合が全体よりも高い。

家族構成別では、「ひとり暮らし」と「3世代が同居（親と子と孫）」で「毎日」の割合が全体よりも低く、「夫婦のみ」で「毎日」の割合が全体よりも高い。

図表 II-20 1週間のうち朝食を食べる日数



(上段:実数、下段:%)

		合計	毎日	5 ～ 6 日	3 ～ 4 日	2 日 以下	無 回 答
全体		1,053	789	80	69	111	4
		100.0	74.9	7.6	6.6	10.5	0.4
性別	男性	429	313	39	21	55	1
		100.0	73.0	9.1	4.9	12.8	0.2
	女性	579	442	40	44	50	3
		100.0	76.3	6.9	7.6	8.6	0.5
	回答しない	39	29	1	3	6	0
		100.0	74.4	2.6	7.7	15.4	0.0
年齢別	20歳代以下	113	44	23	21	25	0
		100.0	38.9	20.4	18.6	22.1	0.0
	30歳代	122	77	14	10	21	0
		100.0	63.1	11.5	8.2	17.2	0.0
	40歳代	164	104	16	18	26	0
		100.0	63.4	9.8	11.0	15.9	0.0
	50歳代	190	146	12	6	25	1
		100.0	76.8	6.3	3.2	13.2	0.5
	60歳代	210	183	9	7	9	2
		100.0	87.1	4.3	3.3	4.3	1.0
	70歳以上	234	220	5	5	3	1
		100.0	94.0	2.1	2.1	1.3	0.4
居住地域（8エリア）	東部エリア	28	21	2	2	3	0
		100.0	75.0	7.1	7.1	10.7	0.0
	南部エリア	261	207	18	14	22	0
		100.0	79.3	6.9	5.4	8.4	0.0
	中心部東エリア	191	134	14	15	28	0
		100.0	70.2	7.3	7.9	14.7	0.0
	中心部西エリア	197	137	19	14	27	0
		100.0	69.5	9.6	7.1	13.7	0.0
	南西エリア	162	122	15	10	14	1
		100.0	75.3	9.3	6.2	8.6	0.6
	西部エリア・島しょ部	64	50	4	4	5	1
		100.0	78.1	6.3	6.3	7.8	1.6
居住経験	北部エリア	99	74	7	7	10	1
		100.0	74.7	7.1	7.1	10.1	1.0
	北条エリア	49	42	1	3	2	1
		100.0	85.7	2.0	6.1	4.1	2.0
	生まれてからずっと松山市に 居住している	377	270	35	24	46	2
		100.0	71.6	9.3	6.4	12.2	0.5
	松山市出身で、市外へ転出した 後、戻ってきた(Uターン)	202	148	17	16	21	0
		100.0	73.3	8.4	7.9	10.4	0.0
	松山市外の出身で、 転入してきた	452	355	26	29	41	1
		100.0	78.5	5.8	6.4	9.1	0.2
	その他	21	15	2	0	3	1
		100.0	71.4	9.5	0.0	14.3	4.8

(上段:実数、下段:%)

		合 計	毎 日	5 ～ 6 日	3 ～ 4 日	2 日 以 下	無 回 答
全体		1,053 100.0	789 74.9	80 7.6	69 6.6	111 10.5	4 0.4
家 族 構 成	ひとり暮らし	149	84	21	16	27	1
		100.0	56.4	14.1	10.7	18.1	0.7
	夫婦のみ	311	263	15	8	23	2
		100.0	84.6	4.8	2.6	7.4	0.6
	2世代が同居 (親と子)	512	385	40	35	51	1
		100.0	75.2	7.8	6.8	10.0	0.2
	3世代が同居 (親と子と孫)	51	33	2	8	8	0
		100.0	64.7	3.9	15.7	15.7	0.0
	その他	29	23	2	2	2	0
		100.0	79.3	6.9	6.9	6.9	0.0

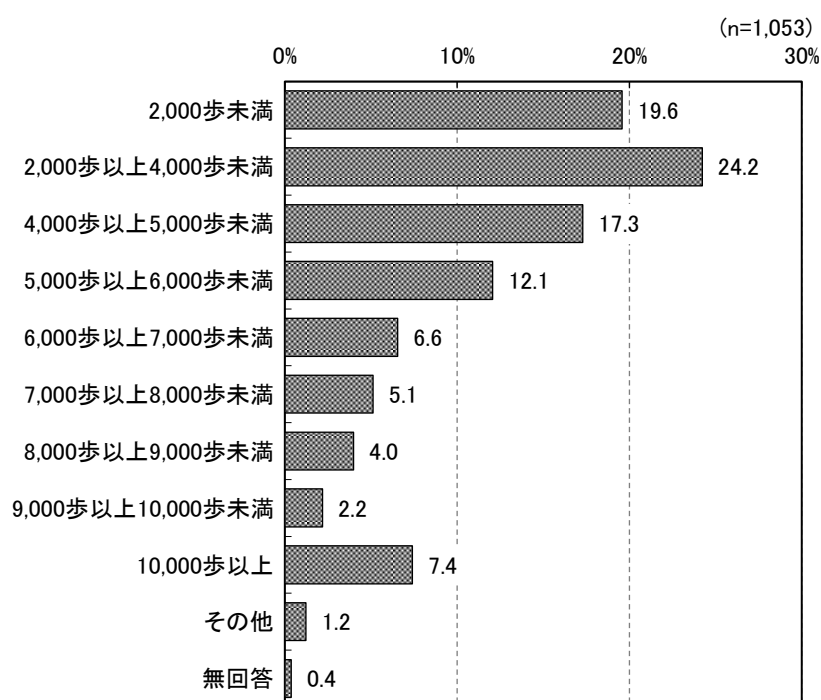
(5) 平均的な1日の歩数（問20）

平均的な1日の歩数は、「2,000歩以上4,000歩未満」（24.2%）の割合が最も高く、次に「2,000歩未満」（19.6%）、「4,000歩以上5,000歩未満」（17.3%）が続く。

年齢別では、「50歳代」で「10,000歩以上」、「60歳代」で「5,000歩以上6,000歩未満」、「70歳以上」で「2,000歩未満」と「4,000歩以上5,000歩未満」の割合が全体よりも高い。

居住地域別では、「中心部東エリア」で「2,000歩以上4,000歩未満」の割合が全体よりも高い。

図表 II-21 平均的な1日の歩数



(上段:実数、下段:%)

		合計	2千歩未満	4千歩未満	5千歩未満	6千歩未満	7千歩未満	8千歩未満	9千歩未満	1万歩未満	1万歩以上	その他	無回答
全体		1,053	206	255	182	127	69	54	42	23	78	13	4
		100.0	19.6	24.2	17.3	12.1	6.6	5.1	4.0	2.2	7.4	1.2	0.4
性別	男性	429	69	91	80	58	20	28	15	14	48	6	0
		100.0	16.1	21.2	18.6	13.5	4.7	6.5	3.5	3.3	11.2	1.4	0.0
	女性	579	128	152	95	66	44	22	24	9	28	7	4
		100.0	22.1	26.3	16.4	11.4	7.6	3.8	4.1	1.6	4.8	1.2	0.7
	回答しない	39	7	12	5	3	4	4	2	0	2	0	0
		100.0	17.9	30.8	12.8	7.7	10.3	10.3	5.1	0.0	5.1	0.0	0.0
年齢別	20歳代以下	113	17	30	20	16	9	6	5	3	6	0	1
		100.0	15.0	26.5	17.7	14.2	8.0	5.3	4.4	2.7	5.3	0.0	0.9
	30歳代	122	22	26	22	12	9	10	6	1	13	1	0
		100.0	18.0	21.3	18.0	9.8	7.4	8.2	4.9	0.8	10.7	0.8	0.0
	40歳代	164	27	43	25	20	12	13	4	4	14	2	0
		100.0	16.5	26.2	15.2	12.2	7.3	7.9	2.4	2.4	8.5	1.2	0.0
	50歳代	190	34	44	26	28	10	10	7	5	24	2	0
		100.0	17.9	23.2	13.7	14.7	5.3	5.3	3.7	2.6	12.6	1.1	0.0
	60歳代	210	39	52	32	36	14	8	7	5	13	2	2
		100.0	18.6	24.8	15.2	17.1	6.7	3.8	3.3	2.4	6.2	1.0	1.0
居住地域（8エリア）	70歳以上	234	61	56	54	14	14	6	13	4	6	5	1
		100.0	26.1	23.9	23.1	6.0	6.0	2.6	5.6	1.7	2.6	2.1	0.4
	東部エリア	28	4	4	5	5	0	3	4	1	1	1	0
		100.0	14.3	14.3	17.9	17.9	0.0	10.7	14.3	3.6	3.6	3.6	0.0
	南部エリア	261	60	58	54	22	18	14	7	3	22	3	0
		100.0	23.0	22.2	20.7	8.4	6.9	5.4	2.7	1.1	8.4	1.1	0.0
	中心部東エリア	191	40	56	28	19	12	8	6	5	13	3	1
		100.0	20.9	29.3	14.7	9.9	6.3	4.2	3.1	2.6	6.8	1.6	0.5
	中心部西エリア	197	37	44	38	28	15	8	6	5	13	3	0
		100.0	18.8	22.3	19.3	14.2	7.6	4.1	3.0	2.5	6.6	1.5	0.0
居住経験	南西エリア	162	21	39	30	22	13	8	9	2	17	0	1
		100.0	13.0	24.1	18.5	13.6	8.0	4.9	5.6	1.2	10.5	0.0	0.6
	西部エリア・島しょ部	64	13	15	8	9	2	5	3	2	5	0	2
		100.0	20.3	23.4	12.5	14.1	3.1	7.8	4.7	3.1	7.8	0.0	3.1
	北部エリア	99	21	24	14	15	6	7	4	1	6	1	0
		100.0	21.2	24.2	14.1	15.2	6.1	7.1	4.0	1.0	6.1	1.0	0.0
	北条エリア	49	9	14	5	7	3	1	3	4	1	2	0
		100.0	18.4	28.6	10.2	14.3	6.1	2.0	6.1	8.2	2.0	4.1	0.0
	生まれてからずっと松山市に居住している	377	69	103	58	38	25	19	14	12	34	3	2
		100.0	18.3	27.3	15.4	10.1	6.6	5.0	3.7	3.2	9.0	0.8	0.5
	松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた(Uターン)	202	34	56	28	26	11	17	9	4	13	3	1
		100.0	16.8	27.7	13.9	12.9	5.4	8.4	4.5	2.0	6.4	1.5	0.5
	松山市外の出身で、転入してきた	452	97	93	94	61	30	16	17	7	30	6	1
		100.0	21.5	20.6	20.8	13.5	6.6	3.5	3.8	1.5	6.6	1.3	0.2
	その他	21	5	3	2	2	3	2	2	0	1	1	0
		100.0	23.8	14.3	9.5	9.5	14.3	9.5	9.5	0.0	4.8	4.8	0.0

5. 地域への愛着・誇りについて

(1) 居住地域に「愛着や誇り」を感じているか（問 21）

居住地域に「愛着や誇り」を感じているかについては、「どちらかといえば感じる」(51.8%)の割合が最も高く、次に「感じる」(26.8%)、「どちらかといえば感じない」(15.3%)が続く。『愛着を感じる』回答者の割合（「感じる」と「どちらかといえば感じる」の合計）は、78.6%である。

年齢別では、「30 歳代」で「感じない」の割合が全体よりも高く、「60 歳代」で「どちらかといえば感じる」、「70 歳以上」で「感じる」の割合が全体よりも高い。

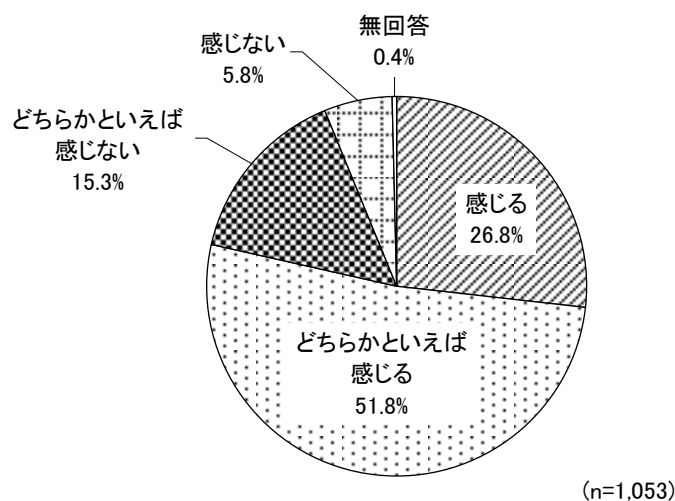
地域や社会とのつながりの有無別では、地域や社会とのつながりを感じている回答者のほうが、居住地域への「愛着や誇り」を感じている傾向がみられる。

生きがいを感じる活動への参加状況別では、活動に参加している回答者のほうが、「感じる」の割合が高い。

居住地域での地域活動に対する認識別では、地域活動が盛んだと感じている回答者のほうが、居住地域への「愛着や誇り」を感じている傾向がみられる。

地域活動への参加状況別では、活動に参加している回答者のほうが、「感じる」の割合が高い。

図表 II-22 居住地域に「愛着や誇り」を感じているか



(上段:実数、下段:%)

		合計	感じる	感じ どちら かとい え	感じ どちら かとい え	感じ ない	無 回 答
全体		1,053	282	545	161	61	4
		100.0	26.8	51.8	15.3	5.8	0.4
性別	男性	429	124	199	70	35	1
		100.0	28.9	46.4	16.3	8.2	0.2
	女性	579	157	320	79	20	3
		100.0	27.1	55.3	13.6	3.5	0.5
	回答しない	39	1	24	9	5	0
		100.0	2.6	61.5	23.1	12.8	0.0
年齢別	20歳代以下	113	35	50	21	7	0
		100.0	31.0	44.2	18.6	6.2	0.0
	30歳代	122	37	53	18	14	0
		100.0	30.3	43.4	14.8	11.5	0.0
	40歳代	164	33	89	30	12	0
		100.0	20.1	54.3	18.3	7.3	0.0
	50歳代	190	46	103	32	8	1
		100.0	24.2	54.2	16.8	4.2	0.5
	60歳代	210	43	126	30	10	1
		100.0	20.5	60.0	14.3	4.8	0.5
居住地域（8エリア）	東部エリア	28	5	16	5	2	0
		100.0	17.9	57.1	17.9	7.1	0.0
	南部エリア	261	78	133	30	17	3
		100.0	29.9	51.0	11.5	6.5	1.1
	中心部東エリア	191	52	98	31	10	0
		100.0	27.2	51.3	16.2	5.2	0.0
	中心部西エリア	197	47	115	25	10	0
		100.0	23.9	58.4	12.7	5.1	0.0
	南西エリア	162	36	81	36	8	1
		100.0	22.2	50.0	22.2	4.9	0.6
居住経験	西部エリア・島しょ部	64	18	34	8	4	0
		100.0	28.1	53.1	12.5	6.3	0.0
	北部エリア	99	23	51	20	5	0
		100.0	23.2	51.5	20.2	5.1	0.0
	北条エリア	49	23	16	5	5	0
		100.0	46.9	32.7	10.2	10.2	0.0
	生まれてからずっと松山市に 居住している	377	134	186	39	18	0
		100.0	35.5	49.3	10.3	4.8	0.0
	松山市出身で、市外へ転出した 後、戻ってきた(Uターン)	202	60	104	29	8	1
		100.0	29.7	51.5	14.4	4.0	0.5
居住経験	松山市外の出身で、 転入してきた	452	79	250	87	33	3
		100.0	17.5	55.3	19.2	7.3	0.7
	その他	21	8	5	6	2	0
		100.0	38.1	23.8	28.6	9.5	0.0

(上段:実数、下段:%)

		合計	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	無回答
全体		1,053	282	545	161	61	4
		100.0	26.8	51.8	15.3	5.8	0.4
地域や社会とのつながり	感じる	191	111	67	8	5	0
		100.0	58.1	35.1	4.2	2.6	0.0
	どちらかといえば感じる	462	106	291	50	14	1
		100.0	22.9	63.0	10.8	3.0	0.2
	どちらかといえば感じない	281	45	144	76	14	2
		100.0	16.0	51.2	27.0	5.0	0.7
地域活動が盛んな地域に住んでいる	感じる	118	19	43	27	28	1
		100.0	16.1	36.4	22.9	23.7	0.8
	どちらかといえば感じる	491	167	243	55	24	2
		100.0	34.0	49.5	11.2	4.9	0.4
	どちらかといえば感じない	558	114	300	105	37	2
		100.0	20.4	53.8	18.8	6.6	0.4
地域活動が盛んな地域に住んでいる	感じる	158	80	59	8	10	1
		100.0	50.6	37.3	5.1	6.3	0.6
	どちらかといえば感じる	564	150	333	66	14	1
		100.0	26.6	59.0	11.7	2.5	0.2
	どちらかといえば感じない	232	36	117	66	12	1
		100.0	15.5	50.4	28.4	5.2	0.4
地域活動に参加している	感じる	89	13	31	21	24	0
		100.0	14.6	34.8	23.6	27.0	0.0
	どちらかといえば感じる	370	137	185	37	11	0
		100.0	37.0	50.0	10.0	3.0	0.0
	どちらかといえば感じない	679	145	358	123	50	3
		100.0	21.4	52.7	18.1	7.4	0.4

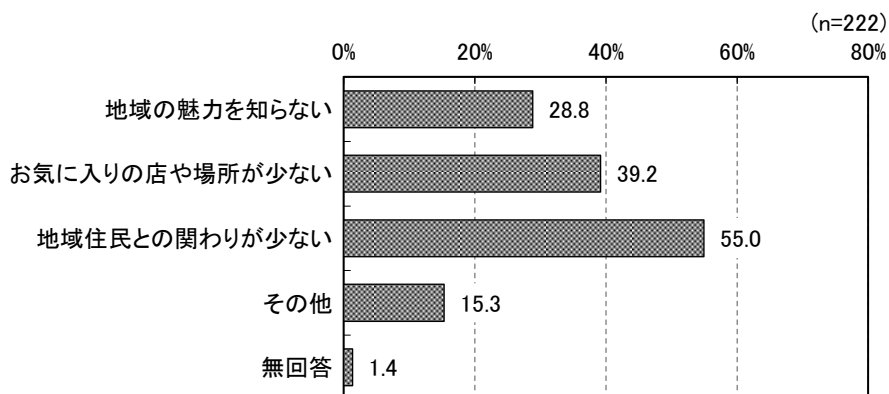
＜問 21 で「どちらかといえば感じない」又は「感じない」とした回答者のみ＞

(2) 「愛着や誇り」を感じない（感じにくい）理由（問 22）

居住地域に「愛着や誇り」を感じない（感じにくい）理由としては、「地域住民との関わりが少ない」（55.0％）の割合が最も高く、次に「お気に入りの店や場所が少ない」（39.2％）、「地域の魅力を知らない」（28.8％）が続く。

性別では、「女性」で「お気に入りの店や場所が少ない」の割合が全体よりも高い。

図表 II-23 居住地域に「愛着や誇り」を感じない（感じにくい）理由（複数回答）



(上段:実数、下段:%)

		合 計	な い 地 域 の 魅 力 を 知 ら な い	お 場 所 が 入 り の 店 や 少 な い	関 地 域 住 民 と の 関 わ り が 少 な い	そ の 他	無 回 答
全体		222	64	87	122	34	3
		100.0	28.8	39.2	55.0	15.3	1.4
性 別	男性	105	30	31	62	18	1
		100.0	28.6	29.5	59.0	17.1	1.0
	女性	99	27	51	50	14	2
		100.0	27.3	51.5	50.5	14.1	2.0
	回答しない	14	5	3	7	2	0
		100.0	35.7	21.4	50.0	14.3	0.0
年 齢 別	20歳代以下	28	12	13	16	1	0
		100.0	42.9	46.4	57.1	3.6	0.0
	30歳代	32	12	14	16	8	0
		100.0	37.5	43.8	50.0	25.0	0.0
	40歳代	42	14	19	15	12	0
		100.0	33.3	45.2	35.7	28.6	0.0
	50歳代	40	8	16	19	6	1
		100.0	20.0	40.0	47.5	15.0	2.5
	60歳代	40	12	12	27	4	0
		100.0	30.0	30.0	67.5	10.0	0.0
	70歳以上	39	6	12	28	3	2
		100.0	15.4	30.8	71.8	7.7	5.1
居 住 地 域 (8 エ リ ア)	東部エリア	7	1	4	3	2	0
		100.0	14.3	57.1	42.9	28.6	0.0
	南部エリア	47	15	11	27	7	1
		100.0	31.9	23.4	57.4	14.9	2.1
	中心部東エリア	41	13	17	23	5	1
		100.0	31.7	41.5	56.1	12.2	2.4
	中心部西エリア	35	11	12	21	6	0
		100.0	31.4	34.3	60.0	17.1	0.0
	南西エリア	44	13	21	26	5	0
		100.0	29.5	47.7	59.1	11.4	0.0
	西部エリア・島しょ部	12	3	5	6	3	0
		100.0	25.0	41.7	50.0	25.0	0.0
	北部エリア	25	6	12	12	4	0
		100.0	24.0	48.0	48.0	16.0	0.0
	北条エリア	10	2	4	4	2	1
		100.0	20.0	40.0	40.0	20.0	10.0
居 住 経 験	生まれてからずっと松山市に 居住している	57	19	23	27	9	1
		100.0	33.3	40.4	47.4	15.8	1.8
	松山市出身で、市外へ転出した 後、戻ってきた(Uターン)	37	9	18	19	7	1
		100.0	24.3	48.6	51.4	18.9	2.7
	松山市外の出身で、 転入してきた	120	33	44	70	16	1
		100.0	27.5	36.7	58.3	13.3	0.8
	その他	8	3	2	6	2	0
		100.0	37.5	25.0	75.0	25.0	0.0

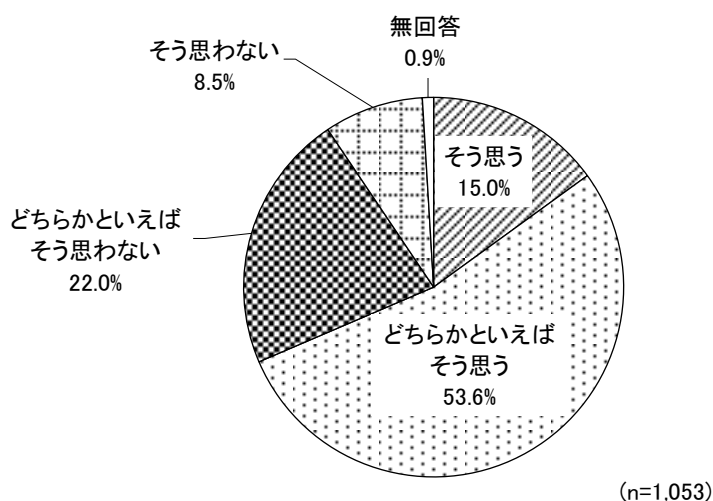
(3) 居住地域での地域活動が盛んだと思うか（問 23）

居住地域での地域活動^(※)が盛んだと思うかについては、「どちらかといえばそう思う」（53.6％）の割合が最も高く、次に「どちらかといえばそう思わない」（22.0％）、「そう思う」（15.0％）が続く。『地域活動が盛んだと思う』回答者の割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、68.6％である。

居住地域別では、「南部エリア」で「そう思う」の割合が全体よりも高く、「南西エリア」と「北部エリア」では「どちらかといえばそう思う」の割合が全体よりも高い。「中心部東エリア」と「中心部西エリア」では、「どちらかといえばそう思わない」の割合が全体よりも高い。

居住経験別では、「松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた（Uターン）」で「どちらかといえばそう思わない」の割合が全体よりも高い。

図表 II-24 居住地域での地域活動が盛んだと思うか



(※) 地域活動：清掃活動、登下校等の見守り活動、地域の防災訓練、祭りや伝統行事、町内会・自治会への参加、趣味のグループ活動等。

(上段:実数、下段:%)

		合計	そう思う	どちらかといえば	どちらかといえ	そう思わない	無回答
全体		1,053	158	564	232	89	10
		100.0	15.0	53.6	22.0	8.5	0.9
性別	男性	429	65	212	113	34	5
		100.0	15.2	49.4	26.3	7.9	1.2
	女性	579	92	328	109	45	5
		100.0	15.9	56.6	18.8	7.8	0.9
	回答しない	39	1	21	9	8	0
		100.0	2.6	53.8	23.1	20.5	0.0
年齢別	20歳代以下	113	18	53	29	13	0
		100.0	15.9	46.9	25.7	11.5	0.0
	30歳代	122	18	61	28	15	0
		100.0	14.8	50.0	23.0	12.3	0.0
	40歳代	164	31	90	33	10	0
		100.0	18.9	54.9	20.1	6.1	0.0
	50歳代	190	28	99	45	16	2
		100.0	14.7	52.1	23.7	8.4	1.1
	60歳代	210	26	120	45	16	3
		100.0	12.4	57.1	21.4	7.6	1.4
	70歳以上	234	34	127	50	18	5
		100.0	14.5	54.3	21.4	7.7	2.1
居住地域（8エリア）	東部エリア	28	5	14	5	3	1
		100.0	17.9	50.0	17.9	10.7	3.6
	南部エリア	261	57	144	41	17	2
		100.0	21.8	55.2	15.7	6.5	0.8
	中心部東エリア	191	18	93	58	20	2
		100.0	9.4	48.7	30.4	10.5	1.0
	中心部西エリア	197	22	90	61	23	1
		100.0	11.2	45.7	31.0	11.7	0.5
	南西エリア	162	18	98	35	9	2
		100.0	11.1	60.5	21.6	5.6	1.2
	西部エリア・島しょ部	64	10	36	12	6	0
		100.0	15.6	56.3	18.8	9.4	0.0
	北部エリア	99	15	60	16	7	1
		100.0	15.2	60.6	16.2	7.1	1.0
	北条エリア	49	13	28	3	4	1
		100.0	26.5	57.1	6.1	8.2	2.0
居住経験	生まれてからずっと松山市に居住している	377	61	209	66	35	6
		100.0	16.2	55.4	17.5	9.3	1.6
	松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた(Uターン)	202	26	102	59	14	1
		100.0	12.9	50.5	29.2	6.9	0.5
	松山市外の出身で、転入してきた	452	68	244	101	37	2
		100.0	15.0	54.0	22.3	8.2	0.4
その他		21	3	9	6	3	0
		100.0	14.3	42.9	28.6	14.3	0.0

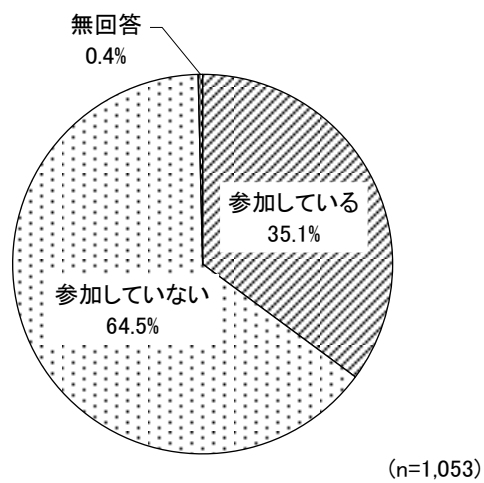
(4) 地域活動への参加状況（問 24）

地域活動への参加状況については、「参加している」が 35.1%、「参加していない」が 64.5%である。

年齢別では、「20 歳代以下」「30 歳代」「50 歳代」で「参加していない」の割合が全体よりも高く、「40 歳代」と「70 歳以上」で「参加している」の割合が全体よりも高い。

居住地域別では、「南部エリア」と「西部エリア・島しょ部」で「参加している」の割合が全体よりも高く、「中心部東エリア」と「中心部西エリア」で「参加していない」の割合が全体よりも高い。

図表 II-25 地域活動への参加状況



		(上段:実数、下段:%)			
		合計	参加している	参加していない	無回答
全体		1,053	370	679	4
		100.0	35.1	64.5	0.4
性別	男性	429	140	287	2
		100.0	32.6	66.9	0.5
	女性	579	220	357	2
		100.0	38.0	61.7	0.3
	回答しない	39	10	29	0
		100.0	25.6	74.4	0.0
年齢別	20歳代以下	113	17	96	0
		100.0	15.0	85.0	0.0
	30歳代	122	36	85	1
		100.0	29.5	69.7	0.8
	40歳代	164	70	94	0
		100.0	42.7	57.3	0.0
	50歳代	190	57	133	0
		100.0	30.0	70.0	0.0
	60歳代	210	76	133	1
		100.0	36.2	63.3	0.5
	70歳以上	234	105	127	2
		100.0	44.9	54.3	0.9
居住地域（8エリア）	東部エリア	28	10	18	0
		100.0	35.7	64.3	0.0
	南部エリア	261	123	137	1
		100.0	47.1	52.5	0.4
	中心部東エリア	191	49	141	1
		100.0	25.7	73.8	0.5
	中心部西エリア	197	33	163	1
		100.0	16.8	82.7	0.5
	南西エリア	162	61	100	1
		100.0	37.7	61.7	0.6
	西部エリア・島しょ部	64	29	35	0
		100.0	45.3	54.7	0.0
	北部エリア	99	31	68	0
		100.0	31.3	68.7	0.0
	北条エリア	49	34	15	0
		100.0	69.4	30.6	0.0
居住経験	生まれてからずっと松山市に居住している	377	139	236	2
		100.0	36.9	62.6	0.5
	松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた(Uターン)	202	71	131	0
		100.0	35.1	64.9	0.0
	松山市外の出身で、転入してきた	452	154	296	2
		100.0	34.1	65.5	0.4
	その他	21	5	16	0
		100.0	23.8	76.2	0.0

＜問 24 で「参加している」とした回答者のみ＞

(5) 参加している活動の種類（問 25）

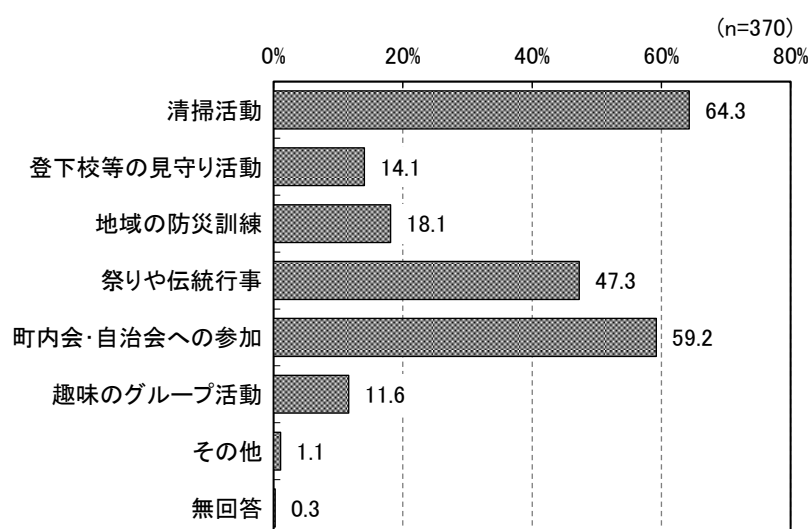
地域活動に参加している回答者の活動の種類は、「清掃活動」（64.3％）の割合が最も高く、次に「町内会・自治会への参加」（59.2％）、「祭りや伝統行事」（47.3％）が続く。

性別では、「男性」で「地域の防災訓練」の割合が全体よりも高い。

年齢別では「40 歳代」で「登下校等の見守り活動」と「祭りや伝統行事」、「50 歳代」で「清掃活動」、「60 歳代」で「清掃活動」と「町内会・自治会への参加」、「70 歳以上」で「趣味のグループ活動」の割合が全体よりも高い。

居住経験別では、「松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた（Uターン）」で「地域の防災訓練」の割合が全体よりも高い。

図表 II-26 参加している活動（複数回答）



(上段:実数、下段:%)

		合計	清掃活動	登下校等の見守り活動	地域の防災訓練	祭りや伝統行事	町内会・自治会への参加	趣味のグループ活動	その他	無回答
全体		370 100.0	238 64.3	52 14.1	67 18.1	175 47.3	219 59.2	43 11.6	4 1.1	1 0.3
性別	男性	140 100.0	87 62.1	17 12.1	34 24.3	65 46.4	77 55.0	10 7.1	2 1.4	0 0.0
		220 100.0	146 66.4	33 15.0	33 15.0	106 48.2	134 60.9	32 14.5	2 0.9	1 0.5
	女性	10 100.0	5 50.0	2 20.0	0 0.0	4 40.0	8 80.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0
		回答しない	17 100.0	7 41.2	0 0.0	3 17.6	13 76.5	4 23.5	2 11.8	0 0.0
年齢別	20歳代以下	36 100.0	20 55.6	9 25.0	5 13.9	13 36.1	19 52.8	4 11.1	0 0.0	0 0.0
		70 100.0	40 57.1	28 40.0	7 10.0	48 68.6	38 54.3	2 2.9	0 0.0	0 0.0
	30歳代	57 100.0	41 71.9	3 5.3	12 21.1	22 38.6	32 56.1	5 8.8	1 1.8	0 0.0
		76 100.0	55 72.4	2 2.6	16 21.1	33 43.4	52 68.4	8 10.5	1 1.3	0 0.0
	40歳代	105 100.0	67 63.8	10 9.5	22 21.0	43 41.0	67 63.8	21 20.0	2 1.9	1 1.0
		10 100.0	8 80.0	2 20.0	2 20.0	2 20.0	7 70.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0
	50歳代	123 100.0	88 71.5	22 17.9	20 16.3	57 46.3	67 54.5	7 5.7	1 0.8	1 0.8
		49 100.0	30 61.2	7 14.3	6 12.2	24 49.0	25 51.0	3 6.1	0 0.0	0 0.0
	60歳代	33 100.0	12 36.4	4 12.1	7 21.2	20 60.6	20 60.6	7 21.2	1 3.0	0 0.0
		61 100.0	38 62.3	8 13.1	13 21.3	30 49.2	42 68.9	7 11.5	1 1.6	0 0.0
	70歳以上	29 100.0	21 72.4	4 13.8	7 24.1	11 37.9	17 58.6	7 24.1	0 0.0	0 0.0
		31 100.0	18 58.1	2 6.5	6 19.4	9 29.0	20 64.5	4 12.9	0 0.0	0 0.0
居住地域（8エリア）	東部エリア	34 100.0	23 67.6	3 8.8	6 17.6	6 64.7	21 61.8	6 17.6	1 2.9	0 0.0
		139 100.0	85 61.2	19 13.7	28 20.1	72 51.8	82 59.0	19 13.7	2 1.4	0 0.0
	南部エリア	71 100.0	47 66.2	12 16.9	18 25.4	36 50.7	44 62.0	8 11.3	0 0.0	0 0.0
		154 100.0	103 66.9	21 13.6	21 13.6	66 42.9	89 57.8	14 9.1	2 1.3	1 0.6
居住経験	生まれてからずっと松山市に居住している	5 100.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0
		松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた(Uターン)	71 100.0	47 66.2	12 16.9	18 25.4	36 50.7	44 62.0	8 11.3	0 0.0
	松山市外の出身で、転入してきた	154 100.0	103 66.9	21 13.6	21 13.6	66 42.9	89 57.8	14 9.1	2 1.3	1 0.6
		その他	5 100.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0

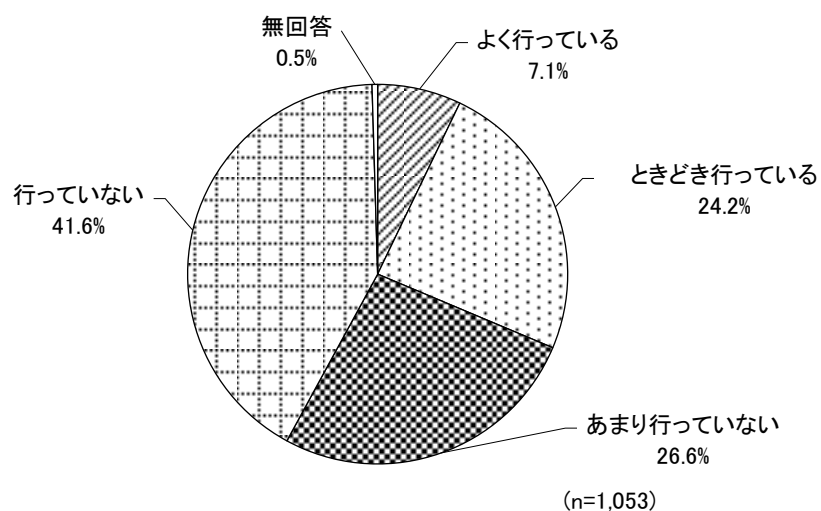
(6) 生活の中での文化芸術活動の実施状況（問 26）

生活の中での文化芸術活動（鑑賞と実践のどちらでも可）の実施状況については、「行っていない」（41.6%）の割合が最も高く、次に「あまり行っていない」（26.6%）、「ときどき行っている」（24.2%）が続く。『文化芸術活動をしている』回答者の割合（「よく行っている」と「ときどき行っている」の合計）は、31.3%である。

年齢別では、「20 歳代以下」で「行っていない」の割合が全体よりも高く、「40 歳代」で「あまり行っていない」の割合が全体よりも高い。

居住経験別では、「生まれてからずっと松山市に居住している」で「行っていない」の割合が全体よりも高く、「松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた（Uターン）」で「あまり行っていない」の割合が全体よりも高い。

図表 II-27 文化芸術活動



(上段:実数、下段:%)

		合計	よく 行 っ て い る	行 っ て い る と き ど き	行 あ ま り い ない	行 っ て い ない	無 回 答
全体		1,053	75	255	280	438	5
		100.0	7.1	24.2	26.6	41.6	0.5
性別	男性	429	24	81	129	193	2
		100.0	5.6	18.9	30.1	45.0	0.5
	女性	579	49	164	141	223	2
		100.0	8.5	28.3	24.4	38.5	0.3
	回答しない	39	2	8	8	20	1
		100.0	5.1	20.5	20.5	51.3	2.6
年齢別	20歳代以下	113	4	24	31	54	0
		100.0	3.5	21.2	27.4	47.8	0.0
	30歳代	122	9	25	34	54	0
		100.0	7.4	20.5	27.9	44.3	0.0
	40歳代	164	10	38	54	62	0
		100.0	6.1	23.2	32.9	37.8	0.0
	50歳代	190	12	40	54	84	0
		100.0	6.3	21.1	28.4	44.2	0.0
	60歳代	210	18	55	52	84	1
		100.0	8.6	26.2	24.8	40.0	0.5
	70歳以上	234	21	64	48	97	4
		100.0	9.0	27.4	20.5	41.5	1.7
居住地域（8エリア）	東部エリア	28	2	11	7	8	0
		100.0	7.1	39.3	25.0	28.6	0.0
	南部エリア	261	17	65	62	115	2
		100.0	6.5	24.9	23.8	44.1	0.8
	中心部東エリア	191	12	51	54	74	0
		100.0	6.3	26.7	28.3	38.7	0.0
	中心部西エリア	197	12	47	54	83	1
		100.0	6.1	23.9	27.4	42.1	0.5
	南西エリア	162	13	32	46	70	1
		100.0	8.0	19.8	28.4	43.2	0.6
居住経験	西部エリア・島しょ部	64	7	11	19	27	0
		100.0	10.9	17.2	29.7	42.2	0.0
	北部エリア	99	8	22	28	40	1
		100.0	8.1	22.2	28.3	40.4	1.0
	北条エリア	49	4	16	8	21	0
		100.0	8.2	32.7	16.3	42.9	0.0
	生まれてからずっと松山市に 居住している	377	22	84	90	180	1
		100.0	5.8	22.3	23.9	47.7	0.3
	松山市出身で、市外へ転出した 後、戻ってきた(Uターン)	202	15	57	65	64	1
		100.0	7.4	28.2	32.2	31.7	0.5
居住経験	松山市外の出身で、 転入してきた	452	37	108	119	185	3
		100.0	8.2	23.9	26.3	40.9	0.7
	その他	21	1	6	5	9	0
		100.0	4.8	28.6	23.8	42.9	0.0

6. 都市の魅力について

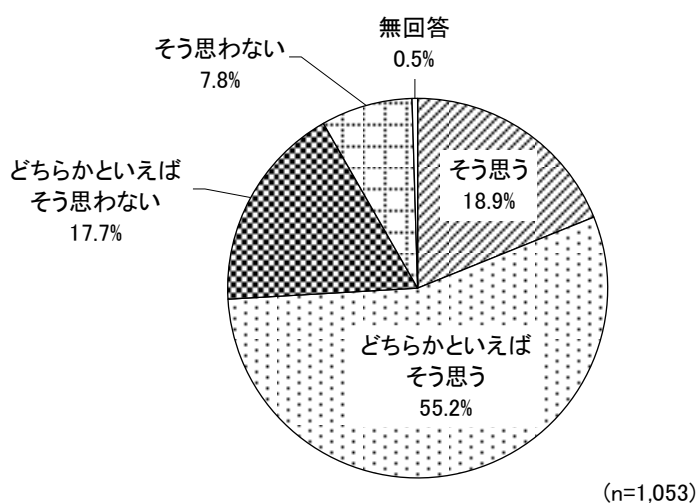
(1) 「松山市の魅力を友人や知人に紹介したい」と思うか（問 27）

「松山市の魅力を友人や知人に紹介したい」と思うかについては、「どちらかといえばそう思う」（55.2%）の割合が最も高く、次に「そう思う」（18.9%）、「どちらかといえばそう思わない」（17.7%）が続く。『松山市の魅力を友人や知人に紹介したいと思う』回答者の割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、74.1%である。

年齢別では、「30 歳代」で「そう思わない」の割合が全体よりも高く、「60 歳代」で「どちらかといえばそう思う」、「70 歳以上」で「そう思う」の割合が全体よりも高い。

居住地域別では、「西部エリア・島しょ部」で「そう思わない」、「北部エリア」で「どちらかといえばそう思わない」の割合が全体よりも高い。

図表 II-28 「松山市の魅力を友人や知人に紹介したい」



(上段:実数、下段:%)

		合計	そう思う	どちらかといえば	どちらかわからない	そう思わない	無回答
全体		1,053	199	581	186	82	5
		100.0	18.9	55.2	17.7	7.8	0.5
性別	男性	429	80	229	81	38	1
		100.0	18.6	53.4	18.9	8.9	0.2
	女性	579	112	333	95	35	4
		100.0	19.3	57.5	16.4	6.0	0.7
	回答しない	39	4	17	10	8	0
		100.0	10.3	43.6	25.6	20.5	0.0
年齢別	20歳代以下	113	21	66	18	8	0
		100.0	18.6	58.4	15.9	7.1	0.0
	30歳代	122	24	60	18	20	0
		100.0	19.7	49.2	14.8	16.4	0.0
	40歳代	164	19	94	37	13	1
		100.0	11.6	57.3	22.6	7.9	0.6
	50歳代	190	33	106	36	15	0
		100.0	17.4	55.8	18.9	7.9	0.0
	60歳代	210	31	128	37	12	2
		100.0	14.8	61.0	17.6	5.7	1.0
	70歳以上	234	66	114	38	14	2
		100.0	28.2	48.7	16.2	6.0	0.9
居住地域（8エリア）	東部エリア	28	6	12	9	1	0
		100.0	21.4	42.9	32.1	3.6	0.0
	南部エリア	261	56	147	40	18	0
		100.0	21.5	56.3	15.3	6.9	0.0
	中心部東エリア	191	38	114	30	7	2
		100.0	19.9	59.7	15.7	3.7	1.0
	中心部西エリア	197	37	112	29	18	1
		100.0	18.8	56.9	14.7	9.1	0.5
	南西エリア	162	22	88	34	17	1
		100.0	13.6	54.3	21.0	10.5	0.6
	西部エリア・島しょ部	64	11	32	12	9	0
		100.0	17.2	50.0	18.8	14.1	0.0
	北部エリア	99	19	49	23	7	1
		100.0	19.2	49.5	23.2	7.1	1.0
	北条エリア	49	10	26	8	5	0
		100.0	20.4	53.1	16.3	10.2	0.0
居住経験	生まれてからずっと松山市に居住している	377	72	200	67	36	2
		100.0	19.1	53.1	17.8	9.5	0.5
	松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた(Uターン)	202	40	120	30	12	0
		100.0	19.8	59.4	14.9	5.9	0.0
	松山市外の出身で、転入してきた	452	82	249	86	32	3
		100.0	18.1	55.1	19.0	7.1	0.7
その他		21	5	11	3	2	0
		100.0	23.8	52.4	14.3	9.5	0.0

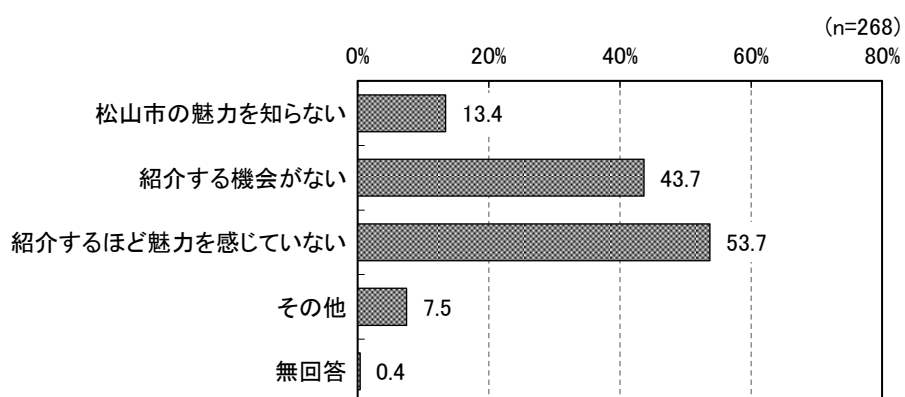
＜問 27 で「どちらかといえばそう思わない」又は「そう思わない」とした回答者のみ＞

(2) 「松山市の魅力を友人や知人に紹介したい」と思わない理由（問 28）

「松山市の魅力を友人や知人に紹介したい」と思わない理由としては、「紹介するほど魅力を感じていない」（53.7％）の割合が最も高く、次に「紹介する機会がない」（43.7％）、
「松山市の魅力を知らない」（13.4％）が続く。

居住経験別では、「生まれてからずっと松山市に居住している」で「紹介する機会がない」の割合が全体よりも高い。

図表 II-29 「松山市の魅力を友人や知人に紹介したい」と思わない理由（複数回答）



(上段:実数、下段:%)

		合計	松山市の魅力を知らない	紹介する機会がない	紹介するほど魅力を感じていない	その他	無回答
全体		268 100.0	36 13.4	117 43.7	144 53.7	20 7.5	1 0.4
性別	男性	119 100.0	17 14.3	52 43.7	68 57.1	8 6.7	1 0.8
	女性	130 100.0	18 13.8	59 45.4	65 50.0	10 7.7	0 0.0
	回答しない	18 100.0	1 5.6	6 33.3	10 55.6	2 11.1	0 0.0
年齢別	20歳代以下	26 100.0	3 11.5	15 57.7	11 42.3	1 3.8	0 0.0
	30歳代	38 100.0	9 23.7	17 44.7	19 50.0	4 10.5	0 0.0
	40歳代	50 100.0	7 14.0	18 36.0	33 66.0	5 10.0	0 0.0
	50歳代	51 100.0	5 9.8	20 39.2	28 54.9	7 13.7	0 0.0
	60歳代	49 100.0	6 12.2	19 38.8	31 63.3	1 2.0	0 0.0
	70歳以上	52 100.0	6 11.5	26 50.0	22 42.3	2 3.8	1 1.9
	東部エリア	10 100.0	1 10.0	4 40.0	6 60.0	0 0.0	0 0.0
	南部エリア	58 100.0	7 12.1	28 48.3	30 51.7	3 5.2	1 1.7
	中心部東エリア	37 100.0	3 8.1	16 43.2	17 45.9	4 10.8	0 0.0
居住地域（8エリア）	中心部西エリア	47 100.0	8 17.0	14 29.8	29 61.7	4 8.5	0 0.0
	南西エリア	51 100.0	5 9.8	22 43.1	30 58.8	3 5.9	0 0.0
	西部エリア・島しょ部	21 100.0	1 4.8	11 52.4	9 42.9	2 9.5	0 0.0
	北部エリア	30 100.0	8 26.7	14 46.7	14 46.7	3 10.0	0 0.0
	北条エリア	13 100.0	3 23.1	8 61.5	8 61.5	1 7.7	0 0.0
	生まれてからずっと松山市に居住している	103 100.0	14 13.6	52 50.5	50 48.5	10 9.7	1 1.0
	松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた(Uターン)	42 100.0	5 11.9	20 47.6	24 57.1	2 4.8	0 0.0
居住経験	松山市外の出身で、転入してきた	118 100.0	15 12.7	44 37.3	69 58.5	7 5.9	0 0.0
	その他	5 100.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0

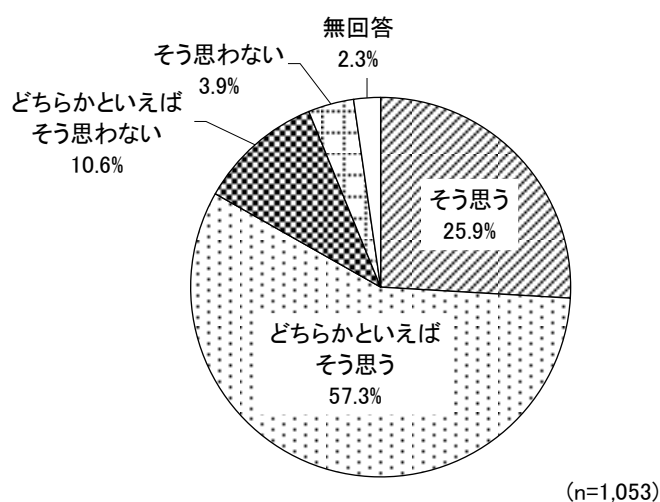
(3) 松山市を文化的なまちだと思うか（問 29）

松山市を文化的なまちだと思うかについては、「どちらかといえばそう思う」（57.3%）の割合が最も高く、次に「そう思う」（25.9%）、「どちらかといえばそう思わない」（10.6%）が続く。『松山市を文化的なまちだと思う』回答者の割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、83.2%である。

年齢別では、「30 歳代」と「40 歳代」で「そう思う」の割合が全体よりも低く、「70 歳以上」で「そう思う」の割合が全体よりも高い。

居住地域別では、「中心部東エリア」で「どちらかといえばそう思う」の割合が全体よりも高く、「南西エリア」で「どちらかといえばそう思わない」、「西部エリア・島しょ部」で「そう思わない」の割合が全体よりも高い。

図表 II-30 松山市を文化的なまちだと思うか



(上段:実数、下段:%)

		合計	そう 思う	そう どちら かとい えば	そう どちら かわか ない とい えば	そう 思わ ない	無 回 答
全体		1,053	273	603	112	41	24
		100.0	25.9	57.3	10.6	3.9	2.3
性別	男性	429	109	236	57	17	10
		100.0	25.4	55.0	13.3	4.0	2.3
	女性	579	158	341	51	16	13
		100.0	27.3	58.9	8.8	2.8	2.2
	回答しない	39	3	24	4	7	1
		100.0	7.7	61.5	10.3	17.9	2.6
年齢別	20歳代以下	113	29	59	16	6	3
		100.0	25.7	52.2	14.2	5.3	2.7
	30歳代	122	23	79	12	7	1
		100.0	18.9	64.8	9.8	5.7	0.8
	40歳代	164	31	99	19	12	3
		100.0	18.9	60.4	11.6	7.3	1.8
	50歳代	190	44	118	20	7	1
		100.0	23.2	62.1	10.5	3.7	0.5
	60歳代	210	55	119	24	4	8
		100.0	26.2	56.7	11.4	1.9	3.8
	70歳以上	234	80	121	20	5	8
		100.0	34.2	51.7	8.5	2.1	3.4
居住地域（8エリア）	東部エリア	28	9	14	3	2	0
		100.0	32.1	50.0	10.7	7.1	0.0
	南部エリア	261	67	159	19	7	9
		100.0	25.7	60.9	7.3	2.7	3.4
	中心部東エリア	191	42	119	24	2	4
		100.0	22.0	62.3	12.6	1.0	2.1
	中心部西エリア	197	55	106	25	7	4
		100.0	27.9	53.8	12.7	3.6	2.0
	南西エリア	162	39	88	27	7	1
		100.0	24.1	54.3	16.7	4.3	0.6
	西部エリア・島しょ部	64	17	36	3	6	2
		100.0	26.6	56.3	4.7	9.4	3.1
	北部エリア	99	27	56	9	5	2
		100.0	27.3	56.6	9.1	5.1	2.0
	北条エリア	49	17	24	1	5	2
		100.0	34.7	49.0	2.0	10.2	4.1
居住経験	生まれてからずっと松山市に 居住している	377	108	218	28	16	7
		100.0	28.6	57.8	7.4	4.2	1.9
	松山市出身で、市外へ転出した 後、戻ってきた(Uターン)	202	56	111	25	8	2
		100.0	27.7	55.0	12.4	4.0	1.0
	松山市外の出身で、 転入してきた	452	106	261	55	17	13
		100.0	23.5	57.7	12.2	3.8	2.9
	その他	21	3	13	3	0	2
		100.0	14.3	61.9	14.3	0.0	9.5

7. 経済・産業について

＜現在、就業している回答者（問3で「学生」「専業主婦・主夫」「無職」「その他」以外を選択した回答者）のみ＞

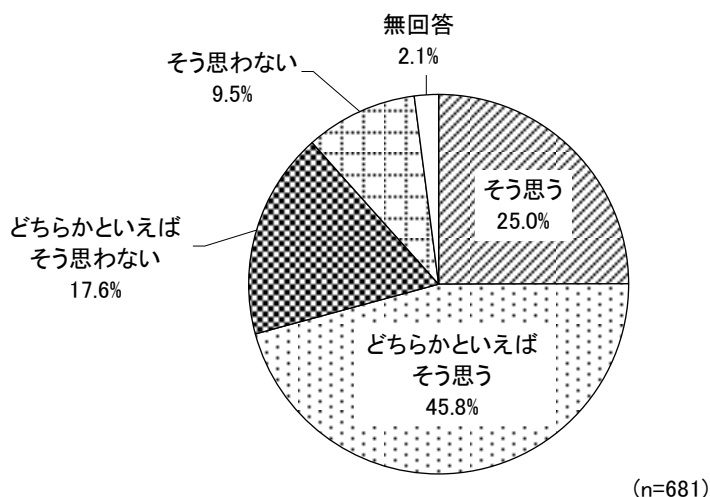
(1) 現在の職場環境が「働きやすい」と思うか（問30）

就業している回答者が現在の職場環境が「働きやすい」と思うかについては、「どちらかといえばそう思う」（45.8％）の割合が最も高く、次に「そう思う」（25.0％）、「どちらかといえばそう思わない」（17.6％）が続く。『現在の職場が働きやすいと思う』回答者の割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、70.8％である。

年齢別では、「30歳代」で「そう思わない」、「50歳代」で「どちらかといえばそう思わない」の割合が全体よりも高く、「60歳代」で「どちらかといえばそう思う」、「70歳以上」で「そう思う」の割合が全体よりも高い。

職業別では、「会社役員」で「そう思う」の割合が全体より高い。

図表 II-31 現在の職場環境が「働きやすい」と思うか



(上段:実数、下段:%)

		合計	そう 思う	そう 思 う か と い え ば	そ う 思 わ な い と い え ば	そ う 思 わ な い	無 回 答	
全体			681 100.0	170 25.0	312 45.8	120 17.6	65 9.5	14 2.1
性別	男性	313 100.0	80 25.6	151 48.2	49 15.7	27 8.6	6 1.9	
		334 100.0	85 25.4	146 43.7	63 18.9	32 9.6	8 2.4	
	女性	30 100.0	4 13.3	14 46.7	7 23.3	5 16.7	0 0.0	
		回答しない						
	年齢別	20歳代以下	77 100.0	20 26.0	34 44.2	14 18.2	9 11.7	0 0.0
			103 100.0	24 23.3	46 44.7	17 16.5	0 15.5	0 0.0
30歳代		147 100.0	32 21.8	68 46.3	30 20.4	16 10.9	1 0.7	
		151 100.0	41 27.2	61 40.4	35 23.2	13 8.6	1 0.7	
40歳代		125 100.0	23 18.4	75 60.0	17 13.6	8 6.4	2 1.6	
		66 100.0	25 37.9	24 36.4	5 7.6	2 3.0	10 15.2	
50歳代								
60歳代								
70歳以上								
居住地域（8エリア）	東部エリア	22 100.0	2 9.1	14 63.6	4 18.2	2 9.1	0 0.0	
		161 100.0	43 26.7	70 43.5	34 21.1	9 5.6	5 3.1	
	南部エリア	122 100.0	28 23.0	58 47.5	22 18.0	12 9.8	2 1.6	
		124 100.0	37 29.8	57 46.0	16 12.9	13 10.5	1 0.8	
	中心部東エリア	116 100.0	21 18.1	54 46.6	24 20.7	14 12.1	3 2.6	
		41 100.0	8 19.5	18 43.9	10 24.4	5 12.2	0 0.0	
	中心部西エリア	65 100.0	22 33.8	27 41.5	8 12.3	6 9.2	2 3.1	
		28 100.0	9 32.1	13 46.4	1 3.6	4 14.3	1 3.6	
	南西エリア							
	西部エリア・島しょ部							
居住経験	生まれてからずっと松山市に 居住している	245 100.0	57 23.3	112 45.7	41 16.7	29 11.8	6 2.4	
		139 100.0	37 26.6	68 48.9	25 18.0	9 6.5	0 0.0	
	松山市出身で、市外へ転出した 後、戻ってきた(Uターン)	289 100.0	74 25.6	127 43.9	53 18.3	27 9.3	8 2.8	
		8 100.0	2 25.0	5 62.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	
	松山市外の出身で、 転入してきた							
その他								

(上段:実数、下段:%)							
		合 計	そ う 思 う	そ う 思 う か と い え ば	そ う 思 わ な い	無 回 答	
全体		681	170	312	120	65	14
		100.0	25.0	45.8	17.6	9.5	2.1
職 業	会社員・公務員等	386	83	189	69	44	1
		100.0	21.5	49.0	17.9	11.4	0.3
	会社役員	50	16	21	6	5	2
		100.0	32.0	42.0	12.0	10.0	4.0
	自営業 (農林水産業)	18	8	2	3	1	4
		100.0	44.4	11.1	16.7	5.6	22.2
	自営業 (その他)	59	14	28	7	3	7
		100.0	23.7	47.5	11.9	5.1	11.9
パート・アルバイト など	168	49	72	35	12	0	
	100.0	29.2	42.9	20.8	7.1	0.0	
のこ 有ど 無も	いる	441	114	203	75	37	12
		100.0	25.9	46.0	17.0	8.4	2.7
	いない	237	53	109	45	28	2
		100.0	22.4	46.0	19.0	11.8	0.8
年 齢 別	未就学児	84	24	40	10	9	1
		100.0	28.6	47.6	11.9	10.7	1.2
	小学生	86	21	39	18	8	0
		100.0	24.4	45.3	20.9	9.3	0.0
	中学生以上	338	86	157	59	25	11
		100.0	25.4	46.4	17.5	7.4	3.3

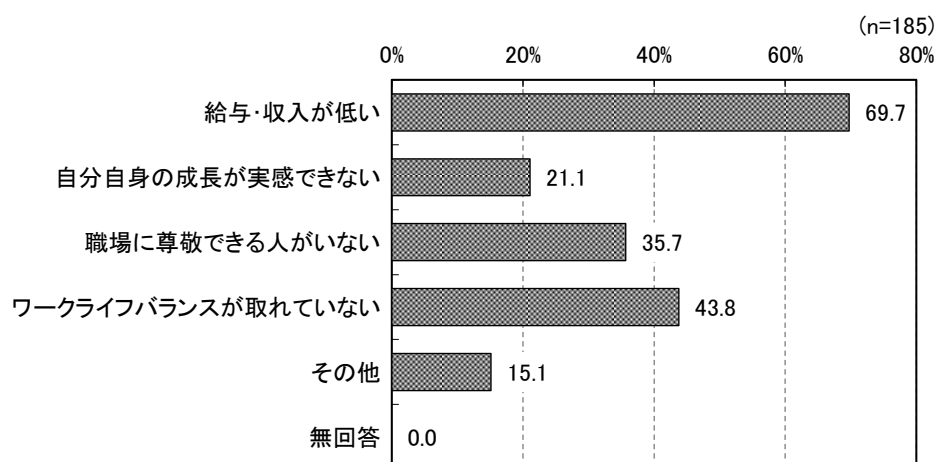
(注)この設問は、就業している方(パート・アルバイトも含む)のみに聞いているため職業で「学生」「専業主婦・主夫」「無職」「その他」に該当するデータはない。

＜問 30 で「どちらかといえばそう思わない」又は「そう思わない」とした回答者のみ＞

(2) 「働きやすい」と思わない理由（問 31）

「働きやすい」と思わない理由としては、「給与・収入が低い」（69.7%）の割合が最も高く、次に「ワークライフバランスが取れていない」（43.8%）、「職場に尊敬できる人がいない」（35.7%）が続く。

図表 II-32 「働きやすい」と思わない理由（複数回答）



(上段:実数、下段:%)

		合計	給与・収入が低い	実自分自身の成長が 実感できない	職場に 人間的に 敬意を 払えない	ワーク ライフ バランス が取れて いない	その他	無回答
全体		185	129	39	66	81	28	0
		100.0	69.7	21.1	35.7	43.8	15.1	0.0
性別	男性	76	52	16	27	37	12	0
		100.0	68.4	21.1	35.5	48.7	15.8	0.0
	女性	95	66	19	32	40	16	0
		100.0	69.5	20.0	33.7	42.1	16.8	0.0
	回答しない	12	9	4	6	4	0	0
		100.0	75.0	33.3	50.0	33.3	0.0	0.0
年齢別	20歳代以下	23	18	6	6	8	2	0
		100.0	78.3	26.1	26.1	34.8	8.7	0.0
	30歳代	33	24	11	19	17	5	0
		100.0	72.7	33.3	57.6	51.5	15.2	0.0
	40歳代	46	29	12	16	18	12	0
		100.0	63.0	26.1	34.8	39.1	26.1	0.0
	50歳代	48	33	5	15	24	4	0
		100.0	68.8	10.4	31.3	50.0	8.3	0.0
	60歳代	25	17	3	7	12	2	0
		100.0	68.0	12.0	28.0	48.0	8.0	0.0
	70歳以上	7	6	1	2	1	3	0
		100.0	85.7	14.3	28.6	14.3	42.9	0.0
居住地域（8エリア）	東部エリア	6	4	0	1	5	0	0
		100.0	66.7	0.0	16.7	83.3	0.0	0.0
	南部エリア	43	31	9	15	19	8	0
		100.0	72.1	20.9	34.9	44.2	18.6	0.0
	中心部東エリア	34	21	7	12	12	4	0
		100.0	61.8	20.6	35.3	35.3	11.8	0.0
	中心部西エリア	29	17	9	12	16	5	0
		100.0	58.6	31.0	41.4	55.2	17.2	0.0
	南西エリア	38	27	8	14	21	5	0
		100.0	71.1	21.1	36.8	55.3	13.2	0.0
	西部エリア・島しょ部	15	11	3	3	4	2	0
		100.0	73.3	20.0	20.0	26.7	13.3	0.0
	北部エリア	14	12	2	6	2	2	0
		100.0	85.7	14.3	42.9	14.3	14.3	0.0
	北条エリア	5	5	1	3	2	2	0
		100.0	100.0	20.0	60.0	40.0	40.0	0.0
居住経験	生まれてからずっと松山市に 居住している	70	54	12	23	31	15	0
		100.0	77.1	17.1	32.9	44.3	21.4	0.0
	松山市出身で、市外へ転出した 後、戻ってきた(Uターン)	34	24	7	14	20	6	0
		100.0	70.6	20.6	41.2	58.8	17.6	0.0
	松山市外の出身で、 転入してきた	80	50	20	29	29	7	0
		100.0	62.5	25.0	36.3	36.3	8.8	0.0
	その他	1	1	0	0	1	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

(上段:実数、下段:%)

		合計	給与・収入が低い	実感できない 自身の成長が	職場に ない に 尊敬 できる	ワーク ライフ バランス が ない	その他	無回答
全体		185	129	39	66	81	28	0
		100.0	69.7	21.1	35.7	43.8	15.1	0.0
職業	会社員・公務員等	113	80	28	44	55	12	0
		100.0	70.8	24.8	38.9	48.7	10.6	0.0
	会社役員	11	7	0	2	3	5	0
		100.0	63.6	0.0	18.2	27.3	45.5	0.0
	自営業 (農林水産業)	4	3	1	1	1	2	0
		100.0	75.0	25.0	25.0	25.0	50.0	0.0
	自営業 (その他)	10	6	3	2	6	2	0
		100.0	60.0	30.0	20.0	60.0	20.0	0.0
のこ 有ど 無も	パート・アルバイト など	47	33	7	17	16	7	0
		100.0	70.2	14.9	36.2	34.0	14.9	0.0
	いる	112	78	15	40	49	20	0
		100.0	69.6	13.4	35.7	43.8	17.9	0.0
	いない	73	51	24	26	32	8	0
		100.0	69.9	32.9	35.6	43.8	11.0	0.0
年 齢 別	未就学児	19	11	3	10	10	3	0
		100.0	57.9	15.8	52.6	52.6	15.8	0.0
	小学生	26	16	4	7	12	7	0
		100.0	61.5	15.4	26.9	46.2	26.9	0.0
	中学生以上	84	62	8	29	35	14	0
		100.0	73.8	9.5	34.5	41.7	16.7	0.0

8. 交通について

(1) 松山市は自分に合った移動手段で気軽に目的地へ「移動しやすい(出かけやすい)」と思うか (問 32)

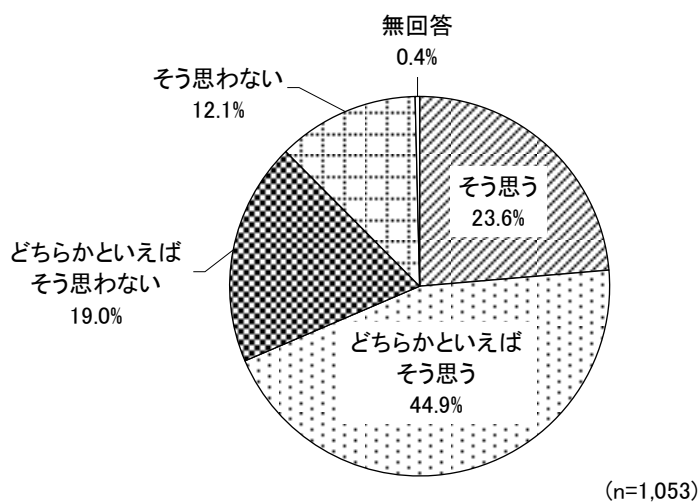
松山市は自分に合った移動手段^(※)で気軽に目的地へ「移動しやすい(出かけやすい)」と思うかについては、「どちらかといえばそう思う」(44.9%)の割合が最も高く、次に「そう思う」(23.6%)、「どちらかといえばそう思わない」(19.0%)が続く。『気軽に目的地へ移動しやすいと思う』回答者の割合(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)は、68.5%である。

年齢別では、「60歳代」で「どちらかといえばそう思う」、「70歳以上」で「そう思う」の割合が全体よりも高い。

居住地域別では、「西部エリア・島しょ部」で「そう思う」の割合が全体よりも高い。

こどもの年齢別では、「未就学児」で「そう思う」の割合が全体よりも高く、「小学生」で「そう思わない」の割合が全体よりも高い。

図表 II-33 松山市は自分に合った移動手段で気軽に目的地へ「移動しやすい(出かけやすい)」と思うか



(※) 移動手段: 徒歩、自転車、自動車、バス、路面電車、鉄道、バイク、タクシー等。

(上段:実数、下段:%)

		合計	そう 思う	そう どちら かとい え	そう どちら かわか ない え	そう 思わ ない	無 回 答
全体		1,053	249	473	200	127	4
		100.0	23.6	44.9	19.0	12.1	0.4
性別	男性	429	106	184	81	57	1
		100.0	24.7	42.9	18.9	13.3	0.2
	女性	579	137	273	108	58	3
		100.0	23.7	47.2	18.7	10.0	0.5
	回答しない	39	4	15	10	10	0
		100.0	10.3	38.5	25.6	25.6	0.0
年齢別	20歳代以下	113	18	54	26	15	0
		100.0	15.9	47.8	23.0	13.3	0.0
	30歳代	122	30	44	29	18	1
		100.0	24.6	36.1	23.8	14.8	0.8
	40歳代	164	33	73	33	25	0
		100.0	20.1	44.5	20.1	15.2	0.0
	50歳代	190	43	78	37	32	0
		100.0	22.6	41.1	19.5	16.8	0.0
	60歳代	210	46	106	40	18	0
		100.0	21.9	50.5	19.0	8.6	0.0
	70歳以上	234	72	108	32	19	3
		100.0	30.8	46.2	13.7	8.1	1.3
居住地域（8エリア）	東部エリア	28	6	5	10	7	0
		100.0	21.4	17.9	35.7	25.0	0.0
	南部エリア	261	60	129	49	23	0
		100.0	23.0	49.4	18.8	8.8	0.0
	中心部東エリア	191	41	88	34	28	0
		100.0	21.5	46.1	17.8	14.7	0.0
	中心部西エリア	197	55	88	32	21	1
		100.0	27.9	44.7	16.2	10.7	0.5
	南西エリア	162	36	72	33	20	1
		100.0	22.2	44.4	20.4	12.3	0.6
	西部エリア・島しょ部	64	20	27	10	6	1
		100.0	31.3	42.2	15.6	9.4	1.6
	北部エリア	99	21	40	23	15	0
		100.0	21.2	40.4	23.2	15.2	0.0
	北条エリア	49	10	24	7	7	1
		100.0	20.4	49.0	14.3	14.3	2.0
居住経験	生まれてからずっと松山市に 居住している	377	83	184	71	37	2
		100.0	22.0	48.8	18.8	9.8	0.5
	松山市出身で、市外へ転出した 後、戻ってきた(Uターン)	202	50	80	46	26	0
		100.0	24.8	39.6	22.8	12.9	0.0
	松山市外の出身で、 転入してきた	452	109	202	81	58	2
		100.0	24.1	44.7	17.9	12.8	0.4
	その他	21	7	6	2	6	0
		100.0	33.3	28.6	9.5	28.6	0.0

(上段:実数、下段:%)

		合計	そう 思う	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	無 回 答
全体		1,053	249	473	200	127	4
		100.0	23.6	44.9	19.0	12.1	0.4
のこ 有ど 無も	いる	705	164	326	129	83	3
		100.0	23.3	46.2	18.3	11.8	0.4
	いない	345	83	146	71	44	1
		100.0	24.1	42.3	20.6	12.8	0.3
年 齢 別	未就学児	94	30	32	21	11	0
		100.0	31.9	34.0	22.3	11.7	0.0
	小学生	101	18	39	24	20	0
		100.0	17.8	38.6	23.8	19.8	0.0
	中学生以上	576	130	280	101	64	1
		100.0	22.6	48.6	17.5	11.1	0.2

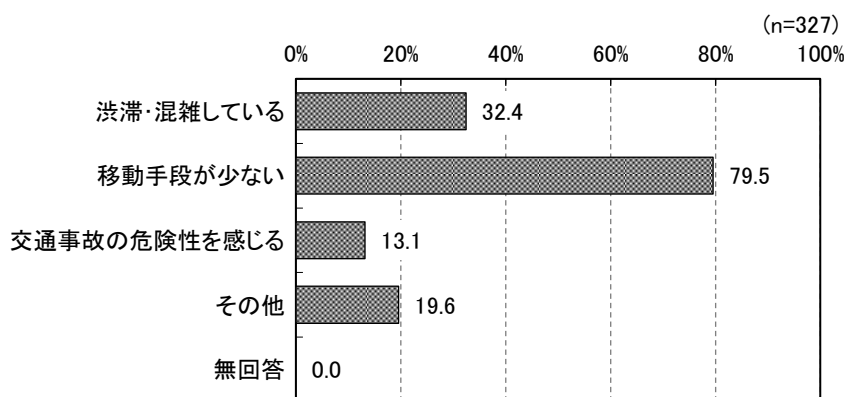
＜問 32 で「どちらかといえばそう思わない」又は「そう思わない」とした回答者のみ＞

(2) 「移動しやすい」と思わない理由（問 33）

「移動しやすい（出かけやすい）」と思わない理由としては、「移動手段が少ない」（79.5%）の割合が最も高く、次に「渋滞・混雑している」（32.4%）、「交通事故の危険性を感じる」（13.1%）が続く。

性別では、「男性」で「渋滞・混雑している」の割合が全体より高い。

図表 II-34 「移動しやすい」と思わない理由（複数回答）



(上段:実数、下段:%)

		合計	渋滞・混雑している	移動手段が少ない	交通事故の危険性を感じる	その他	無回答
全体		327	106	260	43	64	0
		100.0	32.4	79.5	13.1	19.6	0.0
性別	男性	138	57	105	19	25	0
		100.0	41.3	76.1	13.8	18.1	0.0
	女性	166	42	136	19	33	0
		100.0	25.3	81.9	11.4	19.9	0.0
回答しない		20	7	16	5	6	0
		100.0	35.0	80.0	25.0	30.0	0.0
年齢別	20歳代以下	41	14	34	7	5	0
		100.0	34.1	82.9	17.1	12.2	0.0
	30歳代	47	24	34	9	11	0
		100.0	51.1	72.3	19.1	23.4	0.0
	40歳代	58	18	48	8	14	0
		100.0	31.0	82.8	13.8	24.1	0.0
	50歳代	69	22	55	10	10	0
		100.0	31.9	79.7	14.5	14.5	0.0
60歳代	58	17	45	7	14	0	
	100.0	29.3	77.6	12.1	24.1	0.0	
70歳以上	51	11	41	2	10	0	
	100.0	21.6	80.4	3.9	19.6	0.0	
居住地域（8エリア）	東部エリア	17	7	15	5	3	0
		100.0	41.2	88.2	29.4	17.6	0.0
	南部エリア	72	21	58	10	11	0
		100.0	29.2	80.6	13.9	15.3	0.0
	中心部東エリア	62	9	51	4	13	0
		100.0	14.5	82.3	6.5	21.0	0.0
	中心部西エリア	53	19	37	2	12	0
		100.0	35.8	69.8	3.8	22.6	0.0
	南西エリア	53	23	40	14	11	0
		100.0	43.4	75.5	26.4	20.8	0.0
西部エリア・島しょ部	16	3	14	1	4	0	
	100.0	18.8	87.5	6.3	25.0	0.0	
北部エリア	38	20	31	6	7	0	
	100.0	52.6	81.6	15.8	18.4	0.0	
北条エリア	14	4	12	1	3	0	
	100.0	28.6	85.7	7.7	21.4	0.0	
居住経験	生まれてからずっと松山市に居住している	108	34	85	15	20	0
		100.0	31.5	78.7	13.9	18.5	0.0
	松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた(Uターン)	72	25	59	8	17	0
		100.0	34.7	81.9	11.1	23.6	0.0
	松山市外の出身で、転入してきた	139	44	110	19	24	0
		100.0	31.7	79.1	13.7	17.3	0.0
その他		8	3	6	1	3	0
		100.0	37.5	75.0	12.5	37.5	0.0

		(上段:実数、下段:%)					
		合 計	渋 滞 ・ 混 雑 し て い る	移 動 手 段 が 少 な い	交 通 事 故 の 危 険 性 を 感 じ る	そ の 他	無 回 答
全体		327	106	260	43	64	0
		100.0	32.4	79.5	13.1	19.6	0.0
の有 無 も	いる	212	71	168	28	43	0
		100.0	33.5	79.2	13.2	20.3	0.0
	いない	115	35	92	15	21	0
		100.0	30.4	80.0	13.0	18.3	0.0
年齢 別の こ ども	未就学児	32	18	23	6	6	0
		100.0	56.3	71.9	18.8	18.8	0.0
	小学生	44	15	34	9	10	0
		100.0	34.1	77.3	20.5	22.7	0.0
	中学生以上	165	51	134	20	34	0
		100.0	30.9	81.2	12.1	20.6	0.0

(3) 松山市が公共交通の便利なまちだと思うか（問 34）

松山市が公共交通の便利なまちだと思うかについては、「どちらかといえばそう思う」（39.0％）の割合が最も高く、次に「どちらかといえばそう思わない」（29.8％）、「そう思わない」（19.1％）が続く。『公共交通の便利なまちだと思う』回答者の割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、50.4％である。

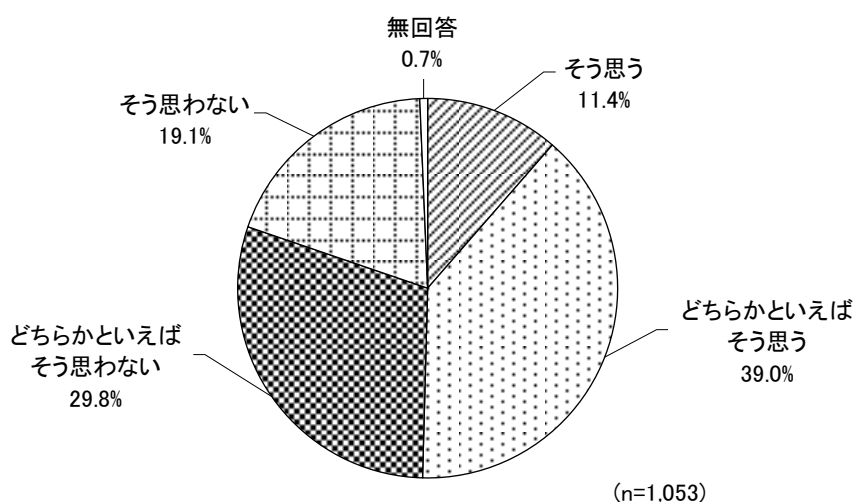
年齢別では、「40 歳代」と「50 歳代」で「そう思わない」の割合が全体よりも高く、「60 歳代」では「どちらかといえばそう思う」、「70 歳以上」では「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合が全体よりも高い。

居住地域別では、「南部エリア」と「北部エリア」で「どちらかといえばそう思わない」、「中心部東エリア」で「そう思わない」の割合が全体よりも高い。

居住経験別では、「松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた（Uターン）」で「そう思わない」の割合が全体よりも高い。

こどもの年齢別では、「未就学児」と「小学生」で「そう思わない」の割合が高い。

図表 II-35 松山市が公共交通の便利なまちだと思うか



(上段:実数、下段:%)

		合計	そう 思う	そう どちら かとい えば	そう どちら かわか ないい えば	そう 思わ ない	無 回 答
全体		1,053	120	411	314	201	7
		100.0	11.4	39.0	29.8	19.1	0.7
性別	男性	429	51	158	130	88	2
		100.0	11.9	36.8	30.3	20.5	0.5
	女性	579	67	241	171	97	3
		100.0	11.6	41.6	29.5	16.8	0.5
	回答しない	39	1	11	10	15	2
		100.0	2.6	28.2	25.6	38.5	5.1
年齢別	20歳代以下	113	12	43	34	24	0
		100.0	10.6	38.1	30.1	21.2	0.0
	30歳代	122	9	42	42	29	0
		100.0	7.4	34.4	34.4	23.8	0.0
	40歳代	164	12	59	45	46	2
		100.0	7.3	36.0	27.4	28.0	1.2
	50歳代	190	17	57	65	51	0
		100.0	8.9	30.0	34.2	26.8	0.0
	60歳代	210	19	94	65	30	2
		100.0	9.0	44.8	31.0	14.3	1.0
	70歳以上	234	47	108	57	19	3
		100.0	20.1	46.2	24.4	8.1	1.3
居住地域（8エリア）	東部エリア	28	3	6	12	7	0
		100.0	10.7	21.4	42.9	25.0	0.0
	南部エリア	261	29	101	91	38	2
		100.0	11.1	38.7	34.9	14.6	0.8
	中心部東エリア	191	22	74	46	47	2
		100.0	11.5	38.7	24.1	24.6	1.0
	中心部西エリア	197	30	86	48	32	1
		100.0	15.2	43.7	24.4	16.2	0.5
	南西エリア	162	15	67	47	33	0
		100.0	9.3	41.4	29.0	20.4	0.0
	西部エリア・島しょ部	64	11	23	21	9	0
		100.0	17.2	35.9	32.8	14.1	0.0
	北部エリア	99	8	32	35	23	1
		100.0	8.1	32.3	35.4	23.2	1.0
	北条エリア	49	2	22	13	11	1
		100.0	4.1	44.9	26.5	22.4	2.0
居住経験	生まれてからずっと松山市に 居住している	377	38	148	122	66	3
	松山市出身で、市外へ転出した 後、戻ってきた(Uターン)	202	25	66	61	49	1
	松山市外の出身で、 転入してきた	452	52	190	128	79	3
		100.0	11.5	42.0	28.3	17.5	0.7
	その他	21	5	6	3	7	0
		100.0	23.8	28.6	14.3	33.3	0.0

(上段:実数、下段:%)

		合計	そう 思う	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	無 回 答
全体		1,053	120	411	314	201	7
		100.0	11.4	39.0	29.8	19.1	0.7
のこ 有ども 無も	いる	705	76	285	209	128	7
		100.0	10.8	40.4	29.6	18.2	1.0
	いない	345	43	125	104	73	0
		100.0	12.5	36.2	30.1	21.2	0.0
年 齢 別	未就学児	94	7	37	27	23	0
		100.0	7.4	39.4	28.7	24.5	0.0
	小学生	101	9	32	28	30	2
		100.0	8.9	31.7	27.7	29.7	2.0
	中学生以上	576	68	234	173	96	5
		100.0	11.8	40.6	30.0	16.7	0.9

9. 都市について

(1) 松山市は「住みやすい」まちか（問 35）

松山市は「住みやすい」まちかについては、「そう思う」（48.1％）の割合が最も高く、次に「どちらかといえばそう思う」（44.2％）、「どちらかといえばそう思わない」（6.0％）が続く。

『松山市は住みやすいと思う』回答者の割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、92.3％である。

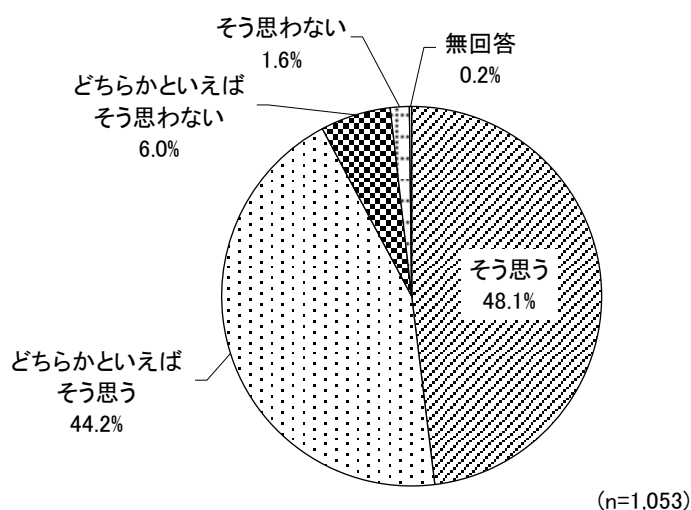
年齢別では、「70 歳以上」で「そう思う」の割合が全体よりも高い。

こどもの人数別では、「3 人」と「4 人以上」で「そう思う」の割合が全体よりも高い。

こどもの年齢別では、「小学生」で「どちらかといえばそう思う」の割合が全体よりも高い。

子育てして良かったと思う度合い別では、子育てして良かったと思う回答者のほうが、住みやすさを感じている傾向がみられる。

図表 II-36 松山市は「住みやすい」まちか



(上段:実数、下段:%)

		合計	そう 思う	そう 思わ ない え ば	そう 思わ ない え ば	そう 思わ ない	無 回 答
全体		1,053	506	465	63	17	2
		100.0	48.1	44.2	6.0	1.6	0.2
性別	男性	429	209	186	27	7	0
		100.0	48.7	43.4	6.3	1.6	0.0
	女性	579	287	252	31	7	2
		100.0	49.6	43.5	5.4	1.2	0.3
	回答しない	39	8	24	4	3	0
		100.0	20.5	61.5	10.3	7.7	0.0
年齢別	20歳代以下	113	55	48	10	0	0
		100.0	48.7	42.5	8.8	0.0	0.0
	30歳代	122	49	57	12	4	0
		100.0	40.2	46.7	9.8	3.3	0.0
	40歳代	164	67	78	14	5	0
		100.0	40.9	47.6	8.5	3.0	0.0
	50歳代	190	87	87	11	5	0
		100.0	45.8	45.8	5.8	2.6	0.0
	60歳代	210	96	103	9	1	1
		100.0	45.7	49.0	4.3	0.5	0.5
	70歳以上	234	140	84	7	2	1
		100.0	59.8	35.9	3.0	0.9	0.4
居住地域（8エリア）	東部エリア	28	12	14	2	0	0
		100.0	42.9	50.0	7.1	0.0	0.0
	南部エリア	261	133	112	15	1	0
		100.0	51.0	42.9	5.7	0.4	0.0
	中心部東エリア	191	79	91	16	4	1
		100.0	41.4	47.6	8.4	2.1	0.5
	中心部西エリア	197	104	79	12	2	0
		100.0	52.8	40.1	6.1	1.0	0.0
	南西エリア	162	74	78	7	3	0
		100.0	45.7	48.1	4.3	1.9	0.0
	西部エリア・島しょ部	64	35	24	2	3	0
		100.0	54.7	37.5	3.1	4.7	0.0
	北部エリア	99	48	42	7	1	1
		100.0	48.5	42.4	7.1	1.0	1.0
	北条エリア	49	21	24	1	3	0
		100.0	42.9	49.0	2.0	6.1	0.0
居住経験	生まれてからずっと松山市に 居住している	377	190	157	22	7	1
		100.0	50.4	41.6	5.8	1.9	0.3
	松山市出身で、市外へ転出した 後、戻ってきた(Uターン)	202	104	82	13	3	0
		100.0	51.5	40.6	6.4	1.5	0.0
	松山市外の出身で、 転入してきた	452	201	217	27	6	1
		100.0	44.5	48.0	6.0	1.3	0.2
	その他	21	10	9	1	1	0
		100.0	47.6	42.9	4.8	4.8	0.0

(上段:実数、下段:%)

		合計	そう 思う	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	無 回 答
全体		1,053	506	465	63	17	2
		100.0	48.1	44.2	6.0	1.6	0.2
の有 無	いる	705	343	310	36	14	2
		100.0	48.7	44.0	5.1	2.0	0.3
	いない	345	162	153	27	3	0
		100.0	47.0	44.3	7.8	0.9	0.0
人数 別	1人	125	54	58	8	5	0
		100.0	43.2	46.4	6.4	4.0	0.0
	2人	386	187	175	17	5	2
		100.0	48.4	45.3	4.4	1.3	0.5
	3人	162	87	65	8	2	0
		100.0	53.7	40.1	4.9	1.2	0.0
	4人以上	21	14	5	2	0	0
		100.0	66.7	23.8	9.5	0.0	0.0
年齢 別	未就学児	94	47	40	5	2	0
		100.0	50.0	42.6	5.3	2.1	0.0
	小学生	101	37	51	9	4	0
		100.0	36.6	50.5	8.9	4.0	0.0
	中学生以上	576	288	252	26	8	2
		100.0	50.0	43.8	4.5	1.4	0.3
良 か っ た と 思 う	そう思う	523	283	213	18	8	1
		100.0	54.1	40.7	3.4	1.5	0.2
	どちらかといえば そう思う	151	51	85	12	2	1
		100.0	33.8	56.3	7.9	1.3	0.7
	どちらかといえば そう思わない	19	5	8	4	2	0
		100.0	26.3	42.1	21.1	10.5	0.0
	そう思わない	7	1	2	2	2	0
		100.0	14.3	28.6	28.6	28.6	0.0

■「住みやすさ」と他の設問とのクロス集計

住みやすさに対する認識別に、他の設問とのクロス集計を行うと、『住みにくい』と感じている回答者は、いずれの設問でも総じてネガティブな回答をしている傾向がみられる。

□「地域や社会とのつながり」を感じているか（問 11）

		(上段:実数、下段:%)					
		合計	感じる	るいど えち ばら 感か じと	ないど いえち ばら 感か じと	感じ ない	無 回 答
全体		1,053	191	462	281	118	1
		100.0	18.1	43.9	26.7	11.2	0.1
や す さ	『住みやすい』	971	184	440	250	96	1
		100.0	18.9	45.3	25.7	9.9	0.1
	『住みにくい』	80	6	21	31	22	0
		100.0	7.5	26.3	38.8	27.5	0.0

(注)「住みやすさ」は、「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」の合計を『住みやすい』、「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」の合計を『住みにくい』としている。(以下同様)

□松山市の「医療体制が充実している」と思うか（問 16）

		(上段:実数、下段:%)					
		合計	そう 思う	思いど うえち ばら そか うと	思いど わえち なばら いそか うと	いそ う 思わ な	無 回 答
全体		1,053	196	699	124	33	1
		100.0	18.6	66.4	11.8	3.1	0.1
や す さ	『住みやすい』	971	190	657	99	24	1
		100.0	19.6	67.7	10.2	2.5	0.1
	『住みにくい』	80	6	41	24	9	0
		100.0	7.5	51.3	30.0	11.3	0.0

□居住地域に「愛着や誇り」を感じているか（問 21）

		(上段:実数、下段:%)					
		合計	感じる	るいど えち ばら 感か じと	ないど いえち ばら 感か じと	感じ ない	無 回 答
全体		1,053	282	545	161	61	4
		100.0	26.8	51.8	15.3	5.8	0.4
や す さ	『住みやすい』	971	278	520	134	35	4
		100.0	28.6	53.6	13.8	3.6	0.4
	『住みにくい』	80	4	24	26	26	0
		100.0	5.0	30.0	32.5	32.5	0.0

□「松山市の魅力を友人や知人に紹介したい」と思うか（問 27）

（上段：実数、下段：％）

		合 計	そ う 思 う	思 い ど う え ち ば ら そ か う と	思 い ど わ え ち な ば ら い そ か う と	い そ う 思 わ な	無 回 答
全体		1,053	199	581	186	82	5
		100.0	18.9	55.2	17.7	7.8	0.5
やす さ	『住みやすい』	971	193	563	158	52	5
		100.0	19.9	58.0	16.3	5.4	0.5
	『住みにくい』	80	6	18	26	30	0
		100.0	7.5	22.5	32.5	37.5	0.0

□現在の職場環境が「働きやすい」と思うか（問 30）

（上段：実数、下段：％）

		合 計	そ う 思 う	思 い ど う え ち ば ら そ か う と	思 い ど わ え ち な ば ら い そ か う と	い そ う 思 わ な	無 回 答
全体		681	170	312	120	65	14
		100.0	25.0	45.8	17.6	9.5	2.1
やす さ	『住みやすい』	620	167	298	101	42	12
		100.0	26.9	48.1	16.3	6.8	1.9
	『住みにくい』	60	3	14	19	22	2
		100.0	5.0	23.3	31.7	36.7	3.3

□松山市は自分に合った移動手段で気軽に目的地へ「移動しやすい（出かけやすい）」と思うか（問 32）

（上段：実数、下段：％）

		合 計	そ う 思 う	思 い ど う え ち ば ら そ か う と	思 い ど わ え ち な ば ら い そ か う と	い そ う 思 わ な	無 回 答
全体		1,053	249	473	200	127	4
		100.0	23.6	44.9	19.0	12.1	0.4
やす さ	『住みやすい』	971	247	462	168	92	2
		100.0	25.4	47.6	17.3	9.5	0.2
	『住みにくい』	80	2	9	32	35	2
		100.0	2.5	11.3	40.0	43.8	2.5

□「環境にやさしい行動をしている」と思うか（問 38）

（上段：実数、下段：％）

		合 計	そ う 思 う	思 い ど う え ち ば ら そ か う と	思 い ど わ え ち な ば ら い そ か う と	い そ う 思 わ な	無 回 答
全体		1,053	160	646	176	60	11
		100.0	15.2	61.3	16.7	5.7	1.0
やす さ	『住みやすい』	971	152	611	155	45	8
		100.0	15.7	62.9	16.0	4.6	0.8
	『住みにくい』	80	8	35	21	15	1
		100.0	10.0	43.8	26.3	18.8	1.3

□「日頃から災害に備えている」と思うか（問 40）

（上段：実数、下段：％）

		合 計	そ う 思 う	思 い ど う え ち ば ら そ か う と	思 い ど わ え ち な ば ら い そ か う と	い そ う 思 わ な	無 回 答
全体		1,053	91	483	348	127	4
		100.0	8.6	45.9	33.0	12.1	0.4
やす さ	『住みやすい』	971	84	455	317	113	2
		100.0	8.7	46.9	32.6	11.6	0.2
	『住みにくい』	80	7	28	31	14	0
		100.0	8.8	35.0	38.8	17.5	0.0

□「デジタル化で生活が便利になった」と思うか（問 43）

（上段：実数、下段：％）

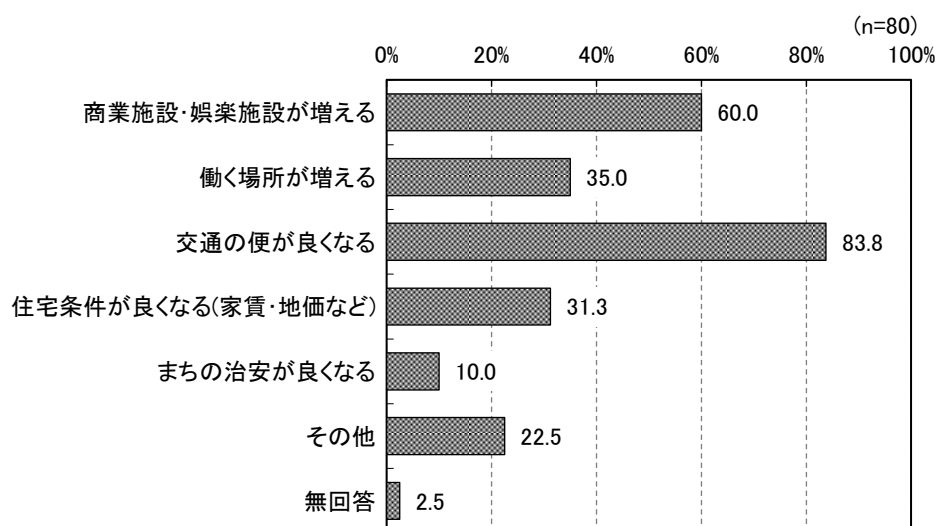
		合 計	そ う 思 う	思 い ど う え ち ば ら そ か う と	思 い ど わ え ち な ば ら い そ か う と	い そ う 思 わ な	無 回 答
全体		1,053	196	493	243	111	10
		100.0	18.6	46.8	23.1	10.5	0.9
やす さ	『住みやすい』	971	187	463	217	95	9
		100.0	19.3	47.7	22.3	9.8	0.9
	『住みにくい』	80	9	29	25	16	1
		100.0	11.3	36.3	31.3	20.0	1.3

＜問 35 で「どちらかといえばそう思わない」又は「そう思わない」とした回答者のみ＞

(2) どうなれば松山市が住みやすくなるか（問 36）

どうなれば松山市が住みやすくなると思うかを尋ねたところ、「交通の便が良くなる」（83.8％）の割合が最も高く、次に「商業施設・娯楽施設が増える」（60.0％）、「働く場所が増える」（35.0％）が続く。

図表 II-37 どうなれば松山市が住みやすくなるか（複数回答）



(上段:実数、下段:%)

		合計	商業施設・娯楽施設が増える	働く場所が増える	交通の便が良くなる	住宅条件が良くなる (家賃・地価など)	まちなかの治安が良くなる	その他	無回答
全体		80	48	28	67	25	8	18	2
		100.0	60.0	35.0	83.8	31.3	10.0	22.5	2.5
性別	男性	34	20	9	29	9	3	9	1
		100.0	58.8	26.5	85.3	26.5	8.8	26.5	2.9
	女性	38	23	12	32	12	4	8	1
		100.0	60.5	31.6	84.2	31.6	10.5	21.1	2.6
回答しない		7	4	6	5	4	1	1	0
		100.0	57.1	85.7	71.4	57.1	14.3	14.3	0.0
年齢別	20歳代以下	10	8	5	9	6	2	1	0
		100.0	80.0	50.0	90.0	60.0	20.0	10.0	0.0
	30歳代	16	12	4	12	3	1	1	1
		100.0	75.0	25.0	75.0	18.8	6.3	6.3	6.3
	40歳代	19	11	5	15	6	3	8	0
		100.0	57.9	26.3	78.9	31.6	15.8	42.1	0.0
	50歳代	16	11	8	14	5	0	4	0
		100.0	68.8	50.0	87.5	31.3	0.0	25.0	0.0
居住地域(8エリア)	60歳代	10	6	5	10	3	2	3	0
		100.0	60.0	50.0	100.0	30.0	20.0	30.0	0.0
	70歳以上	9	0	1	7	2	0	1	1
		100.0	0.0	11.1	77.8	22.2	0.0	11.1	11.1
	東部エリア	2	2	0	2	0	1	0	0
		100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	南部エリア	16	8	5	13	5	1	3	0
		100.0	50.0	31.3	81.3	31.3	6.3	18.8	0.0
居住地域(8エリア)	中心部東エリア	20	15	7	19	6	1	3	0
		100.0	75.0	35.0	95.0	30.0	5.0	15.0	0.0
	中心部西エリア	14	8	6	11	4	2	3	0
		100.0	57.1	42.9	78.6	28.6	14.3	21.4	0.0
	南西エリア	10	6	4	8	4	1	3	0
		100.0	60.0	40.0	80.0	40.0	10.0	30.0	0.0
	西部エリア・島しょ部	5	1	1	2	1	1	2	1
		100.0	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	40.0	20.0
居住経験	北部エリア	8	6	3	8	3	1	4	0
		100.0	75.0	37.5	100.0	37.5	12.5	50.0	0.0
	北条エリア	4	2	1	3	1	0	0	1
		100.0	50.0	25.0	75.0	25.0	0.0	0.0	25.0
	生まれてからずっと松山市に居住している	29	17	10	21	10	5	9	2
		100.0	58.6	34.5	72.4	34.5	17.2	31.0	6.9
居住経験	松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた(Uターン)	16	11	5	14	5	2	3	0
		100.0	68.8	31.3	87.5	31.3	12.5	18.8	0.0
	松山市外の出身で、転入してきた	33	18	12	30	9	1	4	0
		100.0	54.5	36.4	90.9	27.3	3.0	12.1	0.0
その他		2	2	1	2	1	0	2	0
		100.0	100.0	50.0	100.0	50.0	0.0	100.0	0.0

(3) 今後も松山市に住み続けたいか（問 37）

今後も松山市に住み続けたいかについては、「ずっと住み続けたい」（46.2%）の割合が最も高く、次に「どちらかといえば住み続けたい」（35.2%）、「どちらともいえない」（14.2%）が続く。『今後も松山市に住み続けたいと思う』回答者の割合（「ずっと住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」の合計）は、81.4%である。

年齢別では、「20 歳代以下」と「30 歳代」で「どちらともいえない」の割合が全体よりも高く、「40 歳代」で「どちらかといえば住み続けたい」、「70 歳以上」で「ずっと住み続けたい」の割合が全体よりも高い。

居住地域別では、「北部エリア」で「どちらかといえば住み続けたい」の割合が全体よりも高い。

居住経験別では、「生まれてからずっと松山市に居住している」で「ずっと住み続けたい」の割合が全体よりも高く、「松山市外の出身で、転入してきた」で「どちらかといえば住み続けたい」の割合が全体よりも高い。

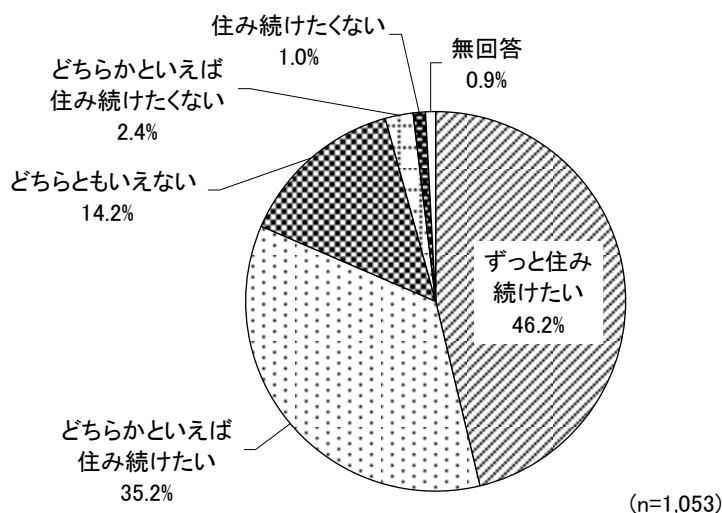
こどもの有無別では、「いない」で「ずっと住み続けたい」の割合が全体よりも低い。

こどもの人数別では、「2 人」「3 人」「4 人以上」で「ずっと住み続けたい」の割合が全体よりも高く、「1 人」では「どちらかといえば住み続けたい」の割合が全体よりも高い。

こどもの年齢別では、「中学生以上」で「ずっと住み続けたい」の割合が全体よりも高く、「小学生」で「どちらかといえば住み続けたい」の割合が全体よりも高い。

子育てして良かったと思う度合い別では、子育てして良かったと思う回答者のほうが、住み続けたいと感じている傾向がみられる。

図表 II-38 今後も松山市に住み続けたいか



(上段:実数、下段:%)

		合計	住み ずっと 続けた い	住み どちら 続けた かとい え	い どち え ない とも	住み どちら 続けた かとい え	住み 続けた くない	無 回 答
全体		1,053	487	371	150	25	11	9
		100.0	46.2	35.2	14.2	2.4	1.0	0.9
性別	男性	429	185	161	69	5	5	4
		100.0	43.1	37.5	16.1	1.2	1.2	0.9
	女性	579	286	194	73	17	5	4
		100.0	49.4	33.5	12.6	2.9	0.9	0.7
	回答しない	39	14	16	6	2	1	0
		100.0	35.9	41.0	15.4	5.1	2.6	0.0
年齢別	20歳代以下	113	34	39	30	7	3	0
		100.0	30.1	34.5	26.5	6.2	2.7	0.0
	30歳代	122	39	43	32	4	4	0
		100.0	32.0	35.2	26.2	3.3	3.3	0.0
	40歳代	164	57	71	26	8	2	0
		100.0	34.8	43.3	15.9	4.9	1.2	0.0
	50歳代	190	82	70	33	4	1	0
		100.0	43.2	36.8	17.4	2.1	0.5	0.0
	60歳代	210	107	84	15	2	0	2
		100.0	51.0	40.0	7.1	1.0	0.0	1.0
	70歳以上	234	154	60	13	0	1	6
		100.0	65.8	25.6	5.6	0.0	0.4	2.6
居住地域（8エリア）	東部エリア	28	12	8	6	2	0	0
		100.0	42.9	28.6	21.4	7.1	0.0	0.0
	南部エリア	261	120	103	31	5	0	2
		100.0	46.0	39.5	11.9	1.9	0.0	0.8
	中心部東エリア	191	78	72	30	6	3	2
		100.0	40.8	37.7	15.7	3.1	1.6	1.0
	中心部西エリア	197	97	56	36	3	3	2
		100.0	49.2	28.4	18.3	1.5	1.5	1.0
	南西エリア	162	79	55	20	5	2	1
		100.0	48.8	34.0	12.3	3.1	1.2	0.6
居住経験	西部エリア・島しょ部	64	31	23	9	1	0	0
		100.0	48.4	35.9	14.1	1.6	0.0	0.0
	北部エリア	99	43	40	12	1	1	2
		100.0	43.4	40.4	12.1	1.0	1.0	2.0
	北条エリア	49	26	14	5	2	2	0
		100.0	53.1	28.6	10.2	4.1	4.1	0.0
	生まれてからずっと松山市に 居住している	377	205	114	43	6	5	4
		100.0	54.4	30.2	11.4	1.6	1.3	1.1
居住経験	松山市出身で、市外へ転出した 後、戻ってきた(Uターン)	202	93	69	32	6	1	1
		100.0	46.0	34.2	15.8	3.0	0.5	0.5
	松山市外の出身で、 転入してきた	452	174	183	75	12	4	4
		100.0	38.5	40.5	16.6	2.7	0.9	0.9
居住経験	その他	21	14	5	0	1	1	0
		100.0	66.7	23.8	0.0	4.8	4.8	0.0

(上段:実数、下段:%)

		合計	住み つと 続け たい	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い え ば	住 み 続 け た く な い	無 回 答
全体		1,053	487	371	150	25	11	9
		100.0	46.2	35.2	14.2	2.4	1.0	0.9
のこ ども 有 無	いる	705	359	243	80	10	6	7
		100.0	50.9	34.5	11.3	1.4	0.9	1.0
	いない	345	128	126	69	15	5	2
		100.0	37.1	36.5	20.0	4.3	1.4	0.6
人 数 別	1人	125	52	52	16	3	2	0
		100.0	41.6	41.6	12.8	2.4	1.6	0.0
	2人	386	208	126	42	5	1	4
		100.0	53.9	32.6	10.9	1.3	0.3	1.0
	3人	162	85	55	18	2	1	1
		100.0	52.5	34.0	11.1	1.2	0.6	0.6
	4人以上	21	12	5	3	0	1	0
		100.0	57.1	23.8	14.3	0.0	4.8	0.0
年 齢 別	未就学児	94	45	32	14	1	2	0
		100.0	47.9	34.0	14.9	1.1	2.1	0.0
	小学生	101	37	45	14	3	2	0
		100.0	36.6	44.6	13.9	3.0	2.0	0.0
	中学生以上	576	305	196	59	7	4	5
		100.0	53.0	34.0	10.2	1.2	0.7	0.9
良 か っ た と 思 う	そう思う	523	293	170	48	4	3	5
		100.0	56.0	32.5	9.2	0.8	0.6	1.0
	どちらかといえば	151	55	68	20	5	1	2
		100.0	36.4	45.0	13.2	3.3	0.7	1.3
	どちらかといえば	19	6	3	8	0	2	0
		100.0	31.6	15.8	42.1	0.0	10.5	0.0
	そう思わない	7	2	0	4	1	0	0
		100.0	28.6	0.0	57.1	14.3	0.0	0.0

■「居住意向」と他の設問とのクロス集計

居住意向別に、他の設問とのクロス集計を行うと、『住み続けたくない』と感じている回答者は、いずれの設問でも総じてネガティブな回答をしている傾向がみられるが、「日頃から災害に備えている」と「デジタル化で生活が便利になった」に関しては、「そう思う」の割合が全体よりも高い。

□「地域や社会とのつながり」を感じているか（問 11）

		(上段:実数、下段:%)				
		合計	感じる	るい えち ばら 感か じと	ない えち ばら 感か じと	感じ ない
全体		1,053	191	462	281	118
		100.0	18.1	43.9	26.7	11.2
意 居 向 住	『住み続けたい』	858	183	401	204	69
		100.0	21.3	46.7	23.8	8.0
	『住み続けたくない』	36	2	6	13	15
		100.0	5.6	16.7	36.1	41.7

(注)「居住意向」は、「ずっと住み続けたい」+「どちらかといえば住み続けたい」の合計を『住み続けたい』、「どちらかといえば住み続けたくない」+「住み続けたくない」の合計を『住み続けたくない』としている。
(以下同様)

□松山市の「医療体制が充実している」と思うか（問 16）

		(上段:実数、下段:%)				
		合計	そう 思う	思 い ど え ち ば ら そ か う と	思 い ど わ え ち な い そ か う と	い そ う 思 わ な
全体		1,053	196	699	124	33
		100.0	18.6	66.4	11.8	3.1
意 居 向 住	『住み続けたい』	858	173	582	82	21
		100.0	20.2	67.8	9.6	2.4
	『住み続けたくない』	36	3	22	10	1
		100.0	8.3	61.1	27.8	2.8

□居住地域に「愛着や誇り」を感じているか（問 21）

		(上段:実数、下段:%)				
		合計	感じる	るい えち ばら 感か じと	ない えち ばら 感か じと	感じ ない
全体		1,053	282	545	161	61
		100.0	26.8	51.8	15.3	5.8
意 居 向 住	『住み続けたい』	858	269	480	83	23
		100.0	31.4	55.9	9.7	2.7
	『住み続けたくない』	36	4	6	10	16
		100.0	11.1	16.7	27.8	44.4

□「松山市の魅力を友人や知人に紹介したい」と思うか（問 27）

（上段：実数、下段：％）

		合 計	そ う 思 う	思 い ど う え ち ば ら そ か う と	思 い ど わ え ち な ば ら そ か う と	い そ う 思 わ な	無 回 答
全体		1,053	199	581	186	82	5
		100.0	18.9	55.2	17.7	7.8	0.5
意 居 向 住	『住み続けたい』	858	186	508	124	36	4
		100.0	21.7	59.2	14.5	4.2	0.5
	『住み続けたくない』	36	2	9	9	16	0
		100.0	5.6	25.0	25.0	44.4	0.0

□現在の職場環境が「働きやすい」と思うか（問 30）

（上段：実数、下段：％）

		合 計	そ う 思 う	思 い ど う え ち ば ら そ か う と	思 い ど わ え ち な ば ら そ か う と	い そ う 思 わ な	無 回 答
全体		681	170	312	120	65	14
		100.0	25.0	45.8	17.6	9.5	2.1
意 居 向 住	『住み続けたい』	545	149	261	87	35	13
		100.0	27.3	47.9	16.0	6.4	2.4
	『住み続けたくない』	24	4	5	4	10	1
		100.0	16.7	20.8	16.7	41.7	4.2

□松山市は自分に合った移動手段で気軽に目的地へ「移動しやすい（出かけやすい）」と思うか（問 32）

（上段：実数、下段：％）

		合 計	そ う 思 う	思 い ど う え ち ば ら そ か う と	思 い ど わ え ち な ば ら そ か う と	い そ う 思 わ な	無 回 答
全体		1,053	249	473	200	127	4
		100.0	23.6	44.9	19.0	12.1	0.4
意 居 向 住	『住み続けたい』	858	231	403	149	74	1
		100.0	26.9	47.0	17.4	8.6	0.1
	『住み続けたくない』	36	4	10	9	12	1
		100.0	11.1	27.8	25.0	33.3	2.8

□「環境にやさしい行動をしている」と思うか（問 38）

		(上段:実数、下段:%)					
		合 計	そ う 思 う	思 い ど う え ち ば ら そ か う	思 い ど わ え ち な ば ら そ か う	い そ う 思 わ な	無 回 答
全 体		1,053	160	646	176	60	11
		100.0	15.2	61.3	16.7	5.7	1.0
意 居 向 住	『住み続けたい』	858	144	548	127	33	6
		100.0	16.8	63.9	14.8	3.8	0.7
	『住み続けたくない』	36	5	15	7	8	1
		100.0	13.9	41.7	19.4	22.2	2.8

□「日頃から災害に備えている」と思うか（問 40）

		(上段:実数、下段:%)					
		合 計	そ う 思 う	思 い ど う え ち ば ら そ か う と	思 い ど わ え ち な ば ら そ か う と	い そ う 思 わ な	無 回 答
全体		1,053	91	483	348	127	4
		100.0	8.6	45.9	33.0	12.1	0.4
意 居 向 住	『住み続けたい』	858	71	409	283	93	2
		100.0	8.3	47.7	33.0	10.8	0.2
	『住み続けたくない』	36	6	18	7	5	0
		100.0	16.7	50.0	19.4	13.9	0.0

□「デジタル化で生活が便利になった」と思うか（問 43）

		(上段:実数、下段:%)					
		合 計	そ う 思 う	思 い ど う え ち ば ら そ か う と	思 い ど わ え ち な ば ら そ か う と	い そ う 思 わ な	無 回 答
全体		1,053	196	493	243	111	10
		100.0	18.6	46.8	23.1	10.5	0.9
意 居 向 住	『住み続けたい』	858	159	413	196	81	9
		100.0	18.5	48.1	22.8	9.4	1.0
	『住み続けたくない』	36	10	13	6	7	0
		100.0	27.8	36.1	16.7	19.4	0.0

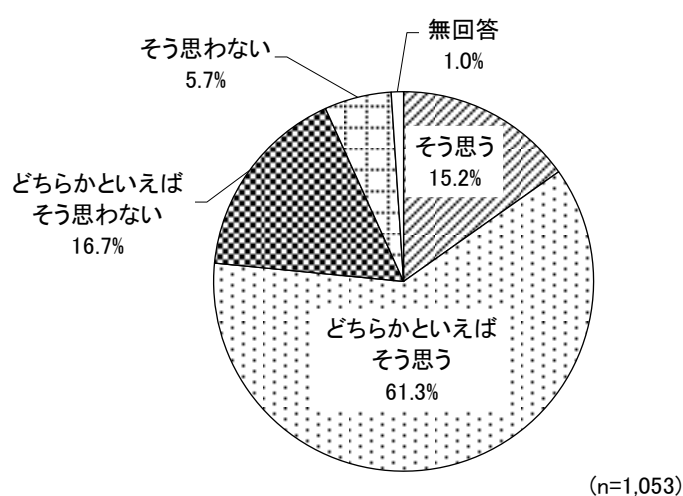
10. 環境について

(1) 「環境にやさしい行動をしている」と思うか（問38）

「環境にやさしい行動をしている」と思うかについては、「どちらかといえばそう思う」（61.3%）の割合が最も高く、次に「どちらかといえばそうわない」（16.7%）、「そう思う」（15.2%）が続く。『環境にやさしい行動をしていると思う』回答者の割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、76.5%である。

年齢別では、「20 歳代以下」と「40 歳代」で「どちらかといえばそうわない」、「30 歳代」で「そうわない」の割合が全体よりも高く、「60 歳代」で「どちらかといえばそう思う」、「70 歳以上」で「そう思う」の割合が全体よりも高い。

図表 II-39 「環境にやさしい行動をしている」と思うか



(上段:実数、下段:%)

		合計	そう思う	どちらかといえば	どちらかといえ	そう思わない	無回答
全体		1,053	160	646	176	60	11
		100.0	15.2	61.3	16.7	5.7	1.0
性別	男性	429	68	249	77	31	4
		100.0	15.9	58.0	17.9	7.2	0.9
	女性	579	88	371	86	27	7
		100.0	15.2	64.1	14.9	4.7	1.2
回答しない		39	3	23	11	2	0
		100.0	7.7	59.0	28.2	5.1	0.0
年齢別	20歳代以下	113	8	60	39	6	0
		100.0	7.1	53.1	34.5	5.3	0.0
	30歳代	122	18	67	21	16	0
		100.0	14.8	54.9	17.2	13.1	0.0
	40歳代	164	16	96	38	14	0
		100.0	9.8	58.5	23.2	8.5	0.0
	50歳代	190	27	124	27	9	3
		100.0	14.2	65.3	14.2	4.7	1.6
	60歳代	210	29	145	27	7	2
		100.0	13.8	69.0	12.9	3.3	1.0
70歳以上		234	55	144	21	8	6
		100.0	23.5	61.5	9.0	3.4	2.6
居住地域（8エリア）	東部エリア	28	8	15	1	3	1
		100.0	28.6	53.6	3.6	10.7	3.6
	南部エリア	261	43	158	47	12	1
		100.0	16.5	60.5	18.0	4.6	0.4
	中心部東エリア	191	26	122	29	11	3
		100.0	13.6	63.9	15.2	5.8	1.6
	中心部西エリア	197	24	126	37	9	1
		100.0	12.2	64.0	18.8	4.6	0.5
	南西エリア	162	23	90	35	12	2
		100.0	14.2	55.6	21.6	7.4	1.2
西部エリア・島しょ部	64	10	45	5	4	0	
	100.0	15.6	70.3	7.8	6.3	0.0	
北部エリア	99	15	61	15	6	2	
	100.0	15.2	61.6	15.2	6.1	2.0	
北条エリア		49	11	27	7	3	1
		100.0	22.4	55.1	14.3	6.1	2.0
居住経験	生まれてからずっと松山市に居住している	377	49	226	72	25	5
		100.0	13.0	59.9	19.1	6.6	1.3
	松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた(Uターン)	202	34	122	32	14	0
		100.0	16.8	60.4	15.8	6.9	0.0
	松山市外の出身で、転入してきた	452	71	290	68	17	6
		100.0	15.7	64.2	15.0	3.8	1.3
その他		21	5	8	4	4	0
		100.0	23.8	38.1	19.0	19.0	0.0

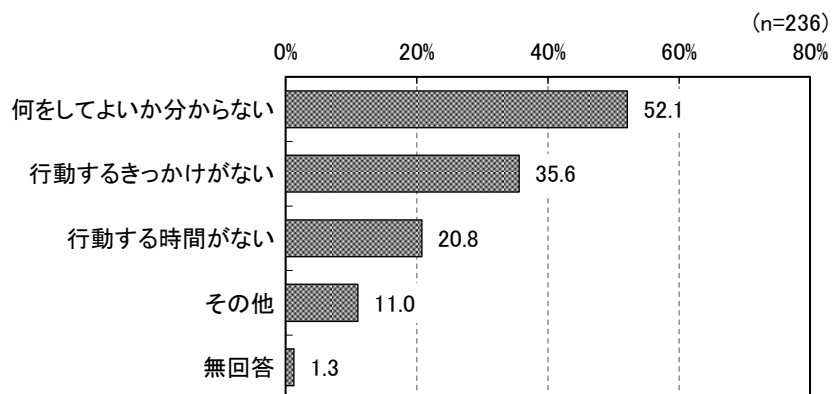
＜問 38 で「どちらかといえばそう思わない」又は「そう思わない」とした回答者のみ＞

(2) 「環境にやさしい行動をしている」と思わない理由（問 39）

「環境にやさしい行動をしている」と思わない理由としては、「何をしてよいか分からない」（52.1％）の割合が最も高く、次に「行動するきっかけがない」（35.6％）、「行動する時間がない」（20.8％）が続く。

性別では、「女性」で「行動するきっかけがない」の割合が全体よりも高い。

図表 II-40 「環境にやさしい行動をしている」と思わない理由（複数回答）



(上段:実数、下段:%)

		合計	何を から ない よ いか	が 行 動 す る き っ か け	な い 行 動 す る 時 間 が	そ の 他	無 回 答
全体		236	123	84	49	26	3
		100.0	52.1	35.6	20.8	11.0	1.3
性別	男性	108	52	34	21	16	3
		100.0	48.1	31.5	19.4	14.8	2.8
	女性	113	62	47	25	9	0
		100.0	54.9	41.6	22.1	8.0	0.0
回答しない		13	7	3	3	1	0
		100.0	53.8	23.1	23.1	7.7	0.0
年齢別	20歳代以下	45	21	21	8	1	0
		100.0	46.7	46.7	17.8	2.2	0.0
	30歳代	37	19	11	9	8	0
		100.0	51.4	29.7	24.3	21.6	0.0
	40歳代	52	18	20	16	7	0
		100.0	34.6	38.5	30.8	13.5	0.0
	50歳代	36	21	9	11	6	0
		100.0	58.3	25.0	30.6	16.7	0.0
	60歳代	34	24	11	3	4	1
		100.0	70.6	32.4	8.8	11.8	2.9
居住地域（8エリア）	70歳以上	29	19	10	2	0	2
		100.0	65.5	34.5	6.9	0.0	6.9
	東部エリア	4	1	1	1	1	0
		100.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0
	南部エリア	59	32	22	14	5	1
		100.0	54.2	37.3	23.7	8.5	1.7
	中心部東エリア	40	21	12	12	3	0
		100.0	52.5	30.0	30.0	7.5	0.0
	中心部西エリア	46	21	18	12	7	0
		100.0	45.7	39.1	26.1	15.2	0.0
居住経験	南西エリア	47	27	14	7	6	0
		100.0	57.4	29.8	14.9	12.8	0.0
	西部エリア・島しょ部	9	6	2	0	2	0
		100.0	66.7	22.2	0.0	22.2	0.0
	北部エリア	21	10	10	3	1	1
		100.0	47.6	47.6	14.3	4.8	4.8
	北条エリア	10	5	5	0	1	1
		100.0	50.0	50.0	0.0	10.0	10.0
	生まれてからずっと松山市に 居住している	97	52	34	21	13	3
		100.0	53.6	35.1	21.6	13.4	3.1
居住経験	松山市出身で、市外へ転出した 後、戻ってきた(Uターン)	46	27	14	9	5	0
		100.0	58.7	30.4	19.6	10.9	0.0
	松山市外の出身で、 転入してきた	85	39	33	18	8	0
		100.0	45.9	38.8	21.2	9.4	0.0
その他		8	5	3	1	0	0
		100.0	62.5	37.5	12.5	0.0	0.0

1 1. 安全・安心について

(1) 「日頃から災害に備えている」と思うか（問 40）

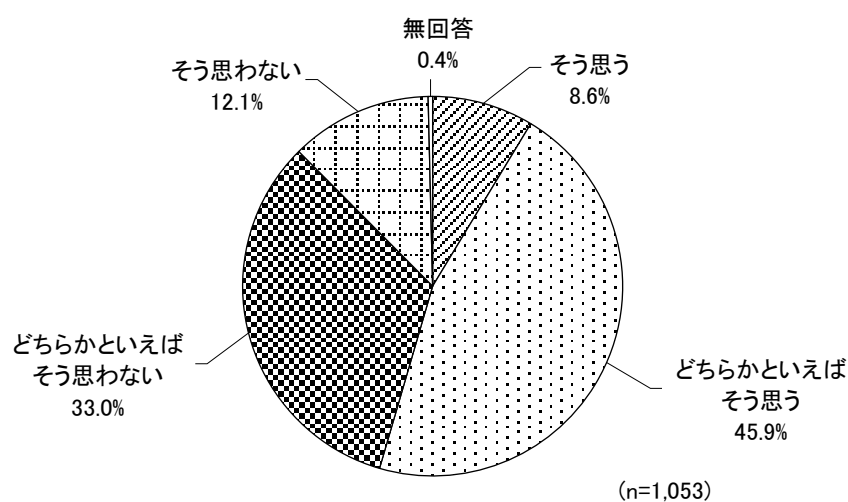
「日頃から災害に備えている」と思うかについては、「どちらかといえばそう思う」（45.9％）の割合が最も高く、次に「どちらかといえばそう思わない」（33.0％）、「そう思わない」（12.1％）が続く。『日頃から災害に備えていると思う』回答者の割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、54.5％である。

居住地域別では、「南西エリア」で「そう思わない」の割合が全体よりも高く、「西部エリア・島しょ部」で「そう思う」の割合が全体よりも高い。

こどもの有無別では、「いない」で「そう思わない」の割合が全体よりも高い。

家族構成別では、「ひとり暮らし」と「3世代が同居（親と子と孫）」で「どちらかといえばそう思わない」の割合が全体よりも高い。

図表 II-41 「日頃から災害に備えている」と思うか



(上段:実数、下段:%)

		合 計	そ う 思 う	そ ど ち ら か と い え ば	そ ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い	無 回 答
全体		1,053	91	483	348	127	4
		100.0	8.6	45.9	33.0	12.1	0.4
性 別	男性	429	43	177	154	54	1
		100.0	10.0	41.3	35.9	12.6	0.2
	女性	579	44	286	180	66	3
		100.0	7.6	49.4	31.1	11.4	0.5
回答しない		39	3	17	12	7	0
		100.0	7.7	43.6	30.8	17.9	0.0
年 齢 別	20歳代以下	113	13	42	39	19	0
		100.0	11.5	37.2	34.5	16.8	0.0
	30歳代	122	10	55	38	19	0
		100.0	8.2	45.1	31.1	15.6	0.0
	40歳代	164	14	75	56	19	0
		100.0	8.5	45.7	34.1	11.6	0.0
	50歳代	190	19	80	65	26	0
		100.0	10.0	42.1	34.2	13.7	0.0
	60歳代	210	15	100	75	19	1
		100.0	7.1	47.6	35.7	9.0	0.5
70歳以上	234	17	121	71	22	3	
	100.0	7.3	51.7	30.3	9.4	1.3	
居 住 地 域 （8 エ リ ア）	東部エリア	28	4	8	12	4	0
		100.0	14.3	28.6	42.9	14.3	0.0
	南部エリア	261	21	125	82	32	1
		100.0	8.0	47.9	31.4	12.3	0.4
	中心部東エリア	191	16	88	69	16	2
		100.0	8.4	46.1	36.1	8.4	1.0
	中心部西エリア	197	18	86	68	25	0
		100.0	9.1	43.7	34.5	12.7	0.0
	南西エリア	162	11	76	47	28	0
		100.0	6.8	46.9	29.0	17.3	0.0
西部エリア・島しょ部	64	9	31	17	7	0	
	100.0	14.1	48.4	26.6	10.9	0.0	
	北部エリア	99	6	46	37	9	1
		100.0	6.1	46.5	37.4	9.1	1.0
北条エリア	49	6	21	16	6	0	
	100.0	12.2	42.9	32.7	12.2	0.0	
居 住 経 験	生まれてからずっと松山市に 居住している	377	29	172	120	53	3
		100.0	7.7	45.6	31.8	14.1	0.8
	松山市出身で、市外へ転出した 後、戻ってきた(Uターン)	202	21	86	71	24	0
		100.0	10.4	42.6	35.1	11.9	0.0
	松山市外の出身で、 転入してきた	452	38	218	149	46	1
		100.0	8.4	48.2	33.0	10.2	0.2
その他		21	3	7	7	4	0
		100.0	14.3	33.3	33.3	19.0	0.0

(上段:実数、下段:%)

		合計	そう 思う	そう どちら かとい え ば	そう どちら かとい え ば	そう 思わ ない	無 回 答
全体		1,053	91	483	348	127	4
		100.0	8.6	45.9	33.0	12.1	0.4
のこ 有ど 無も	いる	705	66	341	230	64	4
		100.0	9.4	48.4	32.6	9.1	0.6
	いない	345	25	139	118	63	0
		100.0	7.2	40.3	34.2	18.3	0.0
家 族 構 成	ひとり暮らし	149	8	59	58	23	1
		100.0	5.4	39.6	38.9	15.4	0.7
	夫婦のみ	311	37	154	86	31	3
		100.0	11.9	49.5	27.7	10.0	1.0
	2世代が同居 (親と子)	512	42	236	168	66	0
		100.0	8.2	46.1	32.8	12.9	0.0
	3世代が同居 (親と子と孫)	51	2	19	24	6	0
		100.0	3.9	37.3	47.1	11.8	0.0
	その他	29	2	14	12	1	0
		100.0	6.9	48.3	41.4	3.4	0.0

＜問 40 で「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」とした回答者のみ＞

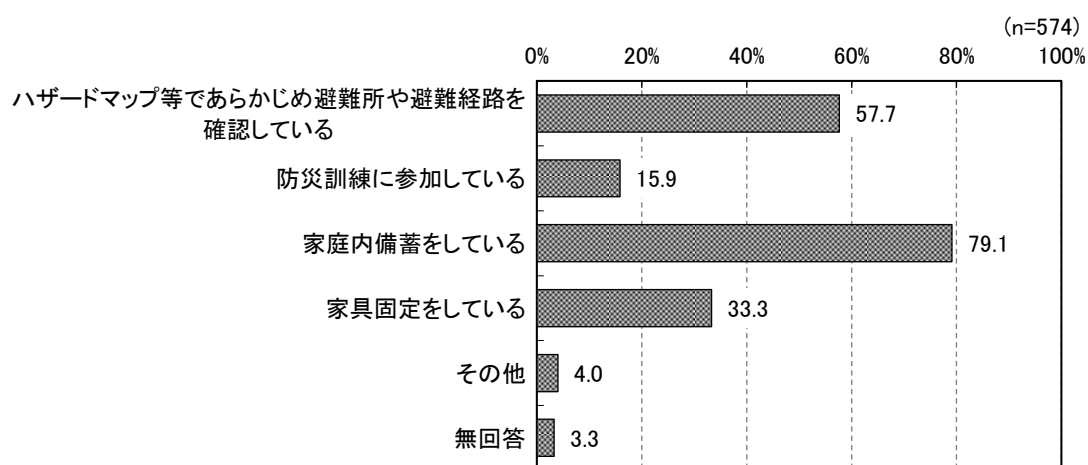
(2) 「日頃から災害に備えている」と思う理由（問 41）

「日頃から災害に備えている」と思う理由は、「家庭内備蓄をしている」（79.1％）の割合が最も高く、次に「ハザードマップ等であらかじめ避難所や避難経路を確認している」（57.7％）、「家具固定をしている」（33.3％）が続く。

年代別では、「60 歳代」で「ハザードマップ等であらかじめ避難所や避難経路を確認している」、「70 歳以上」で「防災訓練に参加している」の割合が全体よりも高い。

家族構成別では、「ひとり暮らし」でいずれの選択肢の割合も全体より低く、「夫婦のみ」で「家具固定をしている」の割合が全体よりも高い。

図表 II-42 「日頃から災害に備えている」と思う理由（複数回答）



(上段:実数、下段:%)

		合計	避難経路を 確認して いる	ハザードマ ップ等 で	防災訓 練に参 加して いる	家庭内 備蓄を して いる	家具固 定をし て いる	そ 他	無 回 答
全体		574	331	91	454	191	23	19	
		100.0	57.7	15.9	79.1	33.3	4.0	3.3	
性別	男性	220	118	40	169	64	9	10	
		100.0	53.6	18.2	76.8	29.1	4.1	4.5	
	女性	330	198	48	267	117	13	9	
		100.0	60.0	14.5	80.9	35.5	3.9	2.7	
	回答しない	20	13	2	14	8	1	0	
		100.0	65.0	10.0	70.0	40.0	5.0	0.0	
年齢別	20歳代以下	55	30	5	43	18	0	1	
		100.0	54.5	9.1	78.2	32.7	0.0	1.8	
	30歳代	65	39	7	54	21	3	0	
		100.0	60.0	10.8	83.1	32.3	4.6	0.0	
	40歳代	89	47	8	74	23	5	3	
		100.0	52.8	9.0	83.1	25.8	5.6	3.4	
	50歳代	99	50	15	77	32	3	7	
		100.0	50.5	15.2	77.8	32.3	3.0	7.1	
	60歳代	115	80	22	91	43	6	3	
		100.0	69.6	19.1	79.1	37.4	5.2	2.6	
	70歳以上	138	77	30	103	48	5	5	
		100.0	55.8	21.7	74.6	34.8	3.6	3.6	
居住地域（8エリア）	東部エリア	12	10	1	9	4	0	1	
		100.0	83.3	8.3	75.0	33.3	0.0	8.3	
	南部エリア	146	88	25	115	54	5	4	
		100.0	60.3	17.1	78.8	37.0	3.4	2.7	
	中心部東エリア	104	59	7	86	28	4	4	
		100.0	56.7	6.7	82.7	26.9	3.8	3.8	
	中心部西エリア	104	58	14	79	37	3	4	
		100.0	55.8	13.5	76.0	35.6	2.9	3.8	
	南西エリア	87	52	17	70	24	4	5	
		100.0	59.8	19.5	80.5	27.6	4.6	5.7	
	西部エリア・島しょ部	40	20	12	33	15	3	0	
		100.0	50.0	30.0	82.5	37.5	7.5	0.0	
	北部エリア	52	27	10	42	19	4	0	
		100.0	51.9	19.2	80.8	36.5	7.7	0.0	
	北条エリア	27	16	5	19	9	0	1	
		100.0	59.3	18.5	70.4	33.3	0.0	3.7	
居住経験	生まれてからずっと松山市に 居住している	201	116	36	155	63	10	6	
		100.0	57.7	17.9	77.1	31.3	5.0	3.0	
	松山市出身で、市外へ転出した 後、戻ってきた(Uターン)	107	59	21	83	38	4	8	
		100.0	55.1	19.6	77.6	35.5	3.7	7.5	
	松山市外の出身で、 転入してきた	256	150	33	207	86	9	4	
		100.0	58.6	12.9	80.9	33.6	3.5	1.6	
	その他	10	6	1	9	4	0	1	
		100.0	60.0	10.0	90.0	40.0	0.0	10.0	

(上段：実数、下段：%)

		合計	避難経路を 確認している	ハザードマップ等 あらかじめ避難所 で確認している	防災訓練に参加 している	家庭内備蓄をして いる	家具固定をして いる	その他	無回答
全体		574	331	91	454	191	23	19	
		100.0	57.7	15.9	79.1	33.3	4.0	3.3	
のこ 有ど 無も	いる	407	246	66	328	140	18	11	
		100.0	60.4	16.2	80.6	34.4	4.4	2.7	
	いない	164	82	25	124	50	5	8	
		100.0	50.0	15.2	75.6	30.5	3.0	4.9	
家 族 構 成	ひとり暮らし	67	33	5	45	17	2	6	
		100.0	49.3	7.5	67.2	25.4	3.0	9.0	
	夫婦のみ	191	118	38	153	76	10	6	
		100.0	61.8	19.9	80.1	39.8	5.2	3.1	
	2世代が同居(親 と子)	278	163	45	227	86	9	5	
		100.0	58.6	16.2	81.7	30.9	3.2	1.8	
	3世代が同居(親 と子と孫)	21	11	3	16	7	1	0	
		100.0	52.4	14.3	76.2	33.3	4.8	0.0	
	その他	16	5	0	12	4	1	2	
		100.0	31.3	0.0	75.0	25.0	6.3	12.5	

＜問 40 で「どちらかといえばそう思わない」又は「そう思わない」とした回答者のみ＞

(3) 「日頃から災害に備えている」と思わない理由（問 42）

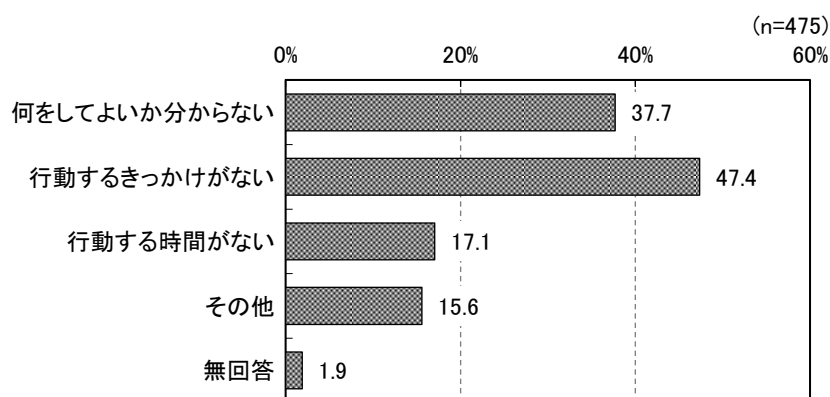
「日頃から災害に備えている」と思わない理由は、「行動するきっかけがない」（47.4%）の割合が最も高く、次に「何をしてもいいかわからない」（37.7%）、「行動する時間がない」（17.1%）が続く。

年齢別では、「20 歳代以下」で「何をしてもいいかわからない」、「30 歳代」で「何をしてもいいかわからない」と「行動する時間がない」、「50 歳代」で「行動するきっかけがない」と「行動する時間がない」、「70 歳以上」で「行動するきっかけがない」の割合が全体よりも高くなっている。

居住地域別では、「中心部東エリア」で「行動するきっかけがない」、「南西エリア」で「何をしてもいいかわからない」の割合が全体よりも高い。

家族構成別では、「夫婦のみ」で「行動するきっかけがない」の割合が全体よりも高い。

図表 II-43 「日頃から災害に備えている」と思わない理由（複数回答）



(上段:実数、下段:%)

		合計	何を から して ない か	行 動 す る き つ か け が	行 動 す る 時 間 が な い	そ の 他	無 回 答
全体		475	179	225	81	74	9
		100.0	37.7	47.4	17.1	15.6	1.9
性別	男性	208	72	105	36	31	4
		100.0	34.6	50.5	17.3	14.9	1.9
	女性	246	97	114	43	39	5
		100.0	39.4	46.3	17.5	15.9	2.0
回答しない		19	9	5	2	4	0
		100.0	47.4	26.3	10.5	21.1	0.0
年齢別	20歳代以下	58	25	25	11	7	0
		100.0	43.1	43.1	19.0	12.1	0.0
	30歳代	57	26	18	16	12	0
		100.0	45.6	31.6	28.1	21.1	0.0
	40歳代	75	31	29	15	13	0
		100.0	41.3	38.7	20.0	17.3	0.0
	50歳代	91	25	48	26	14	1
		100.0	27.5	52.7	28.6	15.4	1.1
居住地域（8エリア）	60歳代	94	36	49	7	11	4
		100.0	38.3	52.1	7.4	11.7	4.3
	70歳以上	93	34	54	5	15	4
		100.0	36.6	58.1	5.4	16.1	4.3
	東部エリア	16	3	6	6	4	0
		100.0	18.8	37.5	37.5	25.0	0.0
	南部エリア	114	45	53	17	16	1
		100.0	39.5	46.5	14.9	14.0	0.9
居住地域（8エリア）	中心部東エリア	85	25	50	12	11	2
		100.0	29.4	58.8	14.1	12.9	2.4
	中心部西エリア	93	34	41	19	18	1
		100.0	36.6	44.1	20.4	19.4	1.1
	南西エリア	75	36	31	12	13	2
		100.0	48.0	41.3	16.0	17.3	2.7
	西部エリア・島しょ部	24	10	12	4	2	1
		100.0	41.7	50.0	16.7	8.3	4.2
居住経験	北部エリア	46	20	19	5	7	1
		100.0	43.5	41.3	10.9	15.2	2.2
	北条エリア	22	6	13	6	3	1
		100.0	27.3	59.1	27.3	13.6	4.5
	生まれてからずっと松山市に 居住している	173	71	85	28	23	3
		100.0	41.0	49.1	16.2	13.3	1.7
居住経験	松山市出身で、市外へ転出した 後、戻ってきた(Uターン)	95	40	43	17	13	2
		100.0	42.1	45.3	17.9	13.7	2.1
	松山市外の出身で、 転入してきた	195	65	95	33	33	3
		100.0	33.3	48.7	16.9	16.9	1.5
その他		11	3	2	3	4	1
		100.0	27.3	18.2	27.3	36.4	9.1

(上段:実数、下段:%)

		合計	何を 分 から ない よ い か	行 動 す る き つ か け が	行 動 す る 時 間 が ない	そ の 他	無 回 答
全体		475	179	225	81	74	9
		100.0	37.7	47.4	17.1	15.6	1.9
の こ ど も 有 無	いる	294	113	141	43	46	8
		100.0	38.4	48.0	14.6	15.6	2.7
	いない	181	66	84	38	28	1
		100.0	36.5	46.4	21.0	15.5	0.6
家 族 構 成	ひとり暮らし	81	33	40	12	12	1
		100.0	40.7	49.4	14.8	14.8	1.2
	夫婦のみ	117	38	67	12	17	3
		100.0	32.5	57.3	10.3	14.5	2.6
	2世代が同居 (親と子)	234	93	98	49	36	5
		100.0	39.7	41.9	20.9	15.4	2.1
	3世代が同居 (親と子と孫)	30	10	16	7	4	0
		100.0	33.3	53.3	23.3	13.3	0.0
	その他	13	5	4	1	5	0
		100.0	38.5	30.8	7.7	38.5	0.0

1 2. デジタル化について

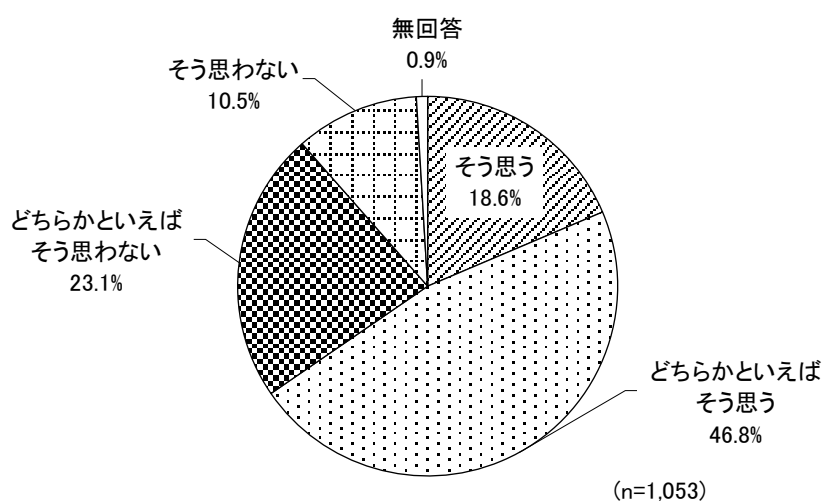
(1) 「デジタル化で生活が便利になった」と思うか（問 43）

「デジタル化で生活が便利になった」と思うかについては、「どちらかといえばそう思う」（46.8%）の割合が最も高く、次に「どちらかといえばそう思わない」（23.1%）、「そう思う」（18.6%）が続く。『デジタル化で生活が便利になったと思う』回答者の割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は、65.4%である。

年代別では、「20 歳代以下」と「30 歳代」で「そう思う」、「40 歳代」で「どちらかといえばそう思う」の割合が全体よりも高い。

居住地域別では、「中心部東エリア」「南西エリア」「北部エリア」で「どちらかといえばそう思う」の割合が全体よりも高く、「西部エリア・島しょ部」で「そう思わない」の割合が全体よりも高い。

図表 II-44 「デジタル化で生活が便利になった」



(上段:実数、下段:%)

		合計	そう 思う	そう どちら かとい えば	そう どちら かわか ないい えば	そう 思わ ない	無 回 答
全体		1,053	196	493	243	111	10
		100.0	18.6	46.8	23.1	10.5	0.9
性別	男性	429	95	183	88	58	5
		100.0	22.1	42.7	20.5	13.5	1.2
	女性	579	98	293	139	44	5
		100.0	16.9	50.6	24.0	7.6	0.9
	回答しない	39	3	16	12	8	0
		100.0	7.7	41.0	30.8	20.5	0.0
年齢別	20歳代以下	113	44	55	7	7	0
		100.0	38.9	48.7	6.2	6.2	0.0
	30歳代	122	32	55	23	12	0
		100.0	26.2	45.1	18.9	9.8	0.0
	40歳代	164	35	87	33	9	0
		100.0	21.3	53.0	20.1	5.5	0.0
	50歳代	190	29	89	52	20	0
		100.0	15.3	46.8	27.4	10.5	0.0
	60歳代	210	23	105	53	27	2
		100.0	11.0	50.0	25.2	12.9	1.0
	70歳以上	234	30	94	69	33	8
		100.0	12.8	40.2	29.5	14.1	3.4
居住地域（8エリア）	東部エリア	28	6	10	8	4	0
		100.0	21.4	35.7	28.6	14.3	0.0
	南部エリア	261	54	113	73	20	1
		100.0	20.7	43.3	28.0	7.7	0.4
	中心部東エリア	191	33	106	31	19	2
		100.0	17.3	55.5	16.2	9.9	1.0
	中心部西エリア	197	42	82	49	23	1
		100.0	21.3	41.6	24.9	11.7	0.5
	南西エリア	162	25	86	30	19	2
		100.0	15.4	53.1	18.5	11.7	1.2
	西部エリア・島しょ部	64	10	26	17	10	1
		100.0	15.6	40.6	26.6	15.6	1.6
	北部エリア	99	14	55	22	7	1
		100.0	14.1	55.6	22.2	7.1	1.0
	北条エリア	49	12	14	12	9	2
		100.0	24.5	28.6	24.5	18.4	4.1
居住経験	生まれてからずっと松山市に 居住している	377	64	182	85	41	5
		100.0	17.0	48.3	22.5	10.9	1.3
	松山市出身で、市外へ転出した 後、戻ってきた(Uターン)	202	46	95	44	16	1
		100.0	22.8	47.0	21.8	7.9	0.5
	松山市外の出身で、 転入してきた	452	83	207	111	47	4
		100.0	18.4	45.8	24.6	10.4	0.9
その他		21	3	9	2	7	0
		100.0	14.3	42.9	9.5	33.3	0.0

＜問 43 で「どちらかといえばそう思わない」又は「そう思わない」とした回答者のみ＞

(2) 「デジタル化で生活が便利になった」と思わない理由（問 44）

「デジタル化で生活が便利になった」と思わない理由としては、「デジタル化の利便性を感じる機会がない」（54.0％）の割合が最も高く、次に「デジタル化に苦手意識がある」（46.3％）、「デジタル化で不便さを感じている」（16.7％）が続く。

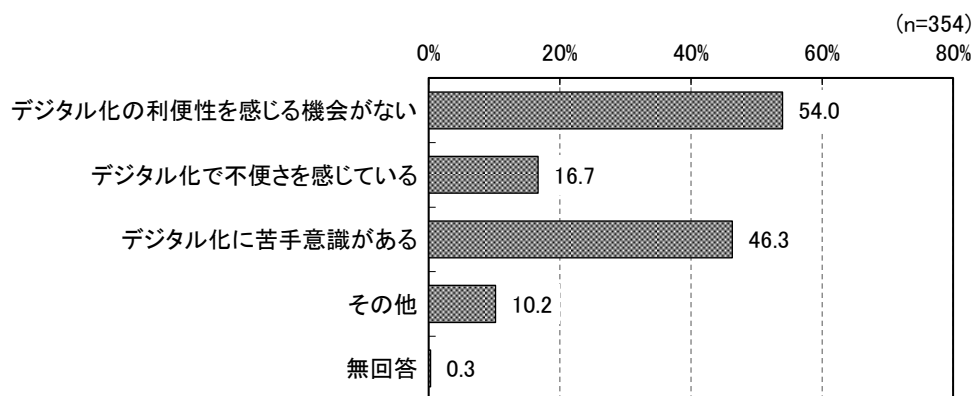
性別では、「女性」で「デジタル化に苦手意識がある」の割合が全体よりも高い。

年齢別では、「60 歳代」と「70 歳以上」で「デジタル化に苦手意識がある」の割合が全体よりも高い。

居住地域別では、「中心部西エリア」で「デジタル化に苦手意識がある」の割合が全体よりも高い。

居住経験別では、「松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた（Uターン）」で「デジタル化の利便性を感じる機会がない」の割合が全体よりも高い。

図表 II-45 「デジタル化で生活が便利になった」と思わない理由（複数回答）



(上段:実数、下段:%)

		合計	機会が ない	デジタル 利便性を 感じる	デジタル 化で不便 を感じる	デジタル 化に苦手 意識がある	その他	無 回答
全体		354	191	59	164	36	1	
		100.0	54.0	16.7	46.3	10.2	0.3	
性別	男性	146	79	28	59	21	0	
		100.0	54.1	19.2	40.4	14.4	0.0	
	女性	183	98	23	94	13	1	
		100.0	53.6	12.6	51.4	7.1	0.5	
回答しない		20	11	8	8	2	0	
		100.0	55.0	40.0	40.0	10.0	0.0	
年齢別	20歳代以下	14	11	2	1	2	0	
		100.0	78.6	14.3	7.1	14.3	0.0	
	30歳代	35	27	5	6	3	0	
		100.0	77.1	14.3	17.1	8.6	0.0	
	40歳代	42	22	6	12	5	0	
		100.0	52.4	14.3	28.6	11.9	0.0	
	50歳代	72	39	17	24	9	0	
		100.0	54.2	23.6	33.3	12.5	0.0	
	60歳代	80	38	12	46	12	1	
		100.0	47.5	15.0	57.5	15.0	1.3	
居住地域（8エリア）	70歳以上	102	47	16	71	4	0	
		100.0	46.1	15.7	69.6	3.9	0.0	
	東部エリア	12	5	5	4	1	0	
		100.0	41.7	41.7	33.3	8.3	0.0	
	南部エリア	93	54	18	40	7	0	
		100.0	58.1	19.4	43.0	7.5	0.0	
	中心部東エリア	50	25	8	19	9	1	
		100.0	50.0	16.0	38.0	18.0	2.0	
	中心部西エリア	72	33	13	37	8	0	
		100.0	45.8	18.1	51.4	11.1	0.0	
居住経験	南西エリア	49	30	4	24	6	0	
		100.0	61.2	8.2	49.0	12.2	0.0	
	西部エリア・島しょ部	27	15	4	14	1	0	
		100.0	55.6	14.8	51.9	3.7	0.0	
	北部エリア	29	18	3	12	2	0	
		100.0	62.1	10.3	41.4	6.9	0.0	
	北条エリア	21	11	4	13	2	0	
		100.0	52.4	19.0	61.9	9.5	0.0	
居住経緯	生まれてからずっと松山市に 居住している	126	67	19	63	11	0	
		100.0	53.2	15.1	50.0	8.7	0.0	
	松山市出身で、市外へ転出した 後、戻ってきた(Uターン)	60	36	12	16	6	0	
		100.0	60.0	20.0	26.7	10.0	0.0	
	松山市外の出身で、 転入してきた	158	85	27	81	17	0	
		100.0	53.8	17.1	51.3	10.8	0.0	
その他		9	3	1	3	2	1	
		100.0	33.3	11.1	33.3	22.2	11.1	

資 料 編

(調査票)

松山市 まちづくりに関するアンケート

～まちづくりに関するアンケートへのご協力をお願い～

市民の皆さまには、日頃から市政へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
松山市では、現在、新たなまちづくりの指針となる「第7次松山市総合計画」の策定を進めています。
まちづくりに対する市民の皆様のお考えをお聴きし、これまでの取り組みを検証するとともに、今後の市政に反映するため、アンケート調査を実施します。
皆さまのご意見を、今後のまちづくりに活かしたいと考えていますので、ご協力をお願いいたします。

令和6年8月
松 山 市



<調査票の回答方法について>

1. 郵送で回答される場合

- ①この調査票にご回答の上、折り目で三つ折りにして、同封の返信用封筒（切手不要）に入れてください。
- ②お名前や住所は書かずに、**9月16日（月・祝）までに**ポストへ投かんしてください。

2. インターネットで回答される場合

○別紙「インターネット回答利用ガイド」をご参照の上、ご回答ください。

※紙の調査票の記入・提出は不要です。他に使われないように廃棄してください。

インターネット回答 専用サイト	https://rsch.jp/eqt1/?2408matsuyama
ログインID	



※ログインIDは重複回答を防ぐためのもので、個人が特定されることはありません。

<ご回答にあたってのお願い>

- ◆この調査は、18歳以上の市民の皆さまの中から無作為に2,000人を選ばせていただき、ご協力をお願いしています。ご記入いただいた内容はすべて統計的に処理いたしますので、個人が特定されたり、他の目的に使用されたりすることは一切ございません。
- ◆設問には、封筒のあて名のご本人が回答時点の内容をお答えください。
※ご本人が何らかの都合でお答えができない場合で、ご家族に18歳以上の方がいらっしゃる場合は、その方が代わりにお答えくださいますようお願いいたします。
- ◆設問ごとの説明にしたがって、鉛筆・ボールペンなどで、あてはまる番号に○印をつけてください。
選択肢の中で「その他」と回答された場合や自由記述の設問は、具体的な内容をご記入ください。
- ◆ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

（お問い合わせ先）

松山市 総合政策部 企画戦略課

電話：089-948-6213（直通） FAX：089-934-1804

E-mail：kikaku-ishikichousa@city.matsuyama.ehime.jp

1. あなた（回答者）ご自身について

問1 あなたの性別は。（選択は任意です）

1. 男性	2. 女性	3. 回答しない
-------	-------	----------

問2 あなたの年齢は。（記入してください）

<input type="text"/>	<input type="text"/>	歳
----------------------	----------------------	---

問3 あなたの職業は。（○は1つ）

1. 会社員・公務員等	2. 会社役員	3. 自営業（農林水産業）
4. 自営業（その他）	5. パート・アルバイトなど	6. 学生
7. 専業主婦・主夫	8. 無職	9. その他（ <input type="text"/> ）

問4 あなたのお住まいの地域は。（○は1つ）

1. 湯山	2. 日浦	3. 五明	4. 伊台	5. 久米
6. 小野	7. 石井	8. 浮穴	9. 荏原	10. 坂本
11. 八坂	12. 素鷲	13. 道後	14. 東雲	15. 番町
16. 桑原	17. 新玉	18. 雄郡	19. 清水	20. 味酒
21. 生石	22. 余土	23. 垣生	24. 味生	25. 三津浜
26. 宮前	27. 高浜	28. 泊	29. 由良	30. 中島
31. 和気	32. 潮見	33. 堀江	34. 久枝	35. 浅海
36. 立岩	37. 難波	38. 正岡	39. 北条	40. 河野
41. 栗井	※地域がわからない場合は町名をお書きください（記入例：二番町4丁目）			
（ <input type="text"/> 町 <input type="text"/> 丁目）				

問5 あなたの家族構成は。（○は1つ）

1. ひとり暮らし	2. 夫婦のみ	3. 2世代が同居（親と子）
4. 3世代が同居（親と子と孫）	5. その他（ <input type="text"/> ）	

問6 お子さんはいますか。（同居していない場合も含む）（○は1つ）

1. いる	2. いない
-------	--------

→ <問6で1「いる」とお答えの方のみ>

問7 お子さんは何人いますか。（同居していない場合も含む）（記入してください）

未就学児	（ <input type="text"/> ）人
小学生	（ <input type="text"/> ）人
中学生以上	（ <input type="text"/> ）人

問8 あなたの松山市での居住経験は。（○は1つ）

1. 生まれてからずっと松山市に居住している
2. 松山市出身で、市外へ転出した後、戻ってきた（Uターン）
3. 松山市外の出身で、転入してきた
4. その他（ <input type="text"/> ）

2. こども・教育について

知って欲しい! まつやま

各分野について、市民の皆さんに知って欲しい、
松山市の良いところや最新情報をお知らせするコラムです。

- ・妊娠前の健康状態の検査や出産前後に必要な費用の助成、18歳年度末まで(※)の医療費無料化など切れ目のない子育て支援を進めています。
- ・保育所の拡充で待機児童ゼロを達成し、民間児童クラブへの支援で受入児童数を拡大しています。
- ・小中学生に1人1台のタブレット端末を整備するなど、デジタル学習環境を充実させています。

(※) 0歳から18歳到達年度の3月31日まで

<問6でお子さんが1「いる」とお答えの方のみ>

問9 あなたは「子育てしてよかった」と思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |

<問9で3「どちらかといえばそう思わない」又は4「そう思わない」とお答えの方のみ>

問10 「子育てしてよかった」と思わない理由として、当てはまるものを選んでください。

(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 経済的な負担が大きい | 2. 頼れる人・場所がない(少ない) |
| 3. 子育てと仕事(キャリア)の両立が難しい | 4. その他() |

3. 福祉について

知って欲しい! まつやま

- ・小学校や企業などで、福祉体験学習の場を設けるなど、地域での生活や福祉について知るきっかけづくりをしています。
- ・「子育てサロン」や「ふれあい・いきいきサロン」、認知症サポーターの養成など、地域で支えあう活動を支援しています。
- ・高齢者などを対象としたごみ出し支援「ふれあい収集」を実施しています。
- ・民生・児童委員や関係機関、民間企業が連携して高齢者の見守りや声かけを強化しています。

問11 あなたは「地域や社会とのつながり」を感じていますか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 感じる | 2. どちらかといえば感じる |
| 3. どちらかといえば感じない | 4. 感じない |

<問11で3「どちらかといえば感じない」又は4「感じない」とお答えの方のみ>

問12 地域や社会とのつながりを感じない(感じにくい)理由として、当てはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 1. 地域や社会とのつながりを持つ機会がない | 2. 困ったときに相談できる相手がいない |
| 3. 誰かの役に立っていることを実感する機会がない | 4. その他() |

問 13 あなたは生きがいを感じる活動や社会活動等（※）に参加していますか。当てはまるものを選んでください。（○は1つ）

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 参加している | 2. 参加していない |
|-----------|------------|

（※）仕事、趣味の活動、ボランティアなど

▶<問 13 で 1 「参加している」とお答えの方のみ>

問 14 どのような活動に参加していますか。当てはまるものを選んでください。（○はいくつでも）

- | | |
|-----------|--------------------------------|
| 1. 仕事 | 2. 趣味の活動 |
| 3. ボランティア | 4. その他（ ） |

問 15 あなたは「民生委員・児童委員制度」を知っていますか。当てはまるものを選んでください。（○は1つ）

- | | |
|-------------|-------------------------|
| 1. 内容を知っている | 2. 聞いたことはあるが、内容はよく分からない |
| 3. 知らない | |

4. 健康・医療について

知って欲しい！まつやま

- ・働き方改革により、医師にも残業時間の上限が設けられる中、市民が安心して、24 時間 365 日体制で救急医療を受けられる環境が整っています。
- ・島しょ部の方が医療機関受診のために島しょ部航路を利用した場合の運賃を一部助成しています。
- ・急な体調不良などのこどもを預かる保育施設を拡充しています。
- ・「高齢者いきいきチャレンジ」で、アプリでポイントを貯めながら、外出などの健康習慣を身につけることができます。

問 16 あなたは松山市の「医療体制が充実している」と思いますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |

▶<問 16 で 3 「どちらかといえばそう思わない」又は 4 「そう思わない」とお答えの方のみ>

問 17 「医療体制が充実している」と思わない理由として、当てはまるものを選んでください。（○はいくつでも）

- | | |
|--------------------------|---|
| 1. 日頃から健康相談できる医師・医療機関がない | 2. かかりたい診療科がない（少ない）
（具体的には： ） |
| 3. 夜間・休日に診てくれる医療機関が少ない | 4. その他（ ） |

問 18 あなたは生活習慣病予防を意識して、生活改善（運動や食生活など）に取り組んでいますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 取り組んでいる（6か月以上） | 2. 取り組んでいる（6か月未満） |
| 3. 取り組んでいない | |

問 19 あなたは朝食を食べる日が1週間に何日ありますか。(○は1つ)

- | | |
|---------|---------|
| 1. 毎日 | 2. 5～6日 |
| 3. 3～4日 | 4. 2日以下 |

問 20 あなたの平均的な1日の歩数はどのくらいですか。(測定できない場合は、「10分歩くと約1,000歩」を目安に選択してください。)(○は1つ)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 2,000歩未満 | 2. 2,000歩以上4,000歩未満 |
| 3. 4,000歩以上5,000歩未満 | 4. 5,000歩以上6,000歩未満 |
| 5. 6,000歩以上7,000歩未満 | 6. 7,000歩以上8,000歩未満 |
| 7. 8,000歩以上9,000歩未満 | 8. 9,000歩以上10,000歩未満 |
| 9. 10,000歩以上 | 10. その他 () |

5. 地域への愛着・誇りについて

知って欲しい! まつやま

- ・住みたい田舎ベストランキング2024(人口20万人以上の市総合部門)で全国第1位です。(※)
- ・小中学校では「ふるさと松山学」で地元の偉人や地域の魅力を学んでいます。
- ・“紅まどんな”や“せとか”など、生産者の想いが込められた「まつやま農林水産物ブランド」を全国に販売しています。
- ・スポーツや文化芸術等に親しむ地域のコミュニティ活動を支援しています。

(※) 宝島社『田舎暮らしの本』「2024年版第12回住みたい田舎ベストランキング(人口20万人以上の市 総合部門)」

問 21 あなたは住んでいる地域に「愛着や誇り」を感じていますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 感じる | 2. どちらかといえば感じる |
| 3. どちらかといえば感じない | 4. 感じない |

▶ <問21で3「どちらかといえば感じない」又は4「感じない」とお答えの方のみ>

問 22 住んでいる地域に「愛着や誇り」を感じない(感じにくい)理由として、当てはまるものを選んでください。

(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 地域の魅力を知らない | 2. お気に入りの店や場所が少ない |
| 3. 地域住民との関わりが少ない | 4. その他 () |

問 23 あなたの住んでいる地域は地域活動(※)が盛んだと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |

(※) 清掃活動、登下校等の見守り活動、地域の防災訓練、祭りや伝統行事、町内会・自治会への参加、趣味のグループ活動等

問 24 あなたは地域活動に参加していますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 参加している | 2. 参加していない |
|-----------|------------|

＜問 24 で 1 「参加している」とお答えの方のみ＞

問 25 どのような活動に参加していますか。当てはまるものを選んでください。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 清掃活動 | 2. 登下校等の見守り活動 |
| 3. 地域の防災訓練 | 4. 祭りや伝統行事 |
| 5. 町内会・自治会への参加 | 6. 趣味のグループ活動 |
| 7. その他 () | |

問 26 あなたは、生活の中で文化芸術活動（鑑賞と実践のどちらでも可）を行っていますか。当てはまるものを選んでください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. よく行っている | 2. ときどき行っている |
| 3. あまり行っていない | 4. 行っていない |

6. 都市の魅力について

知って欲しい！まつやま

- ・道後温泉は全国人気温泉地ランキングで全国第3位です。(※)
- ・「俳句甲子園」の開催や、全国から募集した「ことば」を市内各所で掲示するなど、「ことばのちから」をいかしたまちづくりが進んでいます。
- ・史上最大級のファッションフェスタ「東京ガールズコレクション」の地方創生プロジェクト「TGC 松山 2024」を四国で初めて開催しました。
- ・「坊っちゃん文学賞」で大賞を受賞した『がんばっていきまっしょい』が、令和6年10月に劇場アニメーションで全国公開されます。

(※) じゃらんリサーチセンター「じゃらん人気温泉地ランキング 2024(全国人気温泉地ランキング(もう一度行ってみたい温泉地))」

問 27 あなたは「松山市の魅力を友人や知人に紹介したい」と思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |

＜問 27 で 3 「どちらかといえばそう思わない」又は 4 「そう思わない」とお答えの方のみ＞

問 28 「松山市の魅力を友人や知人に紹介したい」と思わない理由として、当てはまるものを選んでください。

(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1. 松山市の魅力を知らない | 2. 紹介する機会がない |
| 3. 紹介するほど魅力を感じていない | 4. その他 () |

問 29 あなたは松山市を文化的なまちだと思いませんか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |

7. 経済・産業について

知って欲しい！まつやま

- ・市内の経済団体と「こどもまんなか応援サポーター」を宣言し、仕事と子育てを両立できる環境づくりに取り組んでいます。
- ・人手不足の改善や生産性の向上につながるよう、市内企業のDXやデジタル化などを支援しています。
- ・家族や仲間と一緒に趣味などを楽しめる自由な時間の長さが全国2位です。(※)

(※)「令和3年社会生活基本調査」総務省統計局(男女10歳以上の3次活動時間の平均値)

＜現在、就業している方(パート・アルバイトも含む)のみ＞

問30 あなたは現在の職場環境が「働きやすい」と思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |

▶ <問30で3「どちらかといえばそう思わない」又は4「そう思わない」とお答えの方のみ>

問31 「働きやすい」と思わない理由として、当てはまるものを選んでください。

(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 給与・収入が低い | 2. 自分自身の成長が実感できない |
| 3. 職場に尊敬できる人がいない | 4. ワークライフバランスが取れていない |
| 5. その他() | |

8. 交通について

知って欲しい！まつやま

- ・JR松山駅や松山市駅では、便利な交通拠点として整備を進めています。
- ・市の中心部から空港へのアクセス(所要時間)が全国トップクラス(※)です。
- ・関係機関が連携し、駅や道路などのバリアフリー化を進めています。
- ・交通ルールを啓発するため、小中学校、公民館などで、幅広い世代を対象に交通安全教室を実施しています。

(※)市の中心部から空港まで車で約15分

問32 松山市は自分に合った移動手段(※)で、気軽に目的地へ「移動しやすい(出かけやすい)」と思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |

(※) 徒歩、自転車、自動車、バス、路面電車、鉄道、バイク、タクシー等

▶ <問32で3「どちらかといえばそう思わない」又は4「そう思わない」とお答えの方のみ>

問33 「移動しやすい(出かけやすい)」と思わない理由として、当てはまるものを選んでください。

(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 渋滞・混雑している | 2. 移動手段が少ない |
| 3. 交通事故の危険性を感じる | 4. その他() |

問 34 あなたは松山市が公共交通の便利なまちだと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |

9. 都市について

知って欲しい! まつやま

- ・晴れの日が多く、穏やかで恵まれた気候条件の瀬戸内海気候です。(※1)
- ・病院や診療所までの距離の近さが全国1位です。(※2)
- ・通勤・通学にかかる時間の短さが全国2位です。(※3)
- ・市内に4年制大学や専門学校など多くの教育機関があり、若者が多いまちです。

(※1) 年平均気温 16.8 度、年間降水量は約 1,300 mm で積雪もごく少量です

(※2) 地域の生活コスト『見える化システム』(経済産業省)

(※3) 「令和3年社会生活基本調査」(総務省統計局) [男女 10 歳以上の通勤・通学の平均値]

問 35 あなたにとって松山市は「住みやすい」まちですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |

▶ <問 35 で 3 「どちらかといえばそう思わない」又は 4 「そう思わない」とお答えの方のみ>

問 36 どうなれば、松山市が住みやすくなると思いますか。当てはまるものを選んでください。

(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1. 商業施設・娯楽施設が増える | 2. 働く場所が増える |
| 3. 交通の便が良くなる | 4. 住宅条件が良くなる(家賃・地価など) |
| 5. まちの治安が良くなる | 6. その他 () |

問 37 あなたは、今後も松山市に住み続けたいですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. ずっと住み続けたい | 2. どちらかといえば住み続けたい |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば住み続けたくない |
| 5. 住み続けたくない | |

10. 環境について

知って欲しい! まつやま

- ・脱炭素社会を実現するため、太陽光発電システムの設置や EV (電気自動車) の導入を支援しています。
- ・市民 1 人 1 日当たりのごみ排出量の少なさが県庁所在地で 1 位、中核市では 2 位です。(※)
- ・「りっくる(まつやま^{リサイクルかん}Re・再来館)」では、3R や自然環境の保全について周知啓発しているほか、リユース家具を販売しています。
- ・市民大清掃の開催やボランティア清掃などの美化活動を支援しています。
- ・学校給食の食べ残しなどを堆肥化し、学校の花壇等で再利用しています。

(※) 「令和4年度一般廃棄物の排出及び処理状況等」(環境省)

問 38 あなたは「環境にやさしい行動をしている」と思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |

▶ <問 38 で3「どちらかといえばそう思わない」又は4「そう思わない」とお答えの方のみ>

問 39 「環境にやさしい行動をしている」と思わない理由として、当てはまるものを選んでください。

(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 何をしてよいか分からない | 2. 行動するきっかけがない |
| 3. 行動する時間がない | 4. その他 () |

11. 安全・安心について

知って欲しい! まつやま

- ・市民の防災意識が高く、防災士数が全国1位です。(※1)
- ・災害時に備えて、防災行動の確認を行う「マイ・タイムライン」をアプリで簡単に作成できます。
- ・木造住宅の耐震改修等にかかる費用を補助しています。
- ・災害時に物資等の供給や人材の応援が得られる災害時協定を民間事業者や団体などと結び、災害に備えています。
- ・松山市の救急車の現場到着に要する時間は、全国平均(約10分)未満です。(※2)

(※1) 防災士認証登録者数(日本防災士機構、令和6年7月)

(※2) 令和5年版救急・救助の現況(消防庁)

問 40 あなたは「日頃から災害に備えている」と思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |

▶ <問 40 で1「そう思う」又は2「どちらかといえばそう思う」とお答えの方のみ>

問 41 「日頃から災害に備えている」と思う理由として、当てはまるものを選んでください。

(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------------|----------------|
| 1. ハザードマップ等であらかじめ避難所や避難経路を確認している | 2. 防災訓練に参加している |
| 3. 家庭内備蓄をしている | 4. 家具固定をしている |
| 5. その他 () | |

▶ <問 40 で3「どちらかといえばそう思わない」又は4「そう思わない」とお答えの方のみ>

問 42 「日頃から災害に備えている」と思わない理由として、当てはまるものを選んでください。

(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 何をしてよいか分からない | 2. 行動するきっかけがない |
| 3. 行動する時間がない | 4. その他 () |

12. デジタル化について

知って欲しい！まつやま

- ・窓口に来ることなく、どこでも行政手続きができるよう、オンライン化を進めています。
- ・行政サービスだけでなく、暮らしのさまざまな場面で、現金を使わない支払い（キャッシュレス決済）やスマホの活用などデジタル化が進んでいます。
- ・高齢者などが安心してスマホの使い方を学べる教室を開催しています。
- ・柑橘の収穫など人手不足の農家と働きたい人をつなぐ、マッチングアプリの利用を支援しています。

問 43 あなたは「デジタル化で生活が便利になった」と思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |

▶ <問 43 で3「どちらかといえばそう思わない」又は4「そう思わない」とお答えの方のみ>

問 44 「デジタル化で生活が便利になった」と思わない理由として、当てはまるものを選んでください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------|----------------------------------|
| 1. デジタル化の利便性を感じる機会がない | 2. デジタル化で不便さを感じている
(具体的には :) |
| 3. デジタル化に苦手意識がある
(具体的には :) | 4. その他 () |

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

記入漏れがないか、もう一度ご確認の上、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

9月16日（月・祝）までにポストへご投かんください。